

2023.6.2 理事会 議決

2023.6.23 評議員会 議決

2022(令和 4)年度

事業報告書

社会福祉法人 恵仁福祉協会

高齢者総合福祉施設 アザレアンさなだ

目次

○ 表紙	1
○ 目次	3
○ 運営理念	5
○ スローガン	6
○ 行動規範	7
○ 2022年度事業報告 恵仁福祉協会 総括	8
○ 2022年度社会福祉法人指導監査資料	10
○ 資産(土地建物)の状況	11
○ 定款変更の状況他	12

[事業報告]

○ 総務部 (総括・法人運営・主行事)	13
各種研修会	19
年度別職員状況報告書	20
・事務課 (総括・ナーサリーさなだ実績・安全運転管理者)	21
・会計課 (総括)	25
○ 施設事業部 (総括)	26
・施設事業課 (総括)	27
特別養護老人ホームアザレアンさなだ 長期ユニット(総括・実績)	28
特別養護老人ホームアザレアンさなだ 短期ユニット(総括)	33
・栄養管理(総括・実績)	34
・地域密着型施設事業課 (総括)	36
横尾サテライト(総括・実績)	37
大畑サテライト(総括・実績)	41
・認知症対応型事業課 (総括・GH実績)	45
萩・曲尾グループホーム (総括・実績)	50
下原グループホーム①・② (総括・実績)	52
真田グループホーム (総括・実績)	56
菅平グループホーム (総括・実績)	58
菅平グループホーム共用型 (総括・実績)	61
○ 在宅事業部 (総括)	64
・通所介護事業課 (総括)	66
デイサービスセンターアザレアン (総括・実績)	68
訪問入浴サービスアザレアン (総括・実績)	71
日常生活支援総合事業アザレアン (総括・実績)	73
萩の家 (総括・実績)	75

・ 訪問介護事業課（総括）	78
ホームヘルパーステーションアザレアン(総括・実績)	79
24時間対応型ホームヘルパーステーションアザレアン(総括・実績)	82
有償日常生活支援サービス、障害福祉サービス(実績)	
サービス付き高齢者向け住宅アザレアン（総括・実績)	84
・ 小規模多機能型事業課（総括・実績)	87
大畑の家（総括)	89
新田の家（総括)	90
・ 相談支援事業課（総括)	91
居宅介護支援センターアザレアン(総括・実績)	92
各事業所所属の介護支援専門員（総括)	95
○ 医療連携部、医療事業課（総括)	96
・ 訪問看護ステーション真田（総括・実績)	97
・ 各事業所所属の看護職員 PT・OT・DH・管理栄養士（総括)	102
○ ナーサリーさなだ（総括)	103
○ 10年後のアザレアンを考える会（総括)	104
○ 法人創立30周年記念実行委員会（総括)	105
○ えぼし会（総括)	106
○ 委員会活動報告	107

事業報告 総括の項目

- ① 事業内容
- ② 2022 年度事業計画に対する達成率
- ③ 達成できた事項
- ④ 未達成の事項
- ⑤ 改善すべき事項
- ⑥ 目標とする事項(2023 年度事業計画)

運営理念

「人として 幸せに 安心して 生きる日々を 大切に」

理念とは、理想的な介護、客観的な知識、事実に裏打ちされた理論、そして、恵仁福祉協会のすべての役職員の信念（思い）が統合されたものです。

そのため、理念は、具体的な実践ができる理論的な裏づけがなければ意味を持たちません。さらに、仕事に従事する者は、これらの理念を熟知し、日常の業務活動に反映させることが大切です。理念を前提に、事業所や職場に適応し成長し改善する姿勢が重要です。

恵仁福祉協会の理念は、平成11年度に「アザレアさんだの本質」を繰り返し展開した結果、生まれた13の要件をまとめたものです。その要件とは、

(1)生活の継続

住み慣れた地域やバックグラウンドにこだわり、住み替えやサービス利用でその人らしさが失われないようにします

(2)サービスタイミングと量の確保

適時、適量のサービス提供で、生活上のリスクを最小限にとどめる予防を進めます

(3)人づくり

理念を知り、その実現のために実践する人づくりを行います

(4)地域の信頼

地域の期待に応え、地域の信頼を得るようにします

(5)個別性

一人の人として認める「まなざし」を持ちます

(6)見守り

手をかけず、目を離さず常に見守る姿勢、態度を意識します

(7)仲間

地域で暮らす仲間、活動を共にする仲間、同じ思いを持つ仲間を大切にします

(8)自由の選択

自由は放任ではない事を理解します

(9)権利の尊重

人として尊重されるべき「権利」、その人が本来持つ「力」の存在を引き出す援助を心がけます

(10)サービスの選択

課題が明確にされ、何をどうしたいのかという葛藤に焦点を当て、「選択」に意味を持つ事を理解します

(11)サービスの質と量の確保

生活支援は包括的なサービス提供が前提です。そのためにはサービスの種類、質、量の確保は絶対条件です。したがって、「この程度でいい」は「その程度の暮らし」でしかないということ意識します

(12)本人の意思の尊重

「こうありたい」という意志がどのような場面、状態にあっても、あることを信じることから始まります

(13)人間理解

生活支援はその人を「知る」ことから始まります

スローガン

1. 「「理念」と「組織」と「人づくり」を一体に」

恵仁福祉協会が掲げる理念は、高齢者支援の本質を述べるものであり、我々が悩み、困惑したときに立ち返ることの出来るものです。その理念を具現化することが、組織の役割・使命となりますが、そのため「組織」をどのような体制に組み立てて運営していくのかということが重要になります。そして「組織は人なり」と言われるように、「人づくり」が組織力の要になると考えます。

つまり、理念を共有し、理念の具現化に向けたモチベーションの高い人をどれだけ育成するかが組織の生命線になります。

法人では、職員一人一人のやるべき事が、事業計画、職務分掌、職能要件により示され、法人から職員への期待と、目標に向けた達成度を確認しながら個々が成長する仕組みがあります。これは、職員一人一人の作業が、より質の高い恵仁福祉協会を作りあげていくためには必要であることを意味します。

2. 「ご利用者様本位で解りやすく、利用しやすく、迅速に、親切丁寧に」

高齢者福祉の課題は介護に特化されるものではなく、様々なニーズによって成り立っています。

社会福祉によって救済される必要のある事案と、自立支援のための社会サービスの利用が未だに混同し、「福祉サービス」として曖昧に取り扱われています。そこで、福祉サービス提供者として「説明責任」をもって提供し、曖昧な中でサービス提供が行われないうに注意を払う必要があります。

特に社会福祉によって救済される必要のある事案には、市町村からの援助が適切に受けられる様に、当事者の立場に立って情報提供や制度活用、権利擁護や代弁等を行い、生活支援、介護支援、医療支援、経済支援等を包括的に提供していきたいと考えます。

3. 「NO」と言わず、まず「YES」から始める

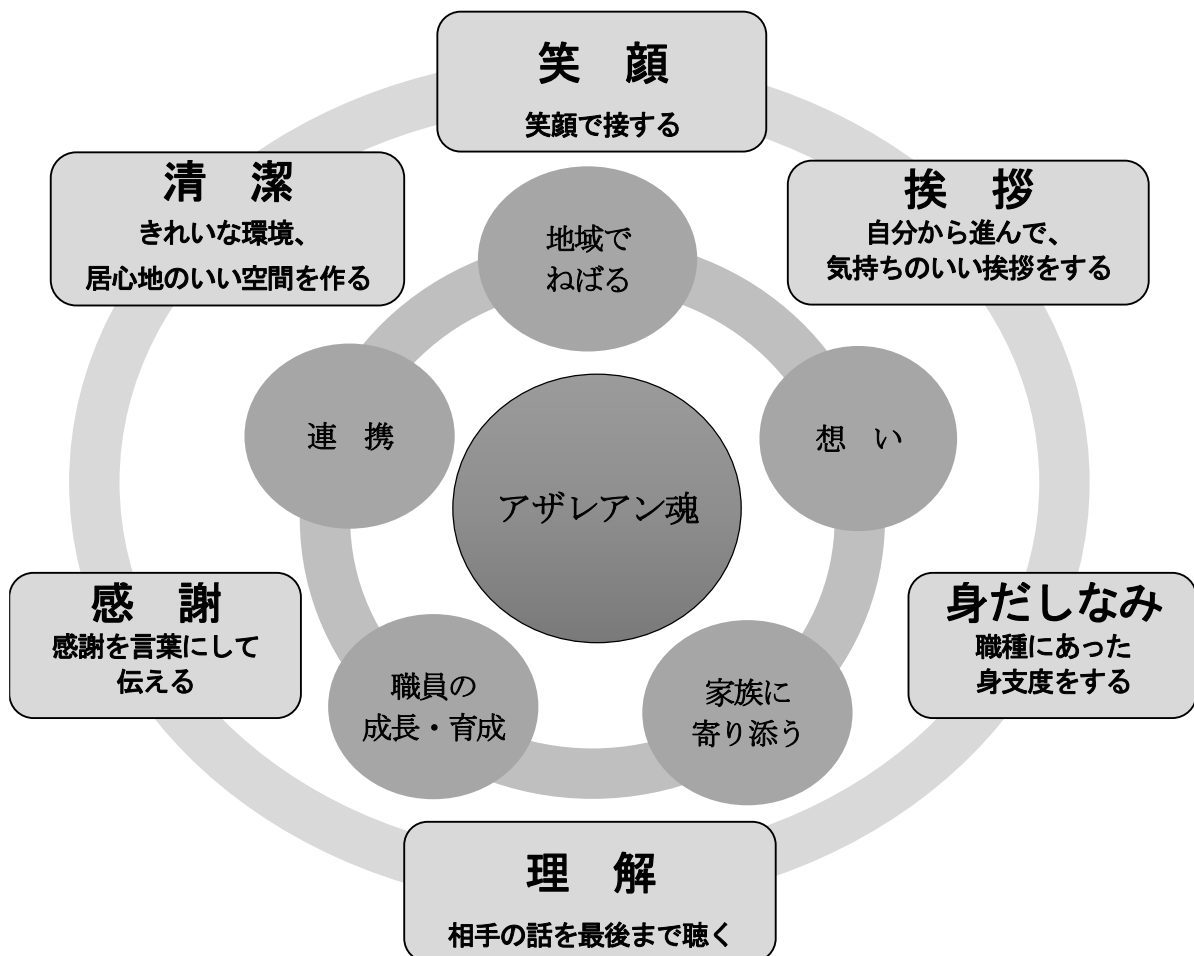
社会福祉法人の使命は、我々の都合でサービスを創り、提供することではなく、ご利用者様の気付くことができない「あるべき姿」の提案から出発していかなければなりません。

もし、法人の方針や体力が未成熟で、個々の要求に対して「NO」と言えば、法人、施設、ご利用者様、地域社会の成長も望めません。

「していないこと」ことを「出来ていない」には決してしないこと、まずは「YES」からはじめること、考え工夫することを地域への約束とします。

- ・笑 顔 笑顔で接する
- ・挨拶 自分から進んで、気持ちのいい挨拶をする
- ・身だしなみ 職種にあった身支度をする
- ・理 解 相手の話を最後まで聴く
- ・感 謝 感謝を言葉にして伝える
- ・清 潔 綺麗な環境、居心地のいい空間を作る

《アザレアン魂を体現する6つの実践》



1. はじめに

2022 年度は、法人が 30 周年を迎え、記念事業を行わせていただきました。時節柄華美な式典はやめ、心を込めた手作りの式典となるよう実行委員会を立ち上げ「心をつひとつに支え合う未来へ」という事業目的を掲げ、1 年を通じて活動しました。「クラウドファンディング」ではレディーフォーと CF 信州にサイトを開設し、地域住民の方々、協力業者の皆様、役員・職員の方々のおかげで 500 万円の目標を達成することができ、車両を 2 台（配食用、訪問看護用）、スタンダード車椅子 5 台、リクライニング車椅子 1 台、オーバートーブル 3 台、ストレッチャー1 台を購入することが出来ました。改めて協力して頂いた皆様に感謝を申し上げます。また、30 周年を記念し利用者様の「笑顔」のカレンダーを作成しご利用の皆様、役員・職員の皆様に配布させていただきました。2023 年 1 月からは皆様の笑顔あふれるカレンダーを見ながら温かい気持ちで仕事をしております。また、今年度初めて「運営理念」「スローガン」「6 つの実践（行動規範）」「2022 年度事業計画骨子」を、水色の名刺大の大きさを作成し全職員に配布しました。継続事項として会議開催時に「理念とスローガン」の唱和、行動規範を毎朝理事長の言葉として発信し、共有サーバー内の「理事長からの一言」に記載し周知しました。昨年に引き続き法人の一体化に向けて努力した一年であったと思います。「理念に基づいた法人組織の一体化」は単年で終わりではなく、今後永遠に継続していかなければならない継続目標になると考えています。何か課題にぶつかった時は必ず「理念に立ち返ろう」こうした姿勢が意識や未来を変え、今以上にやりがいや生きがいを感じ、誇りの持てる組織になるのだという強い思いで精進し、地域の方々の信頼と期待に応えられる組織となるようにより一層努力し続けたいと思います。

2. 経営について

経営の安定化、健全化について第一の目標は 2 期連続の黒字経営でした。そのために経費について、業者について、事業について等様々な角度から見直すと同時に、各事業所の皆さんが質素儉約に努めてくださいました。また空情報や行事予定表を持参して営業努力に励み、良いサービス提供を目標に行ってきましたが、水道光熱費、燃料、物価等の高騰により事業費・事務費の増加、新型コロナウイルスによるクラスターの影響による収入の落ち込みにより結果的には 2,000 万円ほどの赤字運営となってしまいました。詳細は各事業所の報告に代えさせていただきたいと思いますが、今後も地域の人口減少、介護人材の減少、高齢者のニーズの多様化に沿って当法人は、時代の要請に応え、柔軟かつ健全な経営を目指していきたいと考えています。

また、2022 年度の事業計画中間報告書においても報告させて頂きましたが、送迎や配達等の運転業務を担っていただいている多くの職員の皆様に対し「令和 4 年度関東安全運転管理者協議会連合会の「交通安全優良事業所」表彰がありました。日頃狭い道や天候状況が悪く中でも運転業務を続け、交通事故を起こさず業務した功労が高く評価された結果である

と思います。今後ご利用者の皆様が安心してご利用できますように安全運転に努めて参ります。

3. 新型コロナウイルス感染症による影響

新型コロナウイルス感染症は、日本で 2020 年 1 月に初めての症例が認められてから 2022 年度になってもマスクをする暮らしが当たり前のようになり、施設・在宅サービスを展開する法人にとって毎日が緊張の連続でした。全ての職員が不安の中にいたと思います。3 年間緊張の毎日の中で仕事を続けていただいた職員の方々に、改めて感謝申し上げます。またご利用者様やご家族の皆様にも感染報告をするたびに、不安や利用できない事のご不便をおかけしましたことを、改めてお詫び申し上げます。そしてサービスを使い続けていただいている事、感染予防に協力してくださったことで、今日まで各事業所のサービス提供が継続できていることに感謝いたします。今後も引き続き情報を共有して感染予防に努めてまいります。

昨年に引き続き、地域の方々と意見交換できる運営協議会、運営推進会議などは開催することができず、またご利用者様が楽しみにしているデイサービスでの「カラオケを楽しむ会」、法人全体での行事である「いきいき祭り」も開催できず非常に残念でした。しかしマイナス面ばかりでなく、コロナ禍の中だからこそ Zoom などを使った研修会や会議の開催、オンライン面会等、今まで考えなかった方法で人と人が繋がるのが昨年以上に定着しました。今後も「with コロナ」時代として自粛だけでなく、ご利用者様の健康を守ることを優先とした感染予防を行いながら、皆様の生活の質も考えていきたいと思っています。

4. 地域の応援団として

365 日、朝、昼、夕 3 食の弁当の配食、24 時間対応のホームヘルプサービス、訪問看護、施設系サービス、通所系サービス、小規模多機能型居宅介護、訪問入浴といった介護・医療サービス、相談窓口であります居宅介護支援センターを通じて、住み慣れた住まいや地域で暮らしたい方の介護や支援を行ってまいりました。また、地域の関係機関と協力して取り組んで来ました「グリュックの会」（子ども食堂、食材配布＝上田市社会福祉協議会真田地区センター、かりがね福祉会と共催）やさなだ支え合い会議（おすそ分け会、よろず講演会、ぶらさなだなど＝真田の郷まちづくり推進会議、NPO 法人さなだスポーツクラブ、上田市社会福祉協議会真田地区センター、かりがね福祉会と共催）を通じて子どもさんや生活に困窮されている方の支援をしてまいりました。今後もそういった活動を通じて誰もが過ごしやすい地域づくりに貢献してまいります。

2022年度社会福祉法人指導監査資料

1 社会福祉法人の概要

(2023年4月1日現在)

法人名	恵仁福祉協会	代表者氏名	小林 彰
認可年月日	平成5年 3月 31日	設立登記年月日	平成4年 4月 13日
主たる事務所の所在地	長野県上田市真田町長7141番地1 (電話) 0268-72-2781 (FAX) 0268-72-4702		

2 社会福祉法人の行う事業

(1) 第1種社会福祉事業

施設の種類	名 称	事業開始日			施設長名	定員	職員数	
		年	月	日			専任	兼任
介護老人福祉施設	アザレンさなだ	5	4	1	永井悦子	30	24	18
介護老人福祉施設	サテライト型居住施設	17	12	1	永井悦子	12	7	3
介護老人福祉施設	横尾サテライト	26	4	1	永井悦子	10	6	1

(2) 第2種社会福祉事業

施設の種類	名 称	事業開始日			施設長名 (管理者)	定員	職員数	
		年	月	日			専任	兼任
短期入所生活介護	アザレンさなだ	5	4	1	永井悦子	21	(24)	(18)
通所介護	デイサービスセンターアザレン	5	4	1	有賀清美	40	10	13
〃(認知症対応型通所介護)	萩の家	24	6	1	酒井知子	12	3	3
認知症対応型 共同生活介護	萩・曲尾グループホーム (新築移転)	10	10	1	西藤一成	6	4	3
		24	5	1				
〃	下原グループホーム (新築移転) (増築)	12	3	1	田中広一	12	5	6
		24	5	1				
		26	4	1				
〃	真田グループホーム (新築移転)	13	11	1	五十嵐由美子	6	3	4
		24	5	1				
〃	菅平グループホーム	20	5	1	縷澤智子	6	3	5
(認知症対応型通所介護)	菅平グループホーム	28	4	1	縷澤智子	3		
訪問介護	ホームヘルパー・ステーションアザレン	12	4	1	尾澤美恵		4	15
〃	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	28	11	1	唐澤聖子		1	(15)
小規模多機能型居宅介護	大畑の家	17	12	1	上野和哉	登録25	4	6
〃	新田の家	26	4	1	兼宗佐織	登録25	6	9

(3) 公益事業

事業名	事業内容	事業開始日			職員数	
		年	月	日	専任	兼任
訪問看護	訪問看護、居宅療養管理指導	10	3	1	4	1
訪問入浴	訪問入浴	12	4	1	1	7
居宅介護支援	居宅介護支援、ケアプラン作成等	12	4	1	5	3
配食サービス	弁当(1日3食)の宅配サービス	12	4	1	2	3
宅老所宿泊	宅老所緊急宿泊	15	10	1		
有償日常生活支援サービス	介護保険サービス外 訪問介護	27	11	1	(4)	(15)
サービス付き高齢者向け住宅 アザレン	サービス付き高齢者向け住宅	28	10	1	(1)	7
総合事業	介護予防・日常生活支援総合事業	29	9	1	(1)	3
ナーサリーさなだ	企業所内保育所事業	30	12	1	2	4

資産(土地・建物)の状況

(2022.3.31現在)

科目	所在地	地目又は構造	面積		用途	担保提供の状況		抵当権設定年月日	
			定款	登記簿		有無	提供先		
I 基本財産 1 土地	上田市真田町長字蓮台7141-1	宅地	10,794.25		老人ホーム敷地	有・無	長野県信用組合	H27.6.29	
	上田市真田町長字蓮台7156	宅地	1,584.05		老人ホーム敷地	有・無	長野県信用組合	H27.6.29	
	上田市真田町長字蓮台7146-3	宅地	23.45		老人ホーム敷地	有・無	長野県信用組合	H27.6.29	
	上田市真田町長字蓮台7150-1	宅地	46.64		老人ホーム敷地	有・無	長野県信用組合	H27.6.29	
	上田市真田町長字蓮台7155-7	宅地	82.13		老人ホーム敷地	有・無	長野県信用組合	H27.6.29	
	上田市真田町長字蓮台7140-2	雑種地	1,791.00		駐車場	有・無			
	上田市真田町長字蓮台7140-3	雑種地	6.36		駐車場	有・無			
	上田市菅平高原1260-16	宅地	2,155.00		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28 H20.7.23	
	上田市菅平高原1260-23	宅地	504.69		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28 H20.7.23	
	上田市菅平高原1260-28	宅地	206.55		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28 H20.7.23	
	上田市菅平高原1260-29	宅地	130.45		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28 H20.7.23	
	上田市菅平高原1262-15	宅地	939.00		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28 H20.7.23	
	上田市菅平高原1262-20	宅地	364.55		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28 H20.7.23	
	上田市真田町本原770-12	宅地	35.18		老人ホーム敷地	有・無	上田信用金庫	H28.12.5	
	上田市真田町本原771-7	宅地	84.59		老人ホーム敷地	有・無	上田信用金庫	H28.12.5	
	上田市真田町本原777-17	宅地	3.69		老人ホーム敷地	有・無	上田信用金庫	H28.12.5	
	上田市真田町本原777-18	宅地	113		老人ホーム敷地	有・無	上田信用金庫	H28.12.5	
	上田市真田町本原772-2	宅地	2,162		老人ホーム敷地	有・無	上田信用金庫	H28.12.5	
	上田市真田町本原772-4	宅地	119		老人ホーム敷地	有・無	上田信用金庫	H28.12.5	
	上田市真田町本原771-5	宅地	8		老人ホーム敷地	有・無	上田信用金庫	H28.12.5	
	上田市真田町傍陽字中村6185-2,6190	宅地	908.5		敷地	有・無	上田信用金庫	R4.2.8	
	2 建物	上田市真田町長字蓮台7141-1,7156,7150-1,7155-7,7146-3	鉄骨造1階建て 瓦葺平屋造	家屋番号7141-1		老人ホーム敷地	有・無	長野県信用組合	H27.6.29
		上田市真田町長字蓮台7141-1	鉄骨造1階建て 鉄骨造面取り付 網状鉄骨2階造	家屋番号7141-1-2		敷地	有・無	長野県信用組合	H27.6.29
		上田市真田町長字蓮台7141-1	鉄骨造 合金メッキ鋼板 ぶき平屋造	家屋番号7141-1		敷地	有・無	長野県信用組合	H27.6.29
		上田市菅平高原1260-28,-29,-16	木造鉄骨2階造 瓦葺平屋造	家屋番号1260-28		敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28 H20.7.23
		上田市菅平高原1260-28,-29,-16	木造鉄骨2階造 網状鉄骨2階造	家屋番号1260-28		養護所	有・無	上田信用金庫	H20.7.23
		上田市真田町傍陽字中村6185-2,6190	木造合金メッキ 網状鉄骨平屋造	家屋番号6185-2		敷地	有・無	上田信用金庫	H24.3.29
上田市真田町本原字大鷹ヶ668-1		木造かわら葺 平屋造	家屋番号668-1		グループホーム	有・無	八十二銀行	H24.3.29	
上田市真田町長字甲石4201-2,4205-4,4203-2		木造かわら葺 平屋造	家屋番号4205-2		グループホーム	有・無	上田信用金庫	H24.3.29	
上田市上田字秋葉裏2545番5		木造合金メッキ 平屋造	家屋番号2545番5		敷地	有・無	八十二銀行		
上田市真田町本原772番2		木造合金メッキ 平屋造	家屋番号772番2		養護所	有・無	上田信用金庫	H28.12.5	
II その他の 固定資産 (運用財産) 1 土地		上田市菅平高原1223-1900	山林	1,662.00		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28
		上田市菅平高原1223-6012	宅地	619.96		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28
		上田市菅平高原1223-6014	宅地	187.95		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28
		上田市菅平高原1223-6015	畑	259.00		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28
	上田市菅平高原1223-6823	山林	104.00		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28	
	上田市菅平高原1260-17	宅地	281.93		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28	
	上田市菅平高原1260-22	宅地	1,100.64		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28	
	上田市菅平高原1262-18	宅地	117.94		宅幼老所敷地	有・無	上田信用金庫	H17.4.28	
	上田市菅平高原1223-6012,1223-6014,1260-17	軽鉄骨造 運動付2階瓦葺 平屋造	家屋番号1223-6012		敷地	有・無			
	上田市真田町長字蓮台7329-4,7329-11	軽鉄骨造 運動付2階瓦葺 2階造	家屋番号7329-4		作業所	有・無			
			1階	340.2					
		2階	340.2		有・無	上田信用金庫	H29.2.9		

3 定款変更の状況

(2023.3.31現在)

区 分	定款変更の要否	手続状況
事 業 内 容	有 ・ (無)	
事務所の所在地	有 ・ (無)	
役 員 定 数	有 ・ (無)	
資 産	基本財産の増加	有 ・ (無)
	基本財産の減少	有 ・ (無)
条 文 整 備	(有) ・ 無	第19条第4項追加 常務理事、総合施設長兼務
そ の 他	有 ・ (無)	

4 変更登記の状況

区 分	変更登記年月日
目的・事業	年 月 日
	年 月 日
名 称	年 月 日
事務所所在地	年 月 日
代表者氏名等	02年 6月 1日
資産の総額	04年 6月 29日

5 監事の監査状況(令和4年4月～令和5年3月)



(1) 監事監査の実施状況

監査年月日	実施監事名	監査の内容及び指示・指導事項	改善状況又は今後の改善計画
令和4年5月20日	中島 康貴 寺沢 博文	適正かつ正確に処理されている。	(改善 令和4年6月3日) 固定資産管理責任者の任命等

(2) 監査報告(令和3年度決算分)

評議員会報告 令和4年6月24日

理事会報告 令和4年6月3日

所轄庁(知事)への報告

6 財務諸表及び事業報告書の開示方法

開示の有無	開 示 の 方 法 (今 後 の 予 定)
有	WAMNETに決算内容を報告し、その内容をインターネットで閲覧できるようにする。 ホームページで開示

7 役員等の状況

(1) 定数・現員等

区 分	定数	現員	欠員	欠員が生じた年月日	補充の予定
顧 問				・ ・	無し
理 事	7	7	0	・ ・	無し
監 事	2	2	0	・ ・	無し
評議員	9	9	0	・ ・	無し

① 事業内容 (2022 年度の総括と 2023 年度に向けて)

2022 年度は、2023 年 3 月期を経過しても尚、新型コロナウイルス感染症拡大による世界経済及び国内消費状況への影響、ロシア・ウクライナ情勢や円安などによる原材料価格、エネルギーコストの高騰等不安定な状況が続いています。

恵仁福祉協会でも経営面において新型コロナウイルス感染症拡大によりサービス稼働率が減少し、クラスターによる事業所閉鎖等から、資金収支は予算を大きく下回る見込みとなっていました。2019 年と 2020 年度の連続のマイナス決算、2021 年度はプラスにできたものの安定経営の軌道に乗せる事は容易ではない状況です。

法人創立 30 周年にあたり、年間を通して事業を展開してまいりました。記念式典や事業所紹介、地域との連携、クラウドファンディングなどの事業について実行委員会を中心に進めてまいりました。事業には多くの職員と事業所はじめ、地域の皆様や取引業者の皆様にお力をいただき、実りある成果を出すことができました。また、式典では総務部と実行委員会主体で開催し、規模縮小の中でも、関係各位への感謝と未来へ成長の誓いを込めた内容で進行できました。

法人運営の執行機関である「理事会」は 5 回、主に Zoom を用いながら開催しました。議決機関である「評議員会」は 4 回開催しました。(議案内容は下記参照) 理事・監事、評議員の方々から法人運営に対して深い関心と強い責任感を持って議決の検討や事業へのアドバイスをいただくことができました。また、「第三者委員会」を 2 回開催いたしました。中立公正の立場から法人への苦情や重大な事故等に関する事項について、危機管理体制の再構築を迅速、確実に行うなどの検証指示をいただきました。

2022 年度から業務部から総務部に部署名を変更して 2 年目となります。今後も引き続き、公益性と非営利性を備えた社会福祉法人として、地域のニーズにきめ細かく対応し充足していくことや、適切な法人運営の在り方について議論を積み重ねてまいります。そして、より透明性の高い法人運営が図れるように法令順守のもとに規程を整備、各種契約更新等、継続して体制の整備を進めてまいります。

② 2022 年度事業計画(重点項目)に対する達成率

- ・自己分析を常に行える意識を持つ (50%・職務分掌の成熟度と比例すると考えます)
- ・組織規程・職務権限規程・職務分掌規程のモニタリング (50%・更新頻度に比例すると考えます)
- ・電子起案の活用を更に充実 (100%・全事業所統一できたと思います)
- ・ペーパーレス化 (給与明細書のメール配信) (10%・2023 年度目標設定として発表しました)
- ・システムの効率化について検討 (80%・給与ソフトの改善を実施中です)
- ・会計処理につながるシステムの効率化を図る (80%・会計事務所と連携しています)
- ・「働きやすい職場」風土を構築する (50%・SDGs の取得、若い職員の退職)

③ 達成できた事項

- ・ 稟議規程に則り電子起案の活用を定型化
- ・ 法人創立 30 周年記念事業の推進(クラウドファンディング事業・協力業者様との防災協定・功労役員への報奨・記念式典の開催)
- ・ 介護職員等処遇改善支援補助金から介護職員等ベースアップ等支援加算への移行
- ・ エネルギーコスト削減推進事業補助金制度の申請(業務用エアコン 2 台入替)
- ・ 特定求職者雇用開発助成金(特定就職困難者コース 1 名・生涯現役コース 1 名)
- ・ 各種規程整備 (役員慶弔見舞規程の制定)、定款の変更(常務理事の総合施設長兼務)

④ 未達成の事項

- ・ 職員に対する倫理教育の充実 (自己の客観視により適切な行動を心がける啓発)
- ・ 福祉人材の確保 (新卒の確保困難化、中途採用、派遣、紹介による労働力確保へ)
- ・ 経費削減事業 (ペーパーレス・エネルギーコスト・備品購買管理等)

⑤ 改善すべき事項

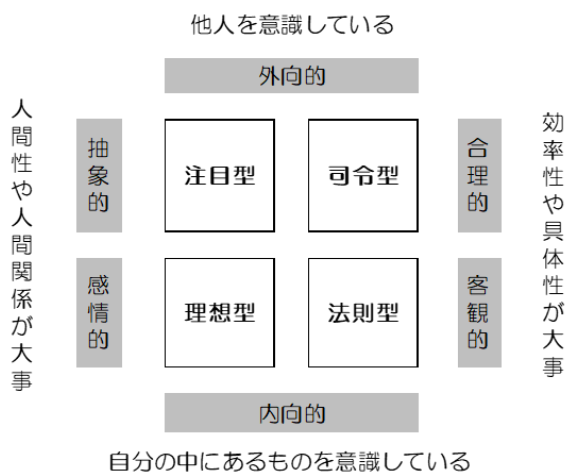
- ・ 法人全事業所の健全経営に向けた具体的戦略の確立(運営会議・理事会)
- ・ 法人事業や出来事を対外的に発信する(SNS、見学会、広報媒体・掲示等)
- ・ 職場環境の改善意識による環境改善、業務手順の整備(継続)

⑥ 目標とする事項(2023 年度事業計画)

- ・ 「誠実」をキーワードにして行動してまいります
- ・ 積極的な地域活動を展開
- ・ 給与支払日を 10 日から 15 日に変更
- ・ 給与明細書のメール配信化を促進
- ・ 不妊治療と仕事との両立を促進
- ・ 業務手順書を作成

2021 年度事業計画書

[自己客観視]



2022 年度事業計画書

[自己実現]



【2022 年度(令和 4 年度) 理事会】

○令和 4 年度第 1 回理事会 令和 4 年 6 月 3 日(金曜日)

- 第 1 号議案 2021 年度 事業報告書(案)について
- 第 2 号議案 2021 年度 決算報告書(案)について
- 第 3 号議案 2021 年度 法人監査報告について
- 第 4 号議案 中島康貴監事辞任及び中澤創氏の監事選任について
- 第 5 号議案 寺沢博文監事の評議員選任解任委員選任について
- 第 6 号議案 総合施設長の任免について
- 第 7 号議案 手形貸付根保証の期限延長について
- 第 8 号議案 規程の変更について(役職員の報奨に関する規程)
- 第 9 号議案 令和 4 年度第 1 回(定時)評議員会開催について
- 第 10 号議案 運営協議会委員変更について

○令和 4 年度第 2 回理事会 令和 4 年 7 月 29 日(金曜日)

- 第 1 号議案 定款の変更について
- 第 2 号議案 定款施行細則の変更について
- 第 3 号議案 規程の変更について
- 第 4 号議案 業務委託契約について
- 第 5 号議案 令和 4 年度第 2 回評議員会開催について

○令和 4 年度第 3 回理事会 令和 4 年 10 月 21 日(金曜日)

- 第 1 号議案 規程の変更について
- 第 2 号議案 法人創立 30 周年記念式典について
- 第 3 号議案 社会福祉施設等エネルギーコスト削減促進事業について
- 第 4 号議案 1.部長職の任免について・2.定款施行細則、3.経理規程の変更について
- 第 5 号議案 令和 4 年度第 3 回評議員会開催について

○令和 4 年度第 4 回理事会 令和 5 年 2 月 3 日(金曜日)

- 第 1 号議案 利用契約書の変更について [取消]
- 第 2 号議案 重要事項説明書の変更について [取消]
- 第 3 号議案 給与規程の変更について
- 第 4 号議案 クラウドファンディング事業 車両購入について
- 第 5 号議案 慶弔規程の策定について(理事、監事・評議員)
- 第 6 号議案 令和 4 年度第 5 回理事会開催について
- 第 7 号議案 令和 4 年度第 4 回評議員会開催について

○令和 4 年度第 5 回理事会 令和 5 年 3 月 17 日(金曜日)

- 第 1 号議案 2022(令和 4)年度 予算の補正について
- 第 2 号議案 2023(令和 5)年度 事業計画書(案)について
- 第 3 号議案 2023(令和 5)年度 予算計画書(案)について
- 第 4 号議案 重要な人事について (部長の任免)
- 第 5 号議案 第三者委員の任期満了に伴う委員選任について
- 第 6 号議案 運営協議会委員の任期満了に伴う委員選任について
- 第 7 号議案 理事・監事の任期満了に伴う理事・監事選任について

第 8 号議案 令和 5 年度第 1 回(定時)評議員会開催について

【2022 年度(令和 4 年度) 評議員会】

○令和 4 年度 第 1 回(定時)評議員会 令和 4 年 6 月 24 日(金曜日)

- 第 1 号議案 2021 年度 事業報告書(案)について
- 第 2 号議案 2021 年度 決算報告書(案)について
- 第 3 号議案 2021 年度 法人監査報告について
- 第 4 号議案 中島康貴監事辞任及び中澤創氏の監事選任について
- 第 5 号議案 寺沢博文監事の評議員選任解任委員選任について
- 第 6 号議案 総合施設長の任免について
- 第 7 号議案 手形貸付根保証の期限延長について
- 第 8 号議案 規程の変更について(役職員の報奨に関する規程)
- 第 9 号議案 運営協議会委員変更について
- 第 10 号議案 役員報酬基準の確認について

○令和 4 年度 第 2 回評議員会 令和 4 年 8 月 1 日 月曜日付 書面決議

議案 定款第 11 条 (7) 定款の変更

○令和 4 年度第 3 回評議員会 令和 4 年 11 月 18 日(金曜日)

- 第 1 号議案 規程の変更について
- 第 2 号議案 社会福祉施設等エネルギーコスト削減促進事業について
- 第 3 号議案 1.部長職の任免について・2.定款施行細則、3.経理規程の変更について

○令和 4 年度第 4 回評議員会 令和 5 年 3 月 24 日(金曜日)

- 第 1 号議案 2022(令和 4)年度 予算の補正について
- 第 2 号議案 2023(令和 5)年度 事業計画書(案)について
- 第 3 号議案 2023(令和 5)年度 予算計画書(案)について
- 第 4 号議案 重要な人事について (部長の任免)
- 第 5 号議案 第三者委員の任期満了に伴う委員選任について
- 第 6 号議案 運営協議会委員の任期満了に伴う委員選任について
- 第 7 号議案 理事・監事の任期満了に伴う理事・監事選任について

【2022 年度 第三者委員会】

○令和 4 年度第 1 回第三者委員会 令和 4 年 11 月 25 日 (金曜日)

苦情報告書 12 部(03-07・04-01・04-02・04-03・04-04・04-05・04-06・04-07・04-08・04-09・04-10・04-11)

○令和 4 年度第 2 回第三者委員会 令和 5 年 3 月 28 日 (火曜日)

苦情報告書 4 部(04-12・04-13・04-14・04-15)

【2022 年度の主な行事】

[4 月]

- 1 日(金) 職員研修会
- 4 日(月) 運営会議
- 6 日(水)～15 日(金) 春の交通安全運動
- 17 日(日) クラウドファンディング返礼品説明会
- 20 日(水) 決算賞与
- 20 日(火) 経営会議 衛生委員会 総務部会議 30 周年記念実行委員会
- 22 日(金) 運転手会議

[5 月]

- 8 日(日) さなだおすそ分けの会
- 18 日(水) 30 周年記念実行委員会
- 20 日(金) 経営会議 法人監事監査 運転手会議

[6 月]

- 1 日(水) 運営会議
- 3 日(金) 令和 4 年度第 1 回理事会
- 16 日(木) 30 周年記念実行委員会
- 17 日(金) 運転手会議
- 19 日(日) 長野大学就職説明会
- 20 日(月) 夏季賞与 経営会議、衛生委員会、総務部会議
- 24 日(金) 令和 4 年度第 1 回(定時)評議員会
- 28 日(火) 職員研修会(事業報告会)

[7 月]

- 1 日(木) 運営会議 定期健康診断
- 13 日(水) アザレアンさなだ防災訓練(発電機操作)
- 20 日(水) 経営会議 衛生委員会 総務部会議
- 22 日(金) 運転手会議
- 22 日(金)～31 日(日) 夏の交通安全週間
- 26 日(火) 4 法人 zoom 研修会 法人本部
- 29 日(金) 令和 4 年度第 2 回理事会

[8 月]

- 1 日(月) 運営会議
- 8 日(金) 新型コロナ警戒レベル 6(上田市)
- 10 日(水) 定款変更認可申請書類上田市提出 クラウドファンディング事業開始
- 12 日(金) ベースアップ等支援加算計画書 県・市
- 22 日(月) 経営会議 衛生委員会 総務部会議 法人創立 30 周年記念事業実行委員会
- 26 日(金) 運転手会議

[9 月]

- 1 日(木) 運営会議
- 2 日(金) 社会福祉施設等エネルギーコスト削減促進事業申請
- 5 日(月) 職員過半数代表者委員会
- 15 日(水) 上田市真田独居高齢者用集合住宅 監査 1 回目
- 20 日(火) 消防設備点検 21・22・26 日
- 21 日(水) ナーサリーさなだ 実地指導
- 22 日(木) 経営会議 衛生委員会 総務部会議 運転手会議
法人創立 30 周年記念事業実行委員会
- 29 日(木) 上田市監査 法人本部

[10 月]

- 2 日(日) 飯島康典氏(評議員) 旭日小綬章 受賞祝賀会

- 3日(月) 運営会議
- 18日(火) 上田市真田独居高齢者用集合住宅 監査2回目
- 20日(木) 経営会議 衛生委員会 総務部会議
- 21日(金) 令和4年度第3回理事会
- 24日(月) ホームヘルパーステーションアザレアン・デイサービスセンターアザレアン
県 運営指導 30周年記念実行委員会

[11月]

- 1日(火) 拡大運営会議(書面) 事業報告中間報告書作成
- 2日(水) 運営会議
- 18日(金) 令和4年度第3回評議員会
- 21日(月) 経営会議 衛生委員会 総務部会議
- 24日(木) 30周年記念実行委員会
- 25日(金) 令和4年度第1回第三者委員会 運転手会議
- 30日(水) 簡易専用水道検査

[12月]

- 2日(金) 運営会議
- 11日(日) 認知症サポーター養成研修
- 17日(土) 創立30周年記念式典 会場設営・リハーサル
- 18日(日) 創立30周年記念式典
- 20日(火) 冬季賞与 30周年記念式典反省会
- 22日(木) 経営会議 衛生委員会・防災委員会 総務部会議
- 23日(金) 運転手会議
- 25日(日) さなだおすそ分けの会
- 28日(水) 運営指導 萩の家

[1月]

- 4日(水) 新年神事
- 5日(木) 運営会議
- 10日(月) 長野労働局あっせん参加 職員代表者委員会
- 14日(土) デイサービスセンターどんど焼き
- 15日(日) アザレアンさなだどんど焼き
- 19日(水) 上田市真田独居高齢者用集合住宅 上田市視察
- 20日(木) 運転手会議
- 23日(月) 経営会議・衛生委員会・総務部会議
- 31日(火) 介護職員等処遇改善支援補助金実績報告
令和4年度社会福祉施設等エネルギーコスト削減促進事業

[2月]

- 3日(金) 令和4年度第4回理事会
- 20日(月) 短時間労働者の適用拡大に係る制度改正に即した適正調査
- 21日(火) 消防設備点検
- 24日(金) 経営会議・衛生委員会・総務部会議・運転手会議

[3月]

- 3日(金) 運営会議
- 17日(金) 令和4年度第5回理事会
- 22日(水) 令和4年度第4回評議員会
- 24日(金) 事業推進会議・衛生委員会・業務部会議
- 28日(月) 令和4年度第2回第三者委員会
- 31日(金) 受水槽清掃

●職員全体会議・職員研修会

4月1日	「令和4年度事業計画」発表	ダイフロア・各事業所 ZOOM 開催
5月	「発達障害を理解しよう」	かりがね福社会 本多将之氏
6月	「令和3年度事業報告」	ダイフロア・各事業所 ZOOM 開催
7月	「高齢者虐待防止・身体拘束廃止の取り組みについて」	身体拘束適正化委員会
8月	「アザレアン真田の防災対策について」	安全委員会
9月	「法令順守・倫理について」	小林理事長
10月	「感染症予防・食中毒予防について」	感染症対策委員会
11月	「職場のハラスメントについて」	福澤常務理事
12月	「創立30周年記念式典」	事例発表（訪問看護ステーション真田）
1月	「リスクマネジメントについて」	リスクマネジメント委員会
	永年勤続者・資格取得者紹介	
2月	「事故防止・安全運転について」	安全委員会
3月	「個人情報・プライバシーの保護について」	倫理・人権委員会

●職員の研修参加数

79件の研修に 279人参加 自己研鑽の研修26件

●4 法人合同研修会

7月26日	法人本部事務員懇談会	18人（アザレアン7人）
9月27日	GH・小規模多機能懇談会	12人（アザレアン4人）
11月30日	特養ユニットリーダー懇談会	14人（アザレアン4人）
1月24日	看護師懇談会	12人（アザレアン3人）

●実習生の受け入れ

信州上田医療センター看護学生 39人 長野大学 7人
千曲高校 10人 東御清翔高校 1人 計 57人

●資格取得者

介護福祉士 5人

年度別職員状況確認表

R5. 4.1現在 離職率=減少労働者(28)÷年初全労働者(241)×100=11.61
 R4. 4.1現在 離職率=減少労働者(29)÷年初全労働者(242)×100=11.98
 R3. 4.1現在 離職率=減少労働者(44)÷年初全労働者(251)×100=17.52
 R2. 4.1現在 離職率=減少労働者(29)÷年初全労働者(251)×100=11.55
 H31. 4.1現在 離職率=減少労働者(16)÷年初全労働者(253)×100=6.32

	常勤			非常勤			合計
	男	女	計	男	女	計	
R5. 4.1 職員数	23	75	98	19	124	143	241
離職率 勤続年数	11.47	11.39	11.43	3.39	8.97	6.18	8.81
11.61 平均年齢	43.26	48.66	45.96	65.51	56.47	60.99	53.48
R4. 4.1 職員数	25	80	105	19	118	137	242
勤続年数	10.6	10.6	10.60	3.2	8.6	5.90	8.25
11.98 平均年齢	44.9	47.9	46.40	67.0	56.1	61.55	53.98
R3. 4.1 職員数	32	86	118	18	115	133	251
勤続年数	9.1	10.1	9.58	2.3	8.7	5.49	7.53
17.52 平均年齢	40.9	45.8	43.35	67.2	55.2	61.20	52.28
R2. 4.1 職員数	32	97	129	15	107	122	251
勤続年数	7.8	10.8	9.30	6.1	8.0	7.05	8.18
11.55 平均年齢	39.9	47.8	43.85	63.5	56.1	59.80	51.83
H31. 4.1 職員数	34	102	136	15	102	117	253
勤続年数	8.6	10.5	9.55	5.8	8.0	6.90	8.23
6.32 平均年齢	39.6	47.6	43.60	63.3	57.0	60.15	51.88
H30. 4.1 職員数	36	103	139	12	105	117	256
勤続年数	7.1	9.6	8.35	3.8	7.9	5.89	7.12
12.89 平均年齢	38.6	47.6	43.07	64.4	56.3	60.35	51.71
H29. 4.1 職員数	34	103	137	11	106	117	254
勤続年数	6.8	9.1	7.98	2.7	7.4	5.06	6.52
14.56 平均年齢	37.6	47.6	42.60	63.5	55.4	59.45	51.03
H28. 4.1 職員数	31	101	132	9	109	118	250
勤続年数	6.6	9.9	8.21	3.4	6.8	5.09	6.65
10.71 平均年齢	38.2	50.1	44.15	65.6	53.1	59.35	51.75
H27. 4.1 職員数	30	110	140	10	102	112	252
勤続年数	6.9	8.8	7.84	2.2	6.8	4.49	6.17
9.92 平均年齢	38.7	47.2	42.95	61.5	54.5	57.99	50.47
H26. 4.1 職員数	29	106	135	9	103	112	247
勤続年数	7.0	9.4	8.17	1.9	6.3	4.11	6.14
9.31 平均年齢	37.2	48.6	42.90	57.8	53.0	55.39	49.14
H25. 4.1 職員数	25	113	138	5	93	98	236
勤続年数	6.65	8.42	7.54	5.21	6.02	5.62	6.58
11.01 平均年齢	38.3	48.4	43.35	64.25	53.04	58.65	51.00
H24. 4.1 職員数	26	108	134	5	101	106	240
勤続年数	5.5	8.0	6.78	4.5	5.6	5.07	5.92
10.41 平均年齢	36.8	47.2	42.02	61.4	53.5	57.49	49.75

①事業内容

- (1) 施設維持、家電や建物の情報収集、各事業所見積もりのお手伝い、各業者への連絡と情報収集、業者の交渉、営繕業務
- (2) 備品管理等、備品の発注、見積もり、在庫確認
- (3) 対外的 P R の関する事項、HP、パンフレット、商工会議所、Facebook 等の記事、編集、ハローワーク等各種求人への対応
- (4) 車両管理、運転手管理に関する事項、車の修繕、運転者への情報提供、事故報告書の管理、事故緒所有者及びリース車の対応、最適化、消耗品の管理、運転手会議の開催と研修の実施
- (5) 求人、職員募集に関する事項、各種説明会への参加、宣材の作成と準備、各種書類配布、職場説明会の開催、面談結果の手続き等
- (6) 委員会活動、地域活動に関する事項、防災に関して、地域活動への参加、さなだ支え合い会議、にじいろカフェ、清掃ハイキング等
- (7) 窓口業務に関する事項、業社来所者対応、郵便物管理
- (8) 勤怠管理に関する事項、時間外労働の月初提出、事業所単位の勤怠確認、入社、退社の確認の徹底、勤務変更届の徹底

②2022 年度事業計画に対する達成率 ※自己評価

- (1) 90% (2) 90% (3) 50% (4) 60% (5) 50% (6) 100%
- (7) 100% (8) 90%

③達成できた事項

- (1) 営繕の「依頼書」を作成し業務が明確化できた
- (2) 在庫終了時の連絡なく、在庫切れになることがあった
- (3) 特に facebook を通しての PR が出来ていなかった
- (4) 車両修理の大きなものと、転倒による事故が発生してしまった
- (5) 特に新卒者が 2 年連続にてないための評価
- (8) 勤怠の確認の連絡にミスがあった

④未達成の事項

- (1) 「依頼書」作成が徹底できなかった
- (2) 在庫終了時の連絡の徹底
- (3) facebook、HP、いきいき通信を通じての PR 強化
- (4) 事故の減少
- (5) 新卒に限らずあらゆる人材確保の検討
- (8) 勤怠連絡等のチェック

⑤改善すべき事項

- (1) 営繕業務の幅広い依頼
- (2) 在庫切れ時の連絡徹底
- (3) 事故報告書提出の徹底
- (4) 車両維持への意識高揚の促進
- (5) 新しい人材確保に向けた方針の検討
- (6) 地域貢献に関する職員参加の促進
- (8) 勤怠管理効率化の検討

⑥目標とする事項（2023年度事業計画）

- (1) 全ての職員が新たな自分を発見し自らを高められる1年にします
「職場いきいきアドバンスカンパニー」の登録を視野に、職員の健康管理や環境整備に繋げていきます。
- (2) 優しさに包まれた介護・支援に取り組みます
中途採用者、未経験者でも安心して経験を積み、長く務められるような環境整備や研修制度を確立したいと思います。
- (3) 地域の一員として繋がり、地域に貢献します
 - ・災害時の発生時の備えと共に、地域行事等に積極的に参加できるよう働きかけます。
 - ・各事業所の取り組みをいきいき通信やHPを通じて積極的にPRし、真田地域の皆様に「アザレアンがあるから良かった」と思われるような施設に近づけづけます。

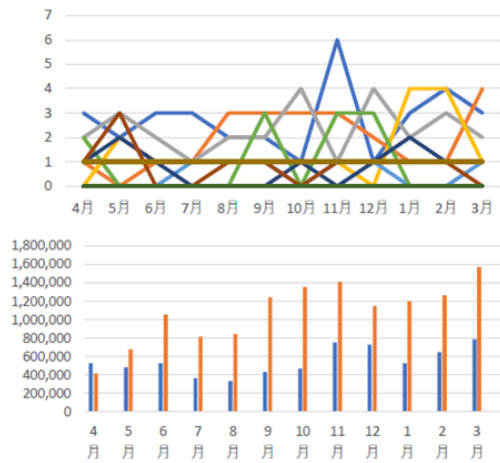
2022 年度 ナーサリーさなだ（企業所内保育所）業務実績

【登園者所属分類】

単位 人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	
アザレアン	通常	本年度	3	2	3	3	2	2	1	6	1	3	4	3	33
		前年	1	0	1	1	3	3	3	3	2	1	1	4	23
	一時	本年度	2	3	2	1	2	2	4	1	4	2	3	2	28
		前年	0	2	1	1	1	1	1	1	2	4	4	1	17
かりがね	通常	本年度	0	0	0	1	1	1	0	1	1	0	0	1	6
		前年	2	2	5	3	3	3	4	3	3	3	4	11	
	一時	本年度	1	2	1	0	0	0	1	0	1	2	1	1	10
		前年	1	3	0	0	1	1	0	1	1	1	1	0	10
	通常	本年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		前年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	一時	本年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		前年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		6	6	6	5	5	5	6	7	7	8	8	7	76	
キャンセル		7	4	5	8	16	9	2	12	14	11	11	9	108	
前年		8	1	5	21	24	19	19	5	22	37	34	32	227	

※「通常」とは月平均16日以上の利用者。それ以下はすべて「一時」の一時保育利用者



【利用金額】

単位 円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総額
金額換算	81,100	82,700	88,800	75,988	60,700	70,300	92,600	101,300	95,000	88,500	97,800	101,200	1,035,988
前年	69,500	80,200	118,000	79,600	91,100	127,400	131,600	134,100	119,500	104,200	111,200	141,400	1,307,800

【助成金額】

単位 円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総額
金額換算	528,660	484,190	528,660	365,640	333,640	434,790	466,190	752,861	729,750	528,976	647,593	786,729	6,587,679
前年	416,170	677,490	1,052,140	812,890	843,620	1,240,990	1,352,910	1,407,590	1,146,470	1,199,270	1,259,790	1,566,900	12,976,230
支出※2月分まで 人件費 ▲880,000 事業費支出 ▲700,000 事業費支出 1,150,000 最終収入のみ昨年比 ▲6,660,363													
													7,623,667
													14,284,030

2022年度 業務部 送迎・配食業務実績 ※2023年2月まで

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	A V
送迎(時)	デイ	516.0	459.0	441.5	476.0	483.0	469.5	459.0	482.5	474.0	452.0	352.0	476.0	5510.5	459.2
		440.0	458.0	448.0	442.0	494.0	462.0	444.5	433.5	486.0	432.0	382.0	432.0	5354.0	446.2
	萩の家	120.0	122.0	128.0	124.0	118.5	94.0	94.0	120.0	84.0	88.0	80.0	89.0	1261.5	105.1
		104.0	104.0	104.0	102.0	108.0	96.0	92.0	84.0	64.0	82.5	74.0	82.0	1096.5	91.4
	大畑の家	128.0	125.0	121.0	124.0	125.0	120.0	124.0	120.0	124.0	116.0	112.0	124.0	1463.0	121.9
		120.0	124.0	121.0	126.0	118.0	120.0	124.0	120.0	120.0	112.0	110.0	118.0	1433.0	119.4
	ショート	205.5	210.5	199.5	214.0	212.5	192.5	201.5	197.0	237.0	240.0	220.0	282.0	2582.0	215.2
		239.0	246.0	240.0	242.0	172.0	145.0	248.0	233.0	146.0	233.0	212.0	241.0	2597.0	216.4
	その他	66.0	104.5	87.0	182.5	129.5	177.0	71.0	143.5	105.0	60.0	35.0	15.0	1146.0	95.5
		76.0	55.0	78.0	80.0	76.5	99.0	83.5	89.5	117.0	33.0	68.0	19.0	874.5	72.9
小計	1035.5	1021.0	977.0	1090.5	1068.5	1053.0	949.5	1033.0	1024.0	956.0	799.0	956.0	8832.5	719.4	
	979.0	987.0	991.0	992.0	968.5	922.0	992.0	960.0	933.0	892.5	846.0	892.0	11355.0	946.3	
配食(食)	朝食	118	120	138	137	80	94	108	100	84	70	46	34	1129	94.1
		42	59	49	57	57	74	87	56	48	40	53	63	685	57.1
	昼食	312	335	319	353	347	337	347	308	311	280	239	263	3751	312.6
		257	249	234	230	247	247	269	242	230	233	179	231	2848	237.3
	夕食	709	715	715	769	721	725	786	761	701	597	520	572	8291	690.9
		620	619	564	357	459	476	530	473	416	391	325	386	5616	237.3
	小計	1139	1170	1172	1259	1143	1156	1241	1169	1096	947	805	869	13171	1097.6
		919	927	847	644	763	797	886	771	694	664	557	680	9149	762.4
	契約	1041	973	877	952	939	1080	987	936	816	909	868	931	11309	942.4
		964	1016	945	768	913	1269	1351	1427	1289	1140	1127	1268	13477	1123.1
総配食数	2180	2143	2396	2855	2850	3033	3114	2876	2606	2520	2230	2480	31783	2648.6	
	1883	1943	1792	1412	1676	2066	2237	2198	1983	1804	1684	1948	22626	1885.5	
職員数	15	15	15	16	15	15	15	15	14	13	12	13	173	14.4	
	13	13	14	14	14	13	13	13	13	13	12	12	157	13.1	
配食費用	369,226	384,651	422,082	440,956	413,250	403,344	407,788	446,996	434,596	376,760	367,853	384,432	4,851,934	404,328	
	416,100	417,525	458,850	454,100	426,075	368,600	373,350	428,450	427,975	404,700	369,550	409,925	4,955,200	412,933.3	
配食数÷配食費用	169.4	179.5	145.7	154.5	145.0	133.0	131.0	155.4	166.8	149.5	165.0	155.0	1849.7	154.1	
費用	1,147,425	1,146,025	1,180,175	1,279,150	1,213,675	1,168,200	1,128,375	1,210,275	1,223,775	1,060,975	958,850	1,109,625	13,826,525	1,152,210	
	1,153,175	1,163,575	1,183,350	1,224,150	1,247,075	1,122,100	1,139,900	1,134,650	1,167,645	1,074,835	1,002,240	1,045,215	13,658,000	1,138,167	

(市) 栄養課 → 栄養士 → R3 → 配食集計

(契約書) 共有 → 施設事業部 → 栄養課 → 配食按分表 → 2022食数

①事業内容

- (1) 車両管理（法人保有及びリース車）
- (2) 車両維持（定期点検・整備・板金・保険等）
- (3) 運転手勤怠管理
- (4) 運転手研修
- (5) 施設維持管理
- (6) 備品修繕

②2022 年度事業計画に対する達成率

- (1) 100% (2) 90% (3) 70% (4) 80% (5) 70% (6) 70%

③達成できた事項

- ・すべての車両状況の管理が行えています。(1)・(2) (車両整備、契約更新、車検等)
- ・車両メンテナンスは確実に実施し、運行に支障が出ないように手配できました。(3)
- ・人材不足ではあったが、業務にほぼ影響がでませんでした。(4)
- ・総務部運転手を中心に事故事例などを検証して、事故の再発防止及び意識向上につなげることができました。(5)
- ・自分たちでできる修繕については概ね実施することができました。(6)
- ・新シフト導入により勤務の平常化が行えました。
(個々の事情等を考慮、みなし時間削減)
- ・他部署との連携がとれるようになってきました。
- ・可能な限り各事業所の協力等により、送迎便の減便ができました。

④未達成の事項

- ・送迎事故によりご利用者様に不安な思いをさせてしまいました。(安心安全の送迎)
- ・業務の都合上、事故車両の板金修理が全て実施することができませんでした。
- ・当事者不明の車両事故報告書が提出されるという事案がありました。
- ・高額な費用が発生する修繕については残念ながら実施できませんでした。

⑤改善すべき事項

- ・各事業所と検討した事項について遵守のうえ改善が必要な場合は進化させていきます。
- ・2022 年度できなかった車両修理について、事故報告書に沿って進めていきます。

⑥目標とする事項（2023 年度事業計画）

- ・チャレンジ目的・目標に繋がる基盤（マニュアル化）を確立していきます。
- ・安全・迅速・間違いがないよう職務を実行します。(情報共有により業務の統一化)
- ・確実性・スキルの向上を目指し、車両事故削減に向けて啓発活動を行っていきます。

① 事業内容

- (1) 月次試算表の作成 (2) 決算書の作成 (3) 財務諸表等電子開示システムの登録
- (4) 資金繰り (5) 買掛金(業者支払)支払業務 (6) 各種サービス利用料口座振替手続

② 2022 年度事業計画に対する達成率

- (1) 通常の仕訳入力等もスムーズに出来るようになり、毎月の経営会議に月次試算表を提出することが出来ました。
- (2) 決算書の作成は、会計事務所との打ち合わせをしっかりとやり、お互いの作業を分担し、最終的に会計事務所のチェックで決算書を作成することが出来ました。
- (3) 財務諸表等電子開示システムの登録は、会計ソフトからデータ出力による機能を活用出来ず、時間を要してしまいました。
- (4) 資金繰りは、金融機関の手形根保証枠を利用し、運転資金の調達により安定を図ることが出来ました。
- (5) 買掛金(業者支払)支払業務は、月末の業者支払が中心であり、各事業所からの納品書に基づく入力事務、請求書との照合、支払事務(振込処理)もチェック(検印)により正確な事務処理が出来ました。
- (6) サービス料等口座振替は、介護サービス料の口座振替事務が中心であり、介護請求データから各金融機関のデータを作成し、チェック(検印)後にデータを伝送することにより正確な事務処理が出来ました。

③ 達成できた事項

- (1) 月次試算表(法人全体・事業所別)は翌月の経営会議に提出することが出来ました。
- (2) 決算書の作成は、会計事務所(日本経営ウィル税理士法人)と打ち合わせをし、貸借対照表における資産、負債を明瞭に表示いたしました。(サービス区分ごとに作成)
- (3) 財務諸表等電子開示システムの登録も期日までに登録出来ました。
- (4) 運転資金借入れは、中期的(3ヶ月)資金繰りを考慮し、金融機関と協議・申込みにより安定した資金繰りが出来ました。
- (5) 買掛金(業者支払)支払業務は、作成者、検印者の権限を明確にし、ミスのない正確な事務処理が出来ました。
- (6) サービス料等口座振替につきましても、作成者、検印者の権限を明確にし、買掛金(業者支払)支払業務同様、ミスのない正確な事務処理が出来ました。

④ 未達成の事項

- (1) 会計ソフトと財務諸表等電子開示システムの登録がスムーズに処理することが出来ませんでした。
- (2) 固定資産台帳の整理。

⑤ 改善すべき事項

- (1) 介護保険請求事務と会計処理の効率化。(2) 会計ソフト入力用資料の検討。
- (3) 固定資産台帳の見直し、整理。(4) 担当業務の定期的な見直し。

⑥ 目標とする事項(2023 年度事業計画)

- ※ 会計事務所との連携を図り、正確な会計処理を目指します。
- ※ 法人内での役割を認識し、各事業所が必要としている資料等を提示します。
- ※ 的確な対応がとれるよう専門知識の向上を目指します。
- ※ 法人の窓口として、高い倫理観を持ち、親切・丁寧に対応します。
- ※ 職務分掌の確立により、業務の連携、効率を図ります。

○事業所名

施設事業部（特別養護老人ホーム、短期入所、サテライト型居住施設、横尾サテライト、栄養管理、真田グループホーム、萩・曲尾グループホーム、下原グループホーム、菅平グループホーム、菅平グループホーム認知症対応型通所介護）

施設事業部として施設事業課（短期入所）と認知症対応型事業課でも新型コロナウイルス感染症のクラスターを経験し、見えない敵との闘いが続いた日々がありました。幸い、命に関わるほどの重篤な状態のご利用者様はなく、皆様が通常通りの生活に戻れたのが何よりでした。職員は陽性者のケアに関わり、心身共に限界に近い状況であっても全力を尽くしてくれました。

施設入所されているご利用様には外出の制限やご家族様との面会も自由に出来ず、大変心苦しいことが多くありました。この数年間は通常の行事が次々と中止になり、お誕生日会もご家族様の参加は控えて頂き、写真をお送りする報告となりました。1つ1つの行事が貴重な時間となる高齢者の皆様にとって少しでも楽しい、うれしい、良かったと思っただけのように工夫してきました。

短期入所、菅平グループホーム認知症対応型通所介護、栄養管理の配食弁当ではご利用者様、ご家族様がよりその人らしく自宅で生活できるようになるため、サービスの提供を行ってきました。どのサービスも広範囲になり、できる限り希望に沿えるようにしてきました。

菅平グループホーム認知症対応型通所介護は須坂市の仁礼地区より通われている方もいました。短期入所も上田市内の五加や東御市よりご利用いただけていました。

地域の皆様と交流や会議など開催できず、顔の見える関係づくりがほぼできない状況の1年間となりました。災害時などの有事の際に“頼れる”事業所となるためにはお互いの顔がわかるようにならなければなりません。今後真田地域の高齢化を考えていく上で必要不可欠な課題だと思っています。

最後に、新型コロナウイルス感染症に対しての対応が変化する 2023 年度には今まで制限や控えていた会議、外出、面会等積極的に勧めていきたいです。

① 事業内容

ご利用者様の終の棲家として、日々の生活を支え安心して暮らせるように支援しています。短期入所では、地域での生活を継続するうえで、アクティビティ活動を行ったり、家族のレスパイトや看取りの方を受け入れ、地域から頼られる存在になれるように努めてまいりました。栄養管理では、食事は楽しみの一つでもありますので、安全・安心な食事提供に努めました。

② 2022 年度事業計画に対する達成率

- 30 周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します・・・60%
- ワクワク・ドキドキの活動を提供していきます・・・・・・・・80%
- 地域の応援団を強化していきます・・・・・・・・60%

③ 達成できた項目

- ・専門職を中心に誕生日会や季節に合った行事などを開催し、ご利用者様の笑顔を引き出せる時間を提供する事が出来た。又少しずつですが家族との面会（LINE 面会も含む）も行えています。
- ・短期入所で、他事業所と連携を取りながら看取りの方を受け入れました。その方を通じて家族も含め在宅での生活を支えるという事を学びました。

④ 未達成の事項

- ・職員の離職も多くあり、ご利用者様のケアに追われてしまい、職員が仕事に対して楽しみなどが見いだせない状況です。
- ・研修会や会議等の参加があまり出来ていない状況です。
- ・職員との面接が出来ず、理解を深める事が出来ませんでした。

⑤ 改善すべき事項

- ・ケアだけではなく、ご利用者個人に目を向け細かい気遣いができたり、職員発信で行事等発案できるような余裕のある職場作りを進めます。
- ・コロナ蔓延の為、短期入所の利用停止がありご利用者様に不安を与えてしまった為、感染予防を徹底し安心して利用して頂けるように努めます。

⑥ 目標とする事項

- ・次世代育成と職員定着率向上に向け、相互理解を深め魅力ある職場作りを目指します。
- ・研修会の参加をし、基礎知識の向上。会議の開催をし、情報共有を図ります。
- ・感染対策を行い、経営の安定に努めます。
- ・ご利用者様と共に、地域行事への参加などを行い、日々の楽しみや張り合いを持てるような行事を計画していきたい。

① 事業内容

2022 年度は『看取りケアについて考え学ぶ』『ご利用者の体調変化の早期発見・早期対応』『スタッフ自身の体調管理の徹底』という事業目標を設定しました。2022 年度は深刻な人員不足により勤務形態も大きく変更し、ギリギリのなかで業務に当たらなければなりませんでしたが。コロナウィルスの感染拡大もあったなかでも、ご利用者と向き合い日々の業務に当たることが出来ました。

② 2022 年度事業計画に対する達成度

1. 法人の運営理念、スローガンを定着するために・・・・・・・・・・30%
・申し送り前に復唱し運営理念・スローガンに触れる機会を増やしていく
2. 30 周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します・・・・・・・・・・60%
・職員の相互理解、地域や他事業所への理解を深める
3. ワクワク・ドキドキの活動を提供していきます・・・・・・・・・・80%
・誕生会の計画としてご家族参加の食事会やユニット内でのお祝い
・季節に接することができる行事の立案
4. 地域の応援団を強化していきます・・・・・・・・・・50%
・災害時でもご利用者様に必要なサービスを提供するための働きかけ
・避難訓練等への参加

③ 達成できた事項

ユニット内での誕生日のお祝いは専門職との協力で1年通して実行することが出来ました。居室担当がご利用者様に合った誕生日プレゼントを選び、メッセージカードと共にお渡ししたことで、ご利用者様に喜んでいただけました。また LINE のカメラ通話を使った面会も随時行うことが出来ました

勤務形態を大きく変更した際には職員全員で会議を行い、意見を出し合うことで相互理解を深め、協力、連携を深められたと思います。

③ 未達成の事項

スローガンの復唱に関しては、申し送りを早く終わらせて業務に入りたいという気持ちが逸り定着することが出来ませんでした。

コロナ禍が続いたことで地域との交流やご家族参加の催し物は実行することが出来ませんでした。

④ 改善すべき事項

現在は業務に追われて、ゆっくりとご利用者様と話をするという時間を設けられていません。それに伴いご利用者様に対してスピーチロックや不適切な言動をしていることがあ

ります。心の余裕を持ってご利用者様と関わるように努めていく必要があると感じています。

⑥ 目標とする事項(2023年度事業計画)

- ・スタッフひとりひとりの意見を出し合い、全員でユニットを作っていく
- ・ご利用者様に関わる際の言動が不適切でないか振り返る

1 特別養護老人ホームアザレアさなだ 事業報告

① (1)入居者の状況 ① 年齢別

2023年3月31日 現在

	60～69	70～79	80～89	90歳以上	小計	合計	平均年齢	
男性	0	2	2	2	6	30	85.50	88.77
女性	0	1	11	12	24		89.58	
合計	0	3	13	14				

* 最高齢 女性 101 歳 最年少 男性 76 歳

② (2)入居者の状況 ② 入所市町村別、在所期間別

2023年3月31日 現在

		～1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上 6年未満	6年以上	小計	合計	平均在所期間 (日)	平均在所期間 (年)
真田町	男性	1						1	2	21	2394	6.56
	女性	6	3	2	2		2	4	19		1290	3.53
上田市	男性	1	1						2	7	341	0.93
	女性	2	1					2	5		1059	2.90
東御市	男性	1							1	1		
	女性								0			
長和町	男性							1	1	1	256	0.70
	女性								0			
合計	男性	3	1	0	0	0	0	1		30	997	2.7
	女性	8	4	2	2	0	2	6			1175	3.2
合計		11	5	2	2	0	2	8				

③ (3)入居者の状況 ③ 入所市町村別、入所状況

2023年3月31日 現在

		2022年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	小計	合計
真田町	男性									1				1	7
	女性	1	1						1	1	1		1	6	
上田市	男性			1										1	3
	女性						1					1		2	
東御市	男性				1									1	1
	女性													0	
長和町	男性													0	0
	女性													0	
合計	男性													3	11
	女性													8	
合計		1	1	1	1	0	1	0	1	2	1	1	1	11	

(4) 退居者の状況

④ 入所市町村別、退所状況

2023年3月31日 現在

		2022年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年	2月	3月	小計	合計
		4月									1月				
真田町	男性									1				1	6
	女性	1		1			1		1		1			5	
上田市	男性										1			1	3
	女性				1				1					2	
東御市	男性													0	1
	女性												1	1	
長和町	男性													0	0
	女性													0	
合計	男性													2	10
	女性													8	
合計		1	0	1	1	0	1	0	2	1	2	0	1	10	

(5) 日常生活動作の状況

2023年3月31日 現在

入浴	人数	食事	人数	排泄		人数	
自分で可能	0	自分で可能	15	昼間	便所	自分で可能	5
						一部介助	8
一部介助	5	一部介助	3	ポータブル	自分で可能	2	
						一部介助	1
全面介助	25	全面介助	12	オムツ使用		14	
合計	30	合計	30	合計		30	
移動	人数	着脱	人数	排泄		人数	
自分で可能	6	自分で可能	2	夜間	便所	自分で可能	3
						一部介助	2
一部介助	0	一部介助	4	ポータブル	自分で可能	2	
						一部介助	1
車イス自力移動	4	全面介助	24	オムツ使用		22	
車イス全介助	20						
合計	30	合計	30	合計		30	
						パウチ・カテーテル使用者	4

* パウチ使用者0名

* カテーテル留置者4名

(6) 面会、外出、外泊回数状況

① 回数別分布

2022年4月1日 ~ 2023年3月31日 まで

区分	0回	1回	2~5回	6~11回	12回以上	合計	平均
面会人数	11	12	7	0	0	30	
外出数	0	1	0	0	0	1	0.2
外泊数	0	0	0	0	0	0	

② 月別面会

2022年4月1日 ~ 2023年3月31日 まで

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
面会回数	4	3	4	4	3	0	0	0	2	3	3	2	28	
定員	8	5	8	8	6	0	0	0	2	4	3	1	45	3.75
1人当たり平均	0.7	0.4	0.7	0.7	0.5	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.3	0.1		

*オンライン面会含む

(7) 入浴状況

① 個浴

2022年4月1日 ~ 2023年3月31日 まで

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
対象者数	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	71
清拭対応者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入浴延べ人数	41	50	48	51	50	49	52	48	53	52	45	53	592
1週1人当たり回数	2.05	2.08	2.00	2.13	2.08	2.04	2.17	2.00	2.21	2.17	1.88	2.21	2.08

② リフト浴

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
対象者数	14	13	14	15	15	16	16	16	16	17	16	16	184
清拭対応者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入浴延べ人数	112	105	117	118	123	125	127	130	125	130	128	130	1470
1週1人当たり回数	2.00	2.02	2.09	1.97	2.05	1.95	1.98	2.03	1.95	1.91	2.00	2.03	2.00

① 寝浴(全介助浴)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
対象者数	11	11	10	9	9	8	8	8	8	7	8	8	105
清拭対応者数	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	0	1	9
入浴延べ人数	97	90	85	80	73	80	70	70	71	60	60	63	899
1週1人当たり回数	2.23	2.07	2.15	2.25	2.03	2.50	2.22	2.22	2.25	2.18	1.88	2.00	2.16

2022年度 特 養 実 績 (目標稼働率:長期 98.00% 大畑サテ 95.00% 横尾 98.00% ショート 98.00%)

	4月				5月				6月				7月						
	特養	横尾	大畑	96.47%	特養	横尾	大畑	98.82%	特養	横尾	大畑	99.36%	特養	横尾	大畑	98.51%			
平均要介護	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5				
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
要介護3	3	90	1	30	14	192	4	115	1	31	14	185	4	124	1	31			
要介護4	11	289	5	150	6	175	4	69	5	155	4	69	5	155	6	171			
要介護5	16	471	4	120	5	150	4	71	5	186	4	63	5	155	5	155			
外泊																			
入院	3	46	0	0	1	5													
入居者	1	4月13日																	
退居者	1	4月13日																	
利用率	94.44%	100.00%	100.00%	98.61%	107.78%	100.00%	100.00%	103.87%	97.96%	100.00%	100.00%	95.16%	100.00%	98.61%	98.00%	95.97%			
前年度利用率	96.67%	83.67%	100.00%	99.19%	84.30%	99.09%	91.61%	99.19%	99.09%	91.61%	99.09%	95.28%	114.44%	98.39%	97.74%	88.98%			
前年比	-2.22%	16.33%	-1.39%	19.11%	19.57%	-1.08%	8.39%	0.81%	0.81%	19.57%	-4.84%	100.00%	100.00%	3.39%	-16.44%	1.29%			
8月																			
特養	横尾	大畑	99.32%	101.49%	特養	横尾	大畑	99.94%	97.26%	特養	横尾	大畑	96.77%	99.90%	特養	横尾	大畑	96.35%	98.41%
平均要介護	4.4	4.3	4.3	2.9	4.4	4.3	4.4	2.8	4.3	4.5	4.5	2.7	4.3	4.5	4.3	4.3	4.5	4.3	4.5
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	3	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	4	124	1	31	12	125	4	120	1	30	12	123	4	124	1	31	7	15	184
要介護4	11	341	5	155	6	175	8	126	5	150	6	57	4	12	351	5	135	4	40
要介護5	15	465	4	124	5	155	5	41	6	180	4	34	5	14	434	4	124	7	199
外泊																			
入院																			
入居者																			
退居者																			
利用率	100.00%	100.00%	100.00%	97.04%	109.46%	100.00%	100.00%	88.00%	99.89%	100.00%	100.00%	97.74%	100.00%	91.67%	110.75%	100.00%	95.33%	100.00%	95.83%
前年度利用率	99.03%	98.39%	88.44%	102.80%	99.44%	100.00%	97.78%	99.56%	99.44%	100.00%	97.78%	99.68%	96.45%	97.04%	118.06%	118.06%	99.11%	95.67%	90.83%
前年比	0.97%	1.61%	8.60%	6.67%	0.44%	0.00%	2.22%	-1.56%	0.44%	0.00%	2.22%	-1.94%	3.55%	-5.38%	-7.31%	-7.31%	-3.78%	4.33%	5.00%
12月																			
特養	横尾	大畑	99.01%	97.11%	特養	横尾	大畑	98.39%	98.51%	特養	横尾	大畑	99.04%	100.27%	特養	横尾	大畑	98.26%	99.90%
平均要介護	4.3	4.3	4.4	2.9	4.4	4.3	4.4	2.8	4.3	4.5	4.3	2.7	4.3	4.5	4.3	4.3	4.5	4.3	4.5
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	8	107	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	8	117	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	4	124	1	31	2	62	14	157	5	140	0	3	84	7	97	5	155	0	3
要介護4	14	387	5	155	3	93	4	39	5	155	3	84	5	58	5	147	3	93	7
要介護5	13	403	4	124	7	217	4	54	13	396	4	111	7	164	5	155	6	186	4
外泊																			
入院																			
入居者																			
退居者																			
利用率	95.28%	100.00%	100.00%	91.18%	98.60%	95.81%	100.00%	98.92%	98.60%	95.81%	100.00%	98.81%	96.43%	98.81%	105.24%	97.85%	97.42%	100.00%	100.00%
前年度利用率	100.00%	92.90%	83.33%	125.59%	95.05%	100.00%	84.14%	106.02%	95.05%	100.00%	88.99%	97.98%	100.00%	88.99%	113.57%	96.02%	100.00%	82.53%	113.12%
前年比	-1.72%	7.10%	16.67%	-34.41%	3.55%	-4.19%	15.86%	-7.10%	3.55%	-4.19%	15.86%	2.02%	-3.57%	9.82%	-8.33%	1.83%	-2.58%	17.47%	3.79%

① 事業内容

職員全員が最善のケアを同じように行えるようになる事を目指してスタートしましたが、途中新型コロナウイルスのクラスターが二度発生し、職員も数名が感染するなど通常とは言い難い日々の業務の内に終わった一年でした。

ご利用者の入所時の抗原検査は現在も継続中で、時々陽性反応を示す方もいまだにおられ、まだ終息とはいえない状況で緊張感は続いています。

② 2022 年度事業計画に対する達成率

③ 達成できた事項

④ 達成の事項

半月近くに及ぶ二回の隔離生活で、その間のご利用者の受け入れもストップするなど利用率が大きく下がった時期もありました。

職員の相互理解を深める為意見交換の場をもっと持ちたかったが、係長の職場移動での不慣れな環境とコロナのクラスターが重なり、チームワークの強化は未達成となってしまいました。

食事席もパーテーションで仕切るほどである為、集団での作品作りや体操など出来なかった事は多いです。

地域への情報発信も手が回りませんでした。二度のクラスターを出した事業所であるにも関わらず、直後より今まで通りにご利用に通って下さる方が多く、30年という時間の重さを感じた一年でもありました。全体としての達成率は20%程度とします。

⑤ 改善すべき事項

ご利用者様へのより良いケアの為にも、ケアマネジャーや生活相談員との連絡・連携を密にし、もっと横のつながりを構築していくべきであったと反省しています。

⑥ 目標とする事項（2023 年度事業計画）

ウイズコロナの時代となり5月には5類へ移行される事より、今後は換気・手指消毒・検温など感染対策をしっかり取った上でユニット会議を開催し、職員の相互理解を深め、皆が最善のケアを同じように行う事を目指し、看取りケアなどを学ぶ機会も増やして全員で自己研鑽をしてまいります。

① 事業内容

施設内・在宅において多様化するニーズ（健康状態・嗜好）に合った食事サービスの提供に努めました。ワクワク・ドキドキする期待が持てる食事献立作り・取り組みをしました。給食会議での提案等やご利用者様の意見・要望を反映し、より楽しみのある食事時間を過ごせるよう工夫を行い、職員の知識・経験を活かし新しい献立を積極的に取り入れることが出来ました。

② 2022 年度事業計画に対する達成率 ③達成できた事項

○情報共有と持続を心掛け、誰が調理しても一定のものが提供できるよう意識と技術を統一できるよう理解を深めました。課内会議や日々の業務内でのミーティングや連絡ノートを活用し情報共有や改善点を周知しました。他事業所との連携・情報共有を図ることが概ね出来ました。また配食サービスの安否確認での様子から日々の状況変化をケアマネに繋げ、ご利用者様のニーズに応えるサービス提供に繋げる一歩になりました。ご利用者様宅訪問で、環境・状況把握することで、より身近に感じることが出来、関係者との情報共有をスムーズに行うことが出来ました。

○安心・安全な食事提供と日々の健康管理・感染症対策に努めることが出来ました。

④ 未達成の事項

○ニーズに応えられるために向上心を忘れず楽しみ・やりがいを持てる様に取り組ましました。「誰かが」から「自分発信」になれる意識改革を目指します。

⑤ 改善すべき事項

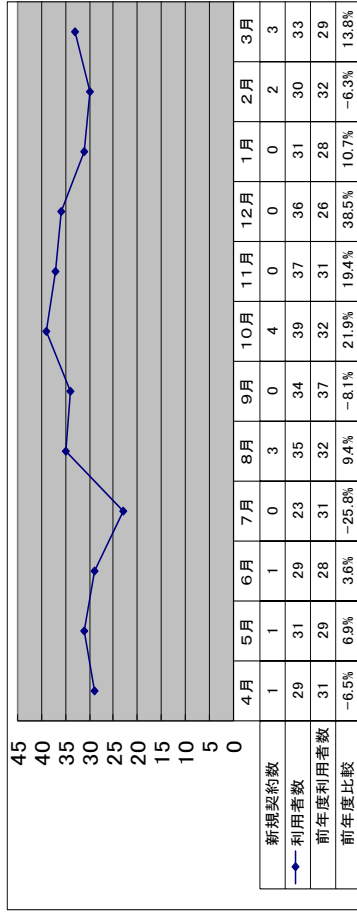
○自を逆の立場に置き換えた時、何をどのようにしたらいいのかを考える（「繋ぐ・繋がれる」バトンからご利用者様へ）意識を持ちます。

⑥ 目標とする事項（2023 年度事業計画）

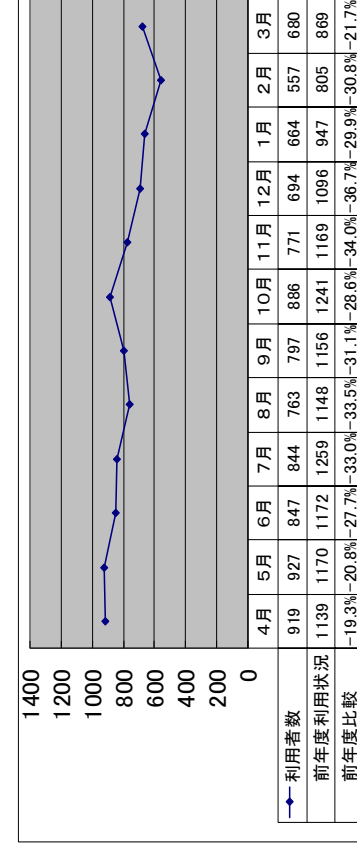
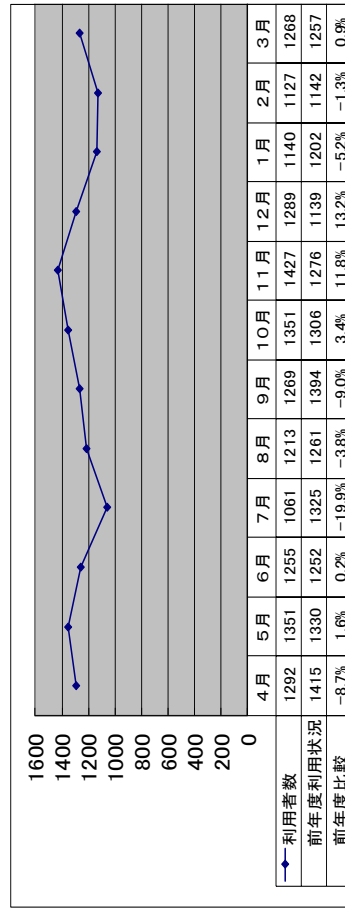
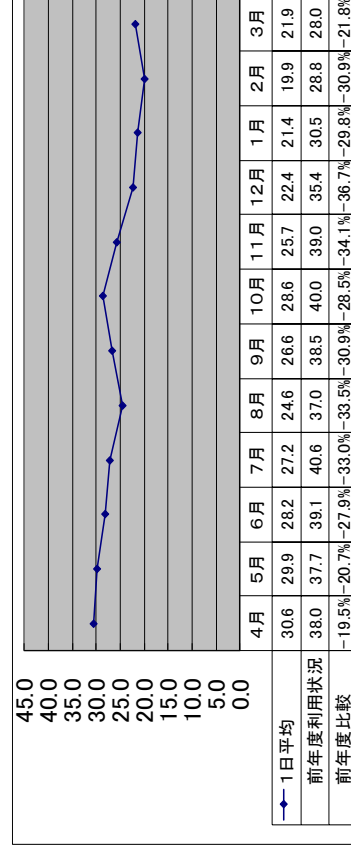
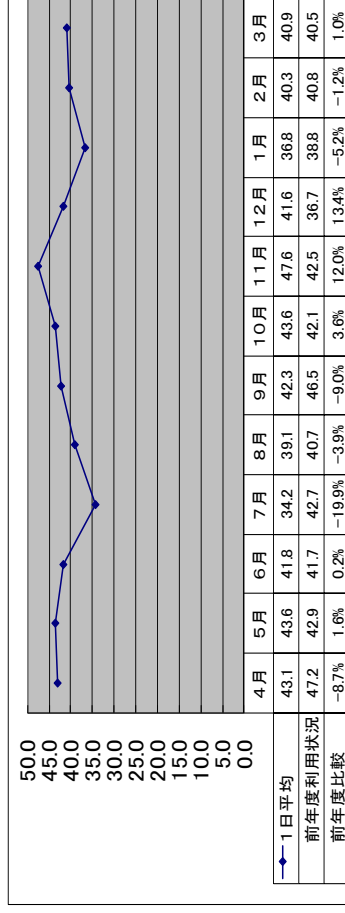
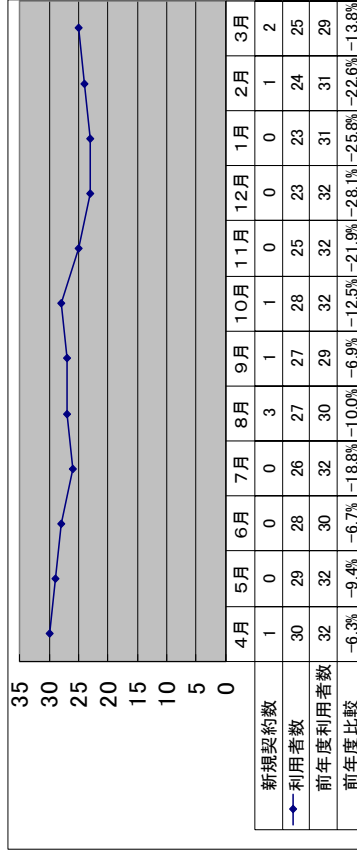
1. 各事業所との情報共有・連携を図り、寄り添った食事環境の支援が出来るように努めます。
2. 職員自らの知識・経験について活かし、ひとり一人が仕事を通して存在を表現し、個々の力が作用して新たな発見を生み出せる体制を目指します。
3. 配食サービスを通して在宅での生活が安心して継続できる、身近な存在となれることを目指します。

今後ご利用者様に寄り添った食事提供サービスが出来るようにと思っております。

令和4年度アザレアンさなだ配食個人契約年間利用者集計表



令和4年度上田市真田町配食サービス事業年間利用者集計表



① 事業内容

ご利用者様の個別ケアに重点を置き、健康で楽しく安心して暮らしていただけるように支援しています。

② 2022 年度事業計画に対する達成率

- ・ 法人の理念・スローガンを定着するために・・・・・・・・・・・・・・70%
- ・ 事業所目標・利用率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・90%
- (1)30周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します・・・・・・・・・・・・60%
- ・ 職員間の良好な関係作りとご利用者の状況・状態把握での問題解決。
- ・ 所属職員への心理的・身体的状況・状態の把握と働きやすい環境作り
- (2)ワクワク・ドキドキの活動を提供していきます・・・・・・・・・・・・70%
- ・ 誕生日会（ご家族交流）等、楽しい活動の計画・実施
- (3)地域の応援団を強化していきます・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50%
- ・ 地域交流の為の行事への参加や運営推進会議の再開

③ 達成できた項目

- ・ 会議前での読み合わせ等で理念・スローガン定着しつつあります。
- ・ お亡くなりになられることでの利用率の低下はありましたが、ご利用者様の状態把握をし、健康管理努めたことで達成できました。
- ・ 職員間でコミュニケーションを取ることで働きやすい環境は作ることでできました。
- ・ 居室担当を中心とした誕生日会を提供することで、ご利用者に喜んで貰えることができました。

④ 未達成の事項

- ・ 人員不足により、ご利用者様に最低限のケアしか提供できていません。又職員も忙しさで余裕も無く、楽しくやりがいがある職場を提供出来ませんでした。
- ・ 研修会や会議等の参加があまり出来ていないことでレベルアップが出来ていません。
- ・ 誕生会でのご家族との時間作りの提供が出来ませんでした。
- ・ 地域の行事参加、運営推進会議の再開が出来ませんでした。

⑤ 改善すべき事項

- ・ 日々の忙しさの中でも、ご利用者様の生活に張りが出る様な関りが出来るように、職員で考え試行錯誤しながら実施していきたいと思えます。
- ・ 職員が楽しくやりがいのある職場はどういう職場なのかを考え、聞き取り等にて環境作りに努めていきたいと思えます。又職員のケアのレベルアップの為に法人内外の勉強会の参加など促してレベルアップを図る。

⑥ 目標とする事項（2023 年度事業計画）

- ・ ご利用者様にとってより良い生活とは何かを考え、質の良いケア・生活作りの構築。
- ・ 職員の勉強会・研修会等の参加をし、ケアの質・知識の向上。会議への積極的参加。
- ・ ご利用者様の健康管理に努め入院者等出さないように、経営の安定を図る。
- ・ ご利用者様とご家族を交えた誕生日会の実施とご家族との交流。
- ・ 地域行事への積極的な参加と運営推進会議の再開。

① 事業内容

2022 年度の事業目標として、『ご利用者様の異常に早期発見・早期対応に努める』『情報の共有を行いご利用者様にとって最善のケアを考える』『職員間の信頼関係の構築』以上の3つを設定しました。

人員不足により連携・協力が更に必要となる中で、ご利用者様だけでなく職員間の関係性・信頼関係を再構築し、業務にあたることができました。

また、逝去される方が多く、新規のご利用者様の生活リズムを考え、ご利用者様第一でケアを行う事ができたと思います。

② 2022 年度着行計画に対する達成度

1. 人の運営理念、スローガンを定着するために・・・・・・・・・・60%
・言う、機会を増やし1人ひとりが意識できる機会を増やしていく
2. 30周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します・・・・・・・・・・50%
・ユニット間での相互理解を深める事はできたがコロナ禍ということもあり、他ユニットの連携や理解を深めていく。
3. ワクワク・ドキドキの活動を提供していきます・・・・・・・・・・60%
・誕生日会の開催は継続し、毎月の行事の立案
4. 地域の応援団を強化していきます・・・・・・・・・・80%
・季節に応じた写真を撮り報告する

③ 達成できた事項

専門職と協力することで誕生日会を行い、写真を撮る機会を増やす事でご家族に写真と共に様子を報告することが出来たと思います。

職員間で連携することでユニット間での相互理解を深め、ご利用者様の安心・安全のために行動することが出来たと思います。

④ 未達成の事項

申し送りをする前にスローガンを唱和する事に対し、人員不足により1人の職員が通して勤務する事が増え、申し送り自体の回数が減少し唱和することが出来なかった。

また、コロナによる職員の欠員により、ユニット外の職員にフォローして頂く事もあり、唱和する心がけが出来ませんでした。

⑤ 改善すべき事項

“人員不足、を言い訳に理念の唱和をはじめ、最低限のケアになってしまっている部分があると感じています。心の余裕を作り、ご利用者様本位のケアを心がける必要があると思います。

⑥ 目標とする事項（2023 年事業計画）

- ・職員1人ひとりが考える事・伝える事ができる環境作る
- ・報・連・相の徹底と誠実な仕事をする余裕を作る
- ・心のゆとりを作りケアの見直しやご利用者様への想いを再確認しより良いケアの提供
- ・笑顔で勤務できる環境づくり
- ・信頼関係の構築

1 アザレアさなだ横尾サテライト 事業報告

① 入居者の状況 ① 年齢別

2023年3月31日 現在

	60～69	70～79	80～89	90歳以上	小計	合計	平均年齢	
男性	0	1	0	0	1	10	71.00	84.10
女性	0	2	4	3	9		85.56	
合計	0	3	4	3				

* 最高齢 女性 94 歳 最年少 男性 71 歳

② 入居者の状況 ② 入所市町村別、在所期間別

2023年3月31日 現在

		～1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上 6年未満	6年以上	小計	合計	平均在所期間 (日)	平均在所期間 (年)
真田町	男性						1		1	9	1879	5.15
	女性	1	4	2			1		8		831	2.28
上田市	男性								0	1		
	女性			1					1		782	2.14
東御市	男性								0	0		
	女性								0			
長和町	男性								0	0		
	女性								0			
合計	男性	0	0	0	0	0	1	0	10		1879	5.1
	女性	1	4	3	0	0	1	0		807	2.2	
合計		1	4	3	0	0	2	0				

③ 入居者の状況 ③ 入所市町村別、入所状況

2023年3月31日 現在

		2022年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	小計	合計
真田町	男性													0	1
	女性											1		1	
上田市	男性													0	0
	女性													0	
東御市	男性													0	0
	女性													0	
長和町	男性													0	0
	女性													0	
合計	男性													0	1
	女性													1	
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	

(4) 退居者の状況

④ 入所市町村別、退所状況

2023年3月31日 現在

		2022年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	小計	合計
真田町	男性													0	1
	女性									1				1	
上田市	男性													0	0
	女性													0	
東御市	男性													0	0
	女性													0	
長和町	男性													0	0
	女性													0	
合計	男性													0	1
	女性													1	
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	

(5) 日常生活動作の状況

2023年3月31日 現在

入浴		人数	食事		人数	排泄			人数	
自分で可能		0	自分で可能		4	昼間	便所	自分で可能	0	
								一部介助	4	
一部介助		0	一部介助		2		ポータブル	自分で可能	0	
								一部介助	0	
全面介助		10	全面介助		4		オムツ使用		6	
合計		10	合計		10		合計			10
移動		人数	着脱		人数	排泄			人数	
自分で可能		0	自分で可能		0	夜間	便所	自分で可能	0	
								一部介助	1	
一部介助		2	一部介助		0		ポータブル	自分で可能	0	
								一部介助	1	
車イス自力移動		1	全面介助		10		オムツ使用		8	
車イス全介助		7								
合計		10	合計		10	合計			10	
									パウチ・カテーテル使用者	2

■ (6) 面会、外出、外泊回数状況

① 回数別分布

2022年4月1日 ～ 2023年3月31日 まで

区分	0回	1回	2～5回	6～11回	12回以上	合計	平均
面会人数	5	2	2	1	0	10	
外出数	0	2	0	0	0	2	0.4
外泊数	0	0	0	0	0	0	

② 月別面会

2022年4月1日 ～ 2023年3月31日 まで

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
面会回数	4	4	2	2	2	1	1	1	2	3	3	2	27	
定員	7	5	1	1	1	1	1	2	2	4	3	1	29	2.42
1人当たり平均	0.7	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.4	0.3	0.1		

* オンライン面会含む

■ (7) 入浴状況

① 個浴

2022年4月1日 ～ 2023年3月31日 まで

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
対象者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
清拭対応者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入浴延べ人数	8	9	7	8	8	8	8	9	9	9	8	7	98
1週1人当たり回数	2.00	2.25	1.75	2.00	2.00	2.00	2.00	2.25	2.25	2.25	2.00	1.75	2.04

② リフト浴

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
対象者数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
清拭対応者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入浴延べ人数	65	63	70	70	64	69	61	65	70	70	68	70	805
1週1人当たり回数	2.03	1.97	2.19	2.19	2.00	2.16	1.91	2.03	2.19	2.19	2.13	2.19	2.10

① 寝浴(全介助浴)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
対象者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
清拭対応者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
入浴延べ人数	7	9	7	7	9	9	8	7	8	7	8	8	94
1週1人当たり回数	1.75	2.25	1.75	1.75	2.25	2.25	2.00	1.75	2.25	2.00	2.00	2.00	2.00

① 事業内容

事業所目標として、『入院者の減少、空床のベッドをつくらないようにし、稼働率95%を目指します』と設定しました。

目標を達成するために、ご利用者様の身体状況の変化に注意し、細めな安否確認や異常の早期発見、多職種連携に努めました。

② 2022 年度事業計画に対する達成率

1.法人の理念・スローガンを定着するために・・・・・・・・・・・・・・・・・・60%

・理念、スローガンを『見る、聴く、言う』、職員一人ひとりが常に意識できる環境作り

2.30周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します・・・・・・・・・・70%

・『受容、共感、尊重』を大切にし、ユニット会議や定期的な面談の実施

3.ワクワク・ドキドキの活動を提供していきます・・・・・・・・・・80%

・誕生日会等、皆が笑顔で楽しめる活動の計画・実施

4.地域の応援団を強化していきます・・・・・・・・・・・・・・・・・・60%

・地域行事への参加や運営推進会議や回覧板を活用し、顔の見える関係作り

③ 達成できた事項

『受容、共感、尊重』を大切に職員間のコミュニケーションを図り、業務内容の見直しや各勤務のバランス調整を定期的に行い、明るく活気のあるユニット作りに努めることができました。

ワクワク・ドキドキの活動の一つとして、お誕生日会を確実に開催することができました。居室担当者を中心に皆で協力して行うことができました。

④ 未達成の事項

ユニット会議や定期的な面談が十分に開催できておらず、ユニット全体で話し合う場が不十分でした。

⑤ 改善すべき事項

ご利用者様に対する、言葉遣いや関わりが雑になってしまっていることがあり、時として苦情となってしまうことがありました。第三者からみても「誠実である」と思えるような言葉遣いや行動を意識して、仕事に臨む必要があると考えます。

⑥ 目標とする事項 (2023 年度 事業計画)

・『報、連、相』を確実に行った上で、自身が考え行動します

・スキルアップやキャリアアップを目指します

・高い倫理観、正しい知識を持ち、根拠のあるケアを提供します

1 アザランさなだサテライト型入居施設（大畑サテライト）事業報告

(1)入居者の状況 ① 年齢別

2023年3月31日 現在

	60～69	70～79	80～89	90歳以上	小計	合計	平均年齢
男性	0	1	0	1	2	12	86.50
女性	0	1	1	8	10		93.30
合計	0	2	1	9			92.17

* 最高齢 女性 103 歳 最年少 男性 79 歳

(2)入居者の状況 ② 入所市町村別、在所期間別

2023年3月31日 現在

		～1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上 6年未満	6年以上	小計	合計	平均在所期間	平均在所期間
											(日)	(年)
真田町	男性			1					1	11	976	2.67
	女性	5	4	1					10		343	0.94
上田市	男性		1						1	1	424	1.16
	女性								0			
東御市	男性								0	0		
	女性								0			
長和町	男性								0	0		
	女性								0			
合計	男性	0	1	1	0	0	0	0		12	700	1.9
	女性	5	4	1	0	0	0	0			343	0.9
合計		5	5	2	0	0	0	0				

(3)入居者の状況 ③ 入所市町村別、入所状況

2023年3月31日 現在

		2022年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年	2月	3月	小計	合計
		4月									1月				
真田町	男性													0	6
	女性				2	1		1	1			1		6	
上田市	男性													0	0
	女性													0	
東御市	男性													0	0
	女性													0	
長和町	男性													0	0
	女性													0	
合計	男性													0	6
	女性													6	
合計		0	0	0	2	1	0	1	1	0	0	1	0	6	

(4) 退居者の状況

④ 入所市町村別、退所状況

2023年3月31日 現在

		2022年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	小計	合計
真田町	男性			1										1	6
	女性				2			1				1	1	5	
上田市	男性													0	1
	女性							1						1	
東御市	男性													0	0
	女性													0	
長和町	男性													0	0
	女性													0	
合計	男性													1	7
	女性													6	
合計		0	0	1	2	0	0	2	0	0	0	1	1	7	

(5) 日常生活動作の状況

2023年3月31日 現在

入浴		人数	食事		人数	排泄			人数
自分で可能	0	0	自分で可能	6	昼間	便所	自分で可能	2	
							一部介助	1	
一部介助	3	一部介助	1	ポータブル		自分で可能	0		
						一部介助	1		
全面介助	9	全面介助	5	オムツ使用		8			
合計	12	合計	12	合計		12			
移動		人数	着脱		人数	排泄			人数
自分で可能	2	2	自分で可能	1	夜間	便所	自分で可能	2	
							一部介助	1	
一部介助	1	一部介助	1	ポータブル		自分で可能	0		
						一部介助	1		
車イス自力移動	0	全面介助	10	オムツ使用		8			
車イス全介助	9								
合計	12	合計	12	合計		12			
パウチ・カテーテル使用者									0

(6) 面会、外出、外泊回数状況

① 回数別分布

2022年4月1日 ～ 2023年3月31日 まで

区分	0回	1回	2～5回	6～11回	12回以上	合計	平均
面会人数	0	5	5	1	0	11	
外出数	0	1	0	0	0	1	0.2
外泊数	0	0	0	0	0	0	

② 月別面会

2022年4月1日 ～ 2023年3月31日 まで

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
面会回数	5	36	48	21	22	7	0	9	1	24	19	3	195	
定員	14	106	102	69	28	16	0	15	2	64	37	7	460	38.33
1人当たり平均	1.2	8.8	8.5	5.8	2.3	1.3	0.0	1.3	0.2	5.3	3.1	0.6		

*オンライン面会含む

(7) 入浴状況

① 個浴

2022年4月1日 ～ 2023年3月31日 まで

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
対象者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
清拭対応者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入浴延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1週1人当たり回数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

② リフト浴

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
対象者数	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	61
清拭対応者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入浴延べ人数	54	43	40	49	53	47	43	40	42	45	40	47	543
1週1人当たり回数	2.25	2.15	2.00	2.45	2.65	2.35	2.15	2.00	2.10	2.25	2.00	2.35	2.23

① 寝浴(全介助浴)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
対象者数	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	83
清拭対応者数	0	0	1	2	3	0	3	0	0	2	3	3	17
入浴延べ人数	56	55	59	52	51	59	57	54	57	52	55	42	42
1週1人当たり回数	2.33	1.96	2.14	1.93	1.93	2.11	2.14	1.93	2.04	1.93	2.07	1.61	2.01

① 事業内容

2022 年度認知症対応型課では、ご利用者様の暮らしの質を高め、安定した事業運営を行っていくために「早期発見・早期治療、入院者 0 を目指します」と全グループホームの目標を設定しました。

入院者 0 を目指してきましたが、転倒による骨折・誤嚥性肺炎などによる長期入院で空床日数 223 日。看取りなど入退去による空床日数 90 日。8 名の入居がありました。1 名平均 11.2 日での入居となり、申し込み待機者の整理、次期入居者へのアプローチのタイミングに課題が残りました。

稼働実績では、目標稼働率 98%でしたが、全体の実稼働率は 97.1%と目標にはいたりませんでした。過去 3 年間は 95~96%であったため、2023 年度も稼働率が上がる運営に取り組んでいきます。

・理念に立ち返り、ご利用者様の意思を尊重した暮らしを支援できる、働きがいと魅力のあるグループホームを目指してきました。カンファレンスなどで理念を唱和し、理念に立ち返りながら日々の実践の中でも意識付けが進んできました。

・人生の最後の時間をどのように生きていきたいのかご利用者様・ご家族様・医療・看護・専門職・介護と対話をして、ご本人の意思・ご家族の思いを形にできる実践を行ってきました。感染対策を取りながら最期の時間をご家族と共に過ごすことができ、訪問看護・協力医療機関との医療連携を図って最期まで理念に沿ったケアを行うことが出来ました。また、訪問看護ステーションとの医療連携では看護師の担当制を導入し、より円滑な連携が図れてきました。

・現状の把握をして、改善していくためその時に合ったテーマで勉強会の開催を年間 3 回行い、内 1 回は参集型で行なうことができ、各グループホーム間の交流とスキルアップを進める事ができました。

・面会制限のある中で、グループホームに入居することで、大事な人やご家族様との関係性が細くならないように、居室担当がご家族へお手紙を書き、笑顔で楽しく過ごした写真を送り関係性の構築を図ってきました。

・コロナ禍で薄れてきている地域の皆様との関係性を再構築していくために、徐々に再開されている地域活動に出られる範囲で参加してきました。

・地域の皆さんとの非常災害時を想定した訓練を行う事はできませんでしたが、防災・減災の意識を高め各 GH 年 2 回の訓練を行い、有事に備えることができました。

・萩・曲尾 GH では新型コロナウイルス感染によるクラスターが発生しました。現場の職員と応援に入って下さった職員の頑張り、栄養課からの配食弁当で乗り切ることができ感謝しかありません。事業継続計画に沿って業務の見直しが行うことができ、管理者不在時の対応の在り方など課題を改善していきたいです。

② 2022 年度 事業計画に対する達成率

法人の運営理念、スローガンを定着するために 80%

早期発見、早期連携、早期治療「入院者0」	60%
利用率 98%（年間空床日数 44 日以内）	90%
30 周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します	80%
ワクワク・ドキドキの活動を提供していきます	80%
地域の応援団を強化していきます	50%

③ 達成できた事項

会議やカンファレンスで理念の唱和が定着し理念に基づいた組織の一体化が進んできました。

事業計画を我が事の意識にするために、事業計画を職員全員で振り返ることができました。

訪問看護ステーションとの医療連携で、看護師担当制を導入してもらい、円滑な連携が図れるようになってきました。

コロナ禍でもワクワク・ドキドキできる活動を模索しながら、沢山の笑顔に出会えることができました。

数年ぶりに参集型でグループホーム勉強会を行い学びと交流の機会を持つことが出来ました。

物価高騰のなか、水道光熱費や物品購入での無駄な支出がないように意識が高く持てました。

④ 未達成の事項

各グループホーム早期発見・早期治療・入院者「0」を目指します。

転倒骨折などによる長期入院が多くありました。R5 年度もリスクマネジメントを行い安全に過ごして頂けるように取り組んでいきます。

地域の応援団を強化していきます

防災訓練の実地は年間 2 回行うことが出来ましたが、コロナ禍の影響で地域住民の皆様と行なうことが出来ませんでした。

⑤ 改善すべき事項

- ・働きやすい職場づくり、休憩時間の確保など業務の見直し
- ・職員の人材育成・定着
- ・事故検証・インシデントの共有による危険予測
- ・コロナ禍で薄れてきている地域住民との関係性の再構築

⑥ 目標とする事項（2023 年度事業計画）

近年慢性的な人材不足で職員一同、気合と根性で耐える年が続きました。そんな中でも徐々に人材確保も進み、通常運転まであと少しの所まで来ました。今年度のグループホームは職員がチームと共に成長していく一年にしていきます。

1.すべての職員が新たな自分を発見し自らを高められる 1 年にします。

- ・理念に基づいて一人ひとりが考え行動し、「今日も良かったね」とご利用者様・職員共に感じられる働きがいと魅力のあるグループホームを目指します。
- ・みんなで話し合い、「まずやってみよう！やってみたらまた考えよう！」チーム一丸となってチャレンジしていきます。
- ・学ぶ機会を増やして学んだことを実践に活かしていきます。
(法人内研修会・訪問看護・グループホーム勉強会・外部研修の受講)

2.優しさに包まれた介護・支援に取り組みます。

- ・責任と誇りを持ち、自身のケアを振り返り不適切なケアを見直し、本人の視点に立ったケアを実践していきます。
- ・人生の最期の時間をどのように生きていきたいのかご利用者様・ご家族様・医療・看護・専門職・介護と対話をして、ご本人の意思・ご家族の思いを形にできる実践を行います。

そのためにも勉強会や意見交換会を行いケアの質の向上に努めます。

- ・業務を見直し改善に取り組み、職員間のコミュニケーションを円滑にしていきます。

3.地域の一員として繋がり、地域に貢献します。

- ・地域にある事業所としてオープンなグループホームにしていきます。
- ・コロナ禍で薄れてきている地域の皆様との関係性を再構築するために、地域行事への参加を継続していきます。
- ・各グループホームそれぞれ自らが地域へ出向き地域貢献する活動に取り組みます。
- ・運営推進会議の活用を再考し、非常災害時を想定した訓練を行い防災・減災・感染症対策への意識を高め有事に備えます。

菅平グループホーム共用型

① 事業内容

菅平グループホーム共用型通所介護では、在宅での暮らしの一助と共に、菅平GHへの入居などで環境の変化によるリロケーションダメージを最小限になるように本人・家族支援に取り組んできました。

② 2022年度 事業計画に対する達成率

法人の運営理念、スローガンを定着するために	80%
施設の運営内容の発信に努め、登録者数を増やす	50%
30周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します	80%
ワクワク・ドキドキの活動を提供していきます	80%
地域の応援団を強化していきます	50%

③ 達成できた事項

ご利用者様が楽しめワクワク・ドキドキできるアクティビティの充実化にチーム全員で努めることができました。

コロナ禍で中断されていた健康リハビリ体操が復活することができ地域の方々と交流する機会が出来てきました。

④ 未達成の事項

利用時の様子など情報発信が継続して行なえず、運営内容の発信に至りませんでした。新規の登録はありましたが、グループホームへの入居などで登録者の増加までは至りませんでした。

⑤ 改善すべき事項

ご家族様や担当ケアマネジャーへの情報発信を定期的に見える形で行っていくことが必要です。(登録者の利用の安定)

⑥ 目標とする事項 (2023年度事業計画)

- ・「運営理念・スローガン」をカンファレンス(事業所会議)時に全員で唱和します
- ・カンファレンス(事業所会議)で「理念・スローガン」に沿ったケアの実践に向けて話し合いをします
- ・「運営理念・スローガン・行動規範」を施設内に掲示し日々のケアに反映させます
- ・施設の運営内容などの開示や宣伝を行い利用者の増員を目指します
- ・登録者の利用の安定に努めます
- ・職員のモチベーションや専門性・技術の向上のため勉強会や研修への参加に努めます
- ・施設運営にかかわる全業務内容の共有化と未経験業務への実践に努めます
- ・カンファレンス(事業所会議)の参加と積極的意見交換に努めます
- ・日々の暮らしを、御利用者様本位に「今、なにを望まれているのか」を中心に考え支援していきます
- ・御利用者様への介護・支援に対し、職員間の方向性を統一させ、良いチームワークでのぞみます
- ・職員間の良い関係づくりに努めます
- ・休憩時間の明確化により、職員が心身の休息を得られるようにします
- ・地域の民生委員や福祉委員と協力し「菅平健康長寿リハビリ体操」の運営、参加をします
- ・地域の行事やイベントへの参加を行い関係づくりに努めます
- ・挨拶など近隣住民との関係づくりに努めます
- ・小中学校のリサイクル活動への協力を行います

① 事業内容

認知症高齢者の生活支援
緊急時短期利用

② 2022 年度事業計画に対する達成率

目標の 98% に対して 99.5% の稼働率で終えることができました。

入院者 0、新規入居者の選定などがスムーズにできたのが要因と考えます。

- ・ 30 周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します 達成率 60%
- ・ ワクワク・ドキドキの活動を提供します 達成率 80%
- ・ 地域の応援団を強化していきます 達成率 50%

③ 達成できた事項

物品管理や発注などを分担しておこなうことで、個々の負担の偏りがなくなりました。カンファレンスの中で個々が考える疑問点や提案事項を提起してもらうことで、チームで問題解決に向き合う事が出来ました。

季節に応じた外出やアクティビティの提供でご利用者様に楽しんでいただくことができました。

12 月下旬に発生したクラスターでは、入院者を出すことなく被害を最小限に抑えることができました。感染症対策に関しても実践の中で学ぶことができました。

④ 未達成の事項

ケアプランの周知や、それに沿ったケアの工夫・改善が不十分でした。

地域とのつながりが希薄になってしまい、自治会長様や学校関係者とも疎遠な一年になってしまいました。

⑤ 改善すべき事項

ケアプランに沿ったカンファレンスの実施。

地域に向けた発信力の強化。

⑥ 目標とする事項（2023 年度事業計画）

入院者 0 を目指し、体調変化の早期発見・早期連携・早期治療に努めます。

ケアプランに沿った活動の企画・提供。

運営推進会議の再度開催に向けて地域と連携を図ります。

2022年度 萩・曲尾グループホーム事業報告

定員 : 6名

常勤職員: 4名 非常勤職員: 4名 (兼務含む)

勤務体制: 日勤者2名 夜勤者1名

月別利用者人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	6	6	6	6	6	6
利用率(%)	100.00%	96.77%	97.22%	100.00%	100.00%	100.00%
視察研修回数	0回0名	0回0名	0回0名	0回0名	0回0名	0回0名
外泊数	0	0	0	0	0	0
ショート利用日数	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	0	0	0
家族面会(回)	1回1名	5回11名	4回8名	19回24名	7回9名	6回6名
来客(回)	1回1名	0回0名	1回1名	0回0名	0回0名	2回2名
ボランティア(回)	0	0	0	0	0	0
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	6	6	6	6	6	6
利用率(%)	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
視察研修回数	0回0名	0回0名	0回0名	0回0名	0回0名	0回0名
外泊数	0	0	0	0	0	0
ショート利用日数	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	0	0	0
家族面会(回)	10回13名	15回21名	10回16名	2回4名	3回4名	8回12名
来客(回)	0回0名	0回0名	0回0名	0回0名	0回0名	0回0名
ボランティア(回)	0	0	0	0	0	0
入退去者	2名退居・2名入居		平均稼働率		99.49%	
入居者平均年齢	90.1歳		男性:0名 女性:6名			
要介護度別人数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
		1	4		1	3.1

感想

4月にご家族様の、金銭面による問題から1名のご利用者様がいらっしゃいました。結果論にはなってしまいましたが、もっとご家族と工夫した向き合い方をすればよかったのではないかという気持ちとご家族様、奥様のご意向をくみとるべきだったのでやむを得なかったというジレンマがあり、こちらの対応にも悔いが残ります。

5月には永年入居されていたご利用者様をお看取りしました。コロナ禍ではありましたが、ご家族との密な最期の時間をお過ごしいただき、沢山のお孫様達に見守られながら旅立っていかれました。

その後は大きな事故や病気も無く、上記の稼働率で運営できたのは今後の励みです。

クラスターにおいても重度化のご利用者様がおらずに収束できたことはとても喜ばしく思います。

① 事業内容

2022 年度下原グループホームでは、ご利用者様の暮らしの質を高め、安定した事業運営を行っていくために稼働率 98%（2 ユニットで年間空床日数 88 日以内）「早期発見・早期治療、入院者 0 を目指します」と目標を設定しました。

入院者 0 を目指してきましたが、転倒骨折などによる入院（100 日間）と、看取りなど入退去（17 日間）による空床が 117 日もありました。

稼働実績についても目標稼働 98%が、97.5%と目標を僅かに下回ってしまいました。しかし 2021 年度対比では+1%上昇することが出来ました。

目標を達成するために、法人理念とスローガンを復唱し事業所でも定着する機会を 2021 年度に引き続き行なってきました。また理念に基づいた良かったケアをみんなで共有し、事業計画をチーム全員で振り返り、チームが目指す方向性・立ち返る場所としてさらに意識付けすることができました。

2022 年度は看取りによる悲しいお別れが各ユニット 1 名ずついらっしゃいました。感染対策を取りながら最期の時間を大事にご家族と共に過ごすことができ、訪問看護・協力医療機関との医療連携を図って最期まで理念に沿ったケアを行うことが出来ました。

② 2022 年度 事業計画に対する達成率

1. 30 周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します
 - ・職員間の相互理解を深めるために、理念に基づいた良かった事例をチームで共有します。 80%
 - ・報、連、相、打、根を徹底し、良かったことを認め合える、働きがいのある職場を作ります。 70%
2. ワクワク・ドキドキの活動を提供していきます
 - ・大切な人・ご家族との時間を調整し、一人ひとりの思いを笑顔という形で写真と共に楽しい思い出をたくさん作ります。 90%
3. 地域の応援団を強化していきます
 - ・施設の枠にとらわれず、地域の一員・隣の一軒家として明るい挨拶からさらに良い関係を作ります。 60%
 - ・地域の活動に参加します。 60%
 - ・地域の皆様にグループホームを知ってもらうため、広報・宣伝をします。 10%

③ 達成できた事項

- ・職員間の相互理解を深めるために、理念に基づいた良かった事例をカンファレンスで意見交換をして共有を図りました。
- ・申し送りと 6 つの実践を丁寧に行う事で、報、連、相、打、根を徹底し、良かったことを認め合える、働きがいのある職場が出来てきました。
- ・毎月ワクワク・ドキドキ活動テーマをチームで決め、楽しい時間を作りました。リアルタイムでの共有とまではいきませんでしたが、毎月コメントと写真をご家族に送り GH での様子を共有してきました。

④ 未達成の事項

1. 各グループホーム早期発見・早期治療・入院者「0」を目指します。
入院者0を目指してきましたが、転倒骨折などによる入院100日間あり稼働率が、97.5%でした。
R5年度もリスクマネジメントを行い安全に過ごして頂けるように取り組んでいきます。
2. 良かったことを認め合える職場づくりを行なってきましたが、3名の離職もありました。人材の育成・定着にチームで取り組み働きやすい職場づくりを継続的に行い、定着率のアップを図っていきます。
3. 防災訓練の実地は年間2回行うことが出来ましたが、コロナ禍の影響で地域住民の皆様と行なうことが出来ませんでした。またSNSを活用した地域への広報をR5年度は取り組んでいきたいです。

⑤ 改善すべき事項

1. 働きやすい職場づくり・離職率を低下。
2. 職員の人材育成・定着。
3. 事故検証・インシデントの共有による危険予測・ケアマネジメント
4. コロナ禍で薄れてきている地域住民との関係性の再構築

⑥ 目標とする事項（2023年度事業計画）

法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・理念、スローガンを会議で唱和し、意識の高いチームを構築していきます。
- ・理念に立ち返り、ケアの方向性をチームみんな決めて実践します。
- ・明るく笑顔で挨拶と感謝を言葉に出し、相互理解を深めます。

事業所目標・利用率

- ・早期発見、早期連携、早期治療「入院者0」を目指します。・利用率98%（年間空床日数44日以内）

1

- ・みんなで話し合い、「まずやってみよう！やってダメならまたみんなで考えよう！」チャレンジしていきます。
- ・学ぶ機会を充実させ、ケアに繋げていきます。
- ・職員間で、やって良かったと思える報、連、相、打、根を徹底し、認められ働きがいのある職場を作ります。

2

- ・今までのケアを振り返り介護者本位から、ご利用者様本位のケアの実践をチームで行います。
- ・職員同士、介護・支援に対する大切にしている思いを語り合い、笑顔のあふれる実践をします。
- ・業務の見直しを行い、ゆとりのある働き方をみんなで再構築していきます。

3

- ・地域の一員、隣の一軒家として明るい挨拶をして顔の見える関係性を作ります。
- ・地域の皆様にグループホームを知ってもらえるため広報・PRを行います。
- ・地域の清掃活動に参加し、資源の活用に協力します。

2022度 下原グループホーム①事業報告

定員 : 6名

常勤職員: 4名 非常勤職員: 8名

勤務体制: 日勤者2名 夜勤者1名

月別利用者人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	6名	5~6名	5~6名	6名	5~6名	6名
利用率(%)	100.0%	84.9%	87.2%	100.0%	94.6%	100.0%
外泊数	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	28	23	0	0	0
視察研修回数	2回5名	7回10名	1回10名	5回7名	0	4回6名
家族面会(回)	6回6名	8回8名	1回1名	4回4名	9回23名	3回3名
来客(回)	0	0	0	0	0	0
ボランティア(回)	0	0	0	0	0	0

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	6名	6名	6名	6名	6名	6名
利用率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
外泊数	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	0	0	0
視察研修回数	3回5名	2回4名	2回2名	3回4名	4回12名	2回4名
家族面会(回)	6回7名	3回3名	5回6名	5回6名	2回2名	3回6名
来客(回)	0	0	0	0	0	0
ボランティア(回)	0	0	0	0	0	0

退去 1名	入居 1名	平均利用率				97.5%
入居者平均年齢	85.8歳	男性:0名 女性:6名				
要介護度別人数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均要介護度
	0	0	2	2	2	4

1・2月 ショートステイ 1名5泊6日利用

2022年度 下原グループホーム②事業報告

定員 : 6名

常勤職員: 4名 非常勤職員: 8名

勤務体制: 日勤者2名 夜勤者1名

月別利用者人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	6名	6名	5~6名	5~6名	6名	5~6名
利用率(%)	100.0%	100.0%	88.3%	93.5%	100.0%	96.1%
外泊数	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	21	12	0	0
視察研修回数	0	5回10名	0	2回2名	2回2名	3回3名
家族面会(回)	2名8回	1回1名	3回5名	3回3名	6回23名	8回16名
来客(回)	3回5名	0	1回1名	0	0	1回2名
ボランティア(回)	0	0	0	0	0	0

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	6名	6名	6名	5~6名	6名	6名
利用率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	91.4%	100.0%	100.0%
外泊数	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	16	0	0
視察研修回数	4回4名	0	3回3名	0	0	0
家族面会(回)	2回7名	3回3名	4回4名	5回9名	2回2名	5回7名
来客(回)	6回8名	1回2名	0	0	0	1回2名
ボランティア(回)	0	0	0	0	0	0

退居 1名	入居 1名	平均利用率				97.4%
入居者平均年齢	88.3歳	男性: 1名 女性: 5名				
要介護度別人数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均要介護度
	0	2	2	1	1	3.2

① 事業内容

認知症高齢者の生活支援
緊急時短期利用

② 2022 年度事業計画に対する達成率

「入院者ゼロを目指す」ことを目標に運営しましたが、入退去で空床があり、98.7%の利用率になりました。入院者は0%でした。

③ 達成できた事項

運営理念、スローガンの定着に向けて全員で毎月唱和できました。
訪問看護、訪問入浴、ご家族、各専門職の方々のご協力により、2名の方の終末期、看取りができました。
入院者ゼロは達成できました。
経費削減に向けて全職員で意識的に取り組みました。
職員の感染症対策を徹底し、ご利用者様の感染症の発症を回避できました。
地域の清掃活動・どんど焼きに参加させていただきました。
ご利用者様が笑顔になれる企画を計画し、季節ごとの行事など行ないました。
職員間で名前を付けてあいさつ、会話を徹底できました。

④ 未達成の事項

地域との防災訓練。
休憩時間の確保
施設・設備の整備等

⑤ 改善すべき事項

カンファレンスの運営方法

⑥ 目標とする事項（2023 年度事業計画）

法人の運営理念、スローガンを引続き定着させるために行動します。
入院者ゼロを目指します。
利用率98%を目指します（年間の空床44日以内を目指す）。

2022年度 真田グループホーム事業報告

定員：6名

常勤職員：2名 非常勤職員：4名 (R5.3.31現在)

勤務態勢：日勤者2名 夜勤者：1名

月別利用者人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	6	6	6	6	6	6
利用率 (%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
視察研修回数	1回(2名)	0	0	1回(2名)	1回(2名)	3回(6名)
外泊数	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	0	0	0
家族面会回数	8回(10名)	8回(11名)	10回(12名)	10回(11名)	4回(7名)	11回(16名)
来客回数	13回(13名)	20回(21名)	14回(15名)	15回(15名)	16回(17名)	17回(18名)
ボランティア回数	1回(2名)	3回(5人)	0	1回(1名)	0	0

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	7名	6名	6名	6名	6名	6
利用率 (%)	94.6%	100.0%	99.5%	90.3%	100.0%	100.0%
視察研修回数	2回(2名)	0	0	0	0	1回(2名)
外泊数	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	0	0	0
家族面会数	28回(33名)	16回(22名)	27(44名)	10回(17名)	4回(7名)	9回(15名)
来客回数	24回(24名)	17回(18名)	14回(14名)	24回(27名)	20回(23名)	16回(16名)
ボランティア回数	0	0	0	0	1回(1名)	0

退居者：2名

入居者：2名

入居者平均年齢

89歳

平均稼働率

98.70%

男性：0名

女性：6名

介護度別人数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
	1名	2名	1名	1名	1名	2.8

① 事業内容

認知症高齢者の生活支援

緊急時短期利用

2022 年度の菅平グループホームは 3 名の退去者とそれに伴い 3 名の新入居者を迎え、近年になく御利用者様の入替えの多い年となりました。新しい入居者の内、2 名は共用型通所の利用を経ての入居でしたが、各御利用者様の日々の生活支援を始めるにあたり、各職員が日々の観察や経験から相互に意見を出し合い、ニーズに沿ったサービスの提供に取り組ましました。「早期発見、早期連携、早期治療」について、訪看・訪問診療主治医との連携により、御利用者様の体調の異変に対し、速やかに、さなだクリニック等の医療機関へ積極的に受診を行い、早期治療に努めました。1 名の方は前年の 12 月には「看取り期」との診断を受けていましたが、11 月のグループホームでの看取りまで、途中 1 カ月ほどの入院はありましたが、御家族も含め後悔のない最善の支援を行うことができました。

11 月に職員 2 名が新型コロナウイルスに感染してしまいましたが、御利用者様に感染する事なく残りの職員と他のグループホームからの応援もあり、無事に乗りきることができました。

② 2022 年度事業計画に対する達成率

(法人の運営理念、スローガンを定着するために)

カンファレンスの前に理念、スローガンを唱和し、しっかりと意識付けを行ってから、各御利用者様への“その時のニーズ”に沿った支援に向けて話し合うことができました。

(事業者目標/利用率)

入院者 4 名 利用率 %

(30 周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します)

各職員が職員全体研修やグループホーム勉強会、看取り研修等の法人研修に積極的な参加に努め、カンファレンスに於いても様々な情報を全員から収集することができました。居室担当を含めた写真管理や発注業務、イベント準備等の介護業務以外の担当について業務内容を把握して自主的に遂行できるようになりました。

(ワクワク・ドキドキの活動の提供をしていきます)

パズルや脳トレドリル等の各御利用者様の趣向にそった楽しめるアクティビティの提供に努め、手作りパズル作成も一緒にして頂きました。

七夕や敬老の日の看板作りや、お誕生日の方への色紙の贈与・ケーキと歌での盛り上げを御利用者様と共に実施してきました。

食事の用意や洗濯物関連の家事事は、毎日複数の御利用者様にお手伝い頂き、役割の分担をさせて頂いています。

(地域の応援団を強化していきます)

菅平長寿リハビリ体操の”菅平の家”での実施が再開され管理者が準備協力と参加に努めました。

「職場見学会の案内」を菅平リゾートセンターに依頼し、菅平自治会全戸に配布。法人の宣伝にも繋がったと思います。

③ 達成できた事項

- ・グループホームでの看取り介護や訪看/主治医との連携、家族支援を通して、各職員がそれぞれのレベルに合わせて、高齢者介護の意義を自覚し、専門性や技術の向上に努めることができました。
- ・各職員が介護業務以外の担当業務を自主的に尚且つ主体的に遂行するようになりました。
- ・菅平長寿リハビリ体操の開催を通じ、年度の菅平区の民生福祉委員や福祉委員、参加者の方々との交流をはかることができました。
- ・職員1名が介護福祉士に合格しスキルアップをしました。

④ 未達成の事項

- ・入院者0名
- ・利用率98%
- ・人材育成

⑤ 改善すべき事項

- ・職員間のコミュニケーションの不足とチームワークによる御利用者対応の意識付け
- ・御利用者様の外出に関するサービスの提供
- ・アクティビティの多様化
- ・服薬に関する事故の発生
- ・職員のモチベーションの低下

⑥ 目標とする事項（2023年度事業計画）

- ・職員のモチベーションの低下を防ぎ、やりがいのある働きやすい職場づくり
- ・全職員のスキルアップと人材の育成
- ・御利用者様への支援の統一化とチームワークによるサービスの提供
- ・施設の修繕を中心とした環境整備

2022年度 菅平グループホーム事業報告

定員：6名

常勤職員：3名 非常勤職員：4名 (R5.3.31現在)

勤務態勢：日勤者2名 夜勤者：1名

月別利用者人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	6	6	6	6	6	6
利用率 (%)	100.0%	100.0%	99.4%	68.8%	75.8%	100.0%
視察研修回数	0	0	0	1回 (2名)	0	0
外泊数	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	1	58	30	0
家族面会回数	0回 (0名)	3回 (9名)	2回 (2名)	0回 (0名)	2回 (6名)	1回 (1名)
来客回数	8回 (10名)	7回 (13名)	11回 (12名)	8回 (9名)	16回 (23名)	20回 (25名)
ボランティア回数	0	0	0	0	0	0

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	6	6	6	6	6	6
利用率 (%)	100.0%	94.4%	100.0%	90.9%	84.5%	95.7%
視察研修回数	0	0	0	0	0	1回 (2名)
外泊数	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	17	17	8
家族面会数	8回 (12名)	3回 (4名)	1回 (1名)	1回 (1名)	0回 (0名)	7回 (20名)
来客回数	36回 (39名)	10回 (11名)	12回 (12名)	12回 (13名)	15回 (23名)	5回 (5名)
ボランティア回数	0	0	0	0	0	0

退居者：3名 入居者：3名

入居者平均年齢：89.2歳 平均稼働率 92.50%

男性：0名 女性：6名

介護度別人数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
	2名	0名	2名	0名	2名	3

① 事業内容

通所サービス

保険外宿泊サービス

長年サービスを利用頂いたご利用者様 1 名が当グループホームを選択せられ、入居頂くことができました。ご利用者様、ご家族様にとっても新しい環境への移行が安心してスムーズになされたようです。新たに 2 名の方の登録を頂き、両名から早々に入居の希望を頂きました。うち 1 名の方も入居され、馴染みのある中で新しい生活をスタートされました。

② 2022 年度事業計画に対する達成率

(法人の運営理念、スローガンを定着するために)

カンファレンスの前に理念、スローガンを唱和し、しっかりと意識付けを行ってから、各御利用者様への“その時のニーズ”に沿った支援に向けて話し合うことができました。

(事業所目標/利用率)

御利用者様の利用状況を担当ケアマネージャーへ写真付きの書面で毎月報告しました。新規登録は 2 名でしたが、登録者数は 1 名減となってしまいました。

(30 周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します)

各職員が職員全体研修やグループホーム勉強会、看取り研修等の法人研修に積極的な参加に努め、カンファレンスに於いても様々な情報を全員から収集することができました。

居室担当を含めた写真管理や発注業務、イベント準備等の介護業務以外の担当について業務内容を把握して自主的に遂行できるようになりました。

(ワクワク・ドキドキの活動の提供をしていきます)

パズルや脳トレドリル等の各御利用者様の趣向にそった楽しめるアクティビティの提供に努め、手作りパズル作成も一緒にして頂きました。

七夕や敬老の日の看板作りや、お誕生日の方への色紙の贈与・ケーキと歌での盛り上げを御利用者様と共に実施してきました。

食事の用意や洗濯物関連の家事事は、毎日複数の御利用者様にお手伝い頂き、役割の分担をさせて頂いています。

(地域の応援団を強化していきます)

菅平長寿リハビリ体操の“菅平の家”での実施が再開され管理者が準備協力と参加に努めました。

「職場見学会の案内」を菅平リゾートセンターに依頼し、菅平自治会全戸に配布。法人の宣伝にも繋がったと思います。

③ 達成できた事項

- ・グループホームでの看取り介護や訪看/主治医との連携、家族支援を通して、各職員がそれぞれのレベルに合わせて、高齢者介護の意義を自覚し、専門性や技術の向上に努めることができました。
- ・各職員が介護業務以外の担当業務を自主的、且つ主体的に遂行するようになりました。
- ・菅平長寿リハビリ体操の開催を通じ、年度の菅平区の民生福祉委員や福祉委員、参加者の方々との交流をはかることができました。
- ・職員1名が介護福祉士に合格しスキルアップをしました。

④ 未達成の事項

- ・登録者数の増員

⑤ 改善すべき事項

- ・職員間のコミュニケーションの不足とチームワークによる御利用者対応の意識付け
- ・御利用者様の外出に関するサービスの提供
- ・アクティビティの多様化
- ・人員不足によるサービス受け入れ体制の不備

⑥ 目標とする事項（2023年度事業計画）

- ・職員のモチベーションの低下を防ぎ、やりがいのある働きやすい職場づくり
- ・全職員のスキルアップと人材の育成
- ・御利用者様への支援の統一化とチームワークによるサービスの提供
- ・施設の修繕を中心とした環境整備

2022年度 菅平共用型通所介護 時間帯利用実績合計

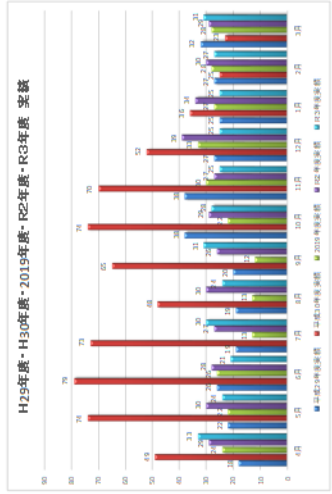
	4月(目標件数30件)					5月(目標件数30件)					6月(目標件数30件)					7月(目標件数30件)					8月(目標件数30件)									
	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8
要介護1																														
要介護2																														
要介護3	2	5	1	13		19	2	3	12		21	2	11			24	2	10			23	2	9			11				
要介護4	1	2	1	1		4	1				1	1				1					1									
要介護5																														
今日実績	3	7	1	13	1	23	4	3	12		21	4	12			25	4	10			23	4	3			11	1			
目標																														
前年実績	3	10		17	2	28	4	11	18		21	4	12			28	4	9	2	3	23	4	2	1	15	6	6	6	6	30
前年比						79.3%					100.0%		83.3%							100.0%										70.0%

	9月(目標件数30件)					10月(目標件数30件)					11月(目標件数30件)					12月(目標件数30件)					1月(目標件数30件)									
	2~3	4~5	5~6	6~7	7~8	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8
要介護1																														
要介護2																														
要介護3	1	3				1	3			9						2	4			12	16	2	1	13						
要介護4	1																													
要介護5																														
今日実績	3	1	10	8	1	26	3	2	1	14	3	18	3			4	9	4		12	16	1	1	13		1	1	13		15
目標																														
前年実績	3	1	10	8	6	26	3	2	1	14	6	23	3	4		10	10	3	27	4	10	2	1	11	9	6	16	5	10	4
前年比						38.5%					62.1%					33.3%					100.0%									50.0%

	2月(目標件数30件)					3月(目標件数30件)				
	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8
要介護1										
要介護2										
要介護3	1					1				
要介護4										
要介護5										
今日実績	4	13	5	1	7	4	30	4	8	6
目標										
前年実績	4	13	5	1	7	4	30	4	8	6
前年比							3.2%			

	前年度での累計(単位)				
	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8
要介護1					
要介護2					
要介護3	19	0	0	1	9
要介護4	76	1	1	87	1
要介護5	3	0	1	0	3
合計	98	1	2	88	13
前年実績	114	22	6	144	51
前年比					65.5%

【菅平共用】
 サーチ支援体制強化加算(Ⅰ) 18単位
 入浴加算 40単位
 介護職員処遇改善加算(Ⅰ) ×0.104
 介護職員特別処遇改善加算(Ⅰ) ×0.031



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	18	26	19	19	20	38	38	27	25	27	20	20	311
要介護2	49	74	73	48	65	74	70	62	36	25	23	668	
要介護3	24	22	26	13	13	12	22	30	33	27	28	278	
要介護4	29	30	28	27	30	26	29	27	39	34	30	359	
要介護5	33	24	21	30	24	31	28	25	25	27	31	324	
合計	114	144	144	144	144	144	144	144	144	144	144	144	1440

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	16	9	12	10	9	9	9	9	4	1			88
要介護2	4												4
要介護3	13												13
要介護4	1												1
要介護5	1												1
合計	33	9	12	10	10	10	18	9	16	15	1	0	143

① 事業内容

在宅事業部として通所介護事業課（デイサービスセンターアザレアン・萩の家・訪問入浴サービスアザレアン・日常生活支援総合事業アザレアン）、訪問介護事業課（ホームヘルパーステーションアザレアン・24時間型ホームヘルパーステーションアザレアン・居宅介護・重度訪問介護・サービス付き高齢者向け住宅アザレアン）小規模多機能型事業課（大畑の家・新田の家）、相談支援事業課（居宅介護支援センターアザレアン）の運営。

② 2022 年度事業計画に対する達成率

在宅事業部の各事業課での目標達成率については事業所ごとの報告を参照。

1. 法人の運営理念、スローガンを定着するために・・・90%
2. 30周年記念事業を通じて新たなカタチを想像します・・・70%
3. ワクワク・ドキドキの活動を提供していきます・・・70%
4. 地域の応援団を強化していきます・・・60%

③ 達成できた事項

在宅事業部全体では運営理念・スローガンを各会議で唱和し、定着させるための意識付けができています。また、働きやすい職場環境を整えるため、全職員で行動規範を共有し実践しています。

集合しての研修ができない状況でも Zoom や動画視聴のツールを利用した研修を受講し、職員のスキルアップに努めました。

- ・通所事業課ではご利用者様に楽しんでいただくため季節ごとの行事を計画し実施しました。萩の家では異動により職員1名の補充ができました。
- ・訪問介護事業課ではコロナ陽性のご利用者様にも訪問し在宅生活を支えました。緊急時の訪問等も柔軟に対応しています。
- ・小規模多機能型事業課では医療・地域との連携に努めました。季節ごとの行事も計画し実施しました。
- ・相談支援事業課では中立公正な立場で自立に向けたケアプランの作成を行ないました。後半期には異動により職員1名の補充ができました。

④ 未達成の事項

- ・在宅事業部では地域住民参加の防災訓練ができませんでした。
- ・通所事業課では職員間の情報共有に不十分な所がありました。
- ・訪問介護事業課では軽微な事故も含め車両事故件数が多かった1年でした。定期巡回・随時対応型訪問介護看護とサ高住では運営推進会議の開催ができず、書面での報告となりました。
- ・小規模多機能型事業課では経営の安定化を図るため新規利用者の獲得に努めましたが成果を上げることができませんでした。

運営推進会議の開催もできませんでした。

- ・相談支援事業課では ICT 化への検討を始めていますが実現までは至りませんでした。各事業所の介護支援専門員との勉強会を定期的に行なうことができませんでした。

⑤ 改善すべき事項

在宅事業部では事業所によって慢性的な人員不足が続いており、深刻な状況です。業務の見直しや適材適所への職員配置が課題となっています。

地域住民参加型の防災訓練についても実施の検討をしていきます。

運営推進会議についても計画を立て開催していきます。

- ・通所事業課では情報共有の強化と空き情報の発信方法を検討し新規利用者の獲得に努めます。
- ・訪問介護事業課では車両事故 0 を目指し職員の意識を変えていきます。
- ・小規模多機能型事業課では職員の面接の実施と育成マニュアルを作成します。
- ・相談支援事業課では各事業所の介護支援専門員との勉強会や意見交換を定期的に行なわれ、情報の共有に努めます。

⑥ 目標とする事項（2023 年度事業計画）

- ・在宅事業部では各事業課で掲げた 2023 年度の事業計画に全職員で取り組み、目標達成のために一人一人が積極的に行動を起こしていきます。
- ・ご利用者様に質の高いサービスを提供するため自己研鑽に努め、知識の習得と技術の向上を図ります。
- ・優しさに包まれた介護・支援に取り組むため、ご利用者様の尊厳を守りご利用者様本位のサービス提供に努めます。また、職員同士であっても互いを思いやり気遣うことで職場の働きやすい環境を整えていきます。
- ・地域の一員であると自覚し、在宅事業部としてご利用者様が暮らしている地域の情報収集、状況把握に努めます。
- ・地域との繋がりを強化するため運営推進会議の開催、積極的に地域行事へ参加するなど、顔見知りの関係を築きます。

① 事業内容

通所介護事業課としてデイサービスセンターアザレアン、訪問入浴アザレアン、日常生活支援総合事業アザレアン、認知症対応型通所介護 萩の家の業務運営。

ご利用者様の意思及び人格を尊重して、常にご利用者様の立場に立った、サービスの提供に努めてきました。

② 2022 年度 事業計画に対する達成率

デイサービスセンターアザレアン……………86.4%

訪問入浴アザレアン……………73.8%

日常生活支援総合事業アザレアン……………38.6%

認知症対応型通所介護 萩の家……………63.7%

1、運営理念、スローガンを定着するために……………100%

2、30周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します……………80%

3、ワクワク・ドキドキの活動を提供していきます……………90%

4、地域の応援団を強化していきます……………80%

③ 達成できた事項

1、働きやすい職場環境を目指し、1日1回の「ありがとう」の感謝を伝えます。

職員同士で声を掛け合い、感謝の気持ちを持ちながら、仕事に取り組むことが出来たと感じます。事業所会議、職員研修に参加し、スキルアップに努めています。

3、月次報告書の作成配布や、ご家族様、介護支援専門員との連携。

事業所会議において、ケアプランと通所介護計画書の読み合わせを行うことにより支援の明確化を図り、統一したケアを行うことが出来、自立支援に繋がっています。

在宅生活を支えるためにご家族様や担当ケアマネ・他職種との連携が行えてきていると感じます。軽度と重度が混在している中、その方にあったケアを実践し、報告書等で見える化することが強みとなり収益に繋がると感じます。

4、必要なサービスが安定的に継続できるよう日々の感染対策を行う。

高齢の方々が多い中でも職員全員で協力し、感染を抑えることができました。

④ 未達成の事項

2、組織の一体化に向けて「報・連・相・打・根」の徹底として、職員間で不徹底な部分もあったため情報共有を行っていきます。

3、出来ている事業所出来ていない事業所がありますが、お互い刺激し合いながら、ご利用者様の様子を居宅支援やご家族様にお知らせをしていきます。

経費節約の徹底を継続して行っています。

⑤ 改善すべき事項

4、地域住民の方々を交えた防災訓練の開催について

2023年度はコロナ化の為、運営推進会議の開催、住民参加型防災訓練ができませんでしたが、感染対策を行いながら、開催できる方法を考えていきます。

居宅介護支援事業所へ空き情報の提供やご利用者様の様子を報告書にして配布し、信頼関係を作り新規ご利用者様の獲得に努めていきたいと思えます。

コロナ渦で地域住民との関係性が薄れてきている為、再構築を行っていきます。

⑥ 目標とする事項（2023年度事業計画）

ご利用者様の思いに寄り添い、在宅生活を支えるため健康状態の観察や身体機能の維持、向上を目指します。

- 1、職員同士の相互理解を深め、新たな自分を発見していきます。
- 2、ご利用者様が住み慣れた地域で生活していくため、多職種と連携し支援を行います。
- 3、日々ご利用者様の「やりたいこと・出来ること」の実践を目指し、生きがいや楽しみを職員も共に共感していきます。
- 4、季節を体感できる行事の計画を行い実践し、ご利用者様が笑顔で過ごしていただけるようにします。
- 5、ご利用者様に必要なサービスが安定的に提供できるよう日々の感染対策を行います。
- 6、月次報告書の作成、配布の継続とご家族様、介護支援専門員との連携を継続していきます。
- 7、感染症や災害に備え、地域住民の方々を交えた防災訓練を開催します。

① 事業内容

2022 年度の事業目標として、「ご利用者様住み慣れた地域で生活していくために多職種による健康状態の観察や身体機能の維持・向上を目指します。」という目標を継続できるよう設定しました。

目標を達成するために、2022 年度 3 つの柱の「30 周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します」「ワクワク・ドキドキの活動を提供していきます」「地域の応援団を強化していきます」を中心に考え事業を行ってきました。その中でも下記の 3 点を重点的に取り組みました。

- ・多職種で連携しご利用者様が在宅生活を継続、維持できるように支援します。
- ・生きがいや楽しみ作りのためのアクティビティを積極的に取り組み実施します。
- ・安定的にサービスを提供できるように、継続した感染対策の実施を行っていきます。

新型コロナウイルスの影響で完全には稼働率が戻っていませんが、活気のあるデイサービスになるように努めています。

② 2022 年度事業計画に対する達成率

1. 法人の運営理念、スローガンを定着するために
 - ・デイサービス会議による情報共有。 職員研修会の実施。 90%
2. 30 周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します。
 - ・多職種連携を行い在宅生活が維持できるようにします。 80%
 - ・生きがいや楽しみ作りのためのアクティビティを実施します。 90%
3. ワクワク・ドキドキの活動を提供していきます。
 - ・風通しの良い職場にするため定期的な職員面接を行います。 50%
4. 地域の応援団を強化していきます。
 - ・安定的にサービスを提供できるように、継続した感染対策の実施を徹底します。 70%

③ 達成できた事項

事業所内における多職種連携は円滑に行う事ができたと思います。ご利用者様や、ご家族様、関連事業所の情報から必要なケアを検討し、機能訓練指導員や看護職員、生活相談員、介護職員で連携しケアを行う事で、認知症状が強いご利用者様や中重度のご利用者様を受け入れる事ができました。課題であった午前中のご利用者様の過ごし方に関しても、前年度からの継続で将棋等の個別のニーズに合わせた活動を取り入れたたり、作品の作成等の手作業を行う機会が増えました。

感染対策ではデイサービス関係者やご利用者様等、ご家族様から新型コロナウイルス陽性者が確認され、事業所の閉鎖には至らなかったですが、そのために利用控えが発生したことは否めませんが、その際にも全職員で協力し、感染を広めずに営業が出来ていたことについては、これは日頃から職員が感染対策を徹底している事が結果として表れたと思

ています。

④ 未達成の事項

風通しの良い職場作りのために職員との面接が常勤職員としかできなかった。パート職員と出来ていない事は課題だと感じています。目標が未達成だったと感じています。ご利用様が笑顔で過ごされている様子が分かるように、写真に残してご利用様、ご家族様に提供していきますという事が一部のみしかできませんでした。

⑤ 改善すべき事項

ご利用様の登録者数を増やす事が一番必要だと感じています。そのためにサービスの質の向上を行っていく必要があると感じています。機能訓練を目的としての方々がおおいですが、アクティビティの充実も行っていききたいと思います。今まで行えなかった年間行事を行い、ご利用様が楽しめる企画を企画していききたいと思います。事業所の環境整備も行っていききたいと思います。施設が老朽化してきている中でも、ご利用者に少しでも居心地の良い空間にしていきたいと感じています。

⑥ 目標とする事項(2023年度事業計画)

ご利用様が住み慣れた地域で生活していくために、多職種による健康状態の観察や 身体機能の維持・向上を目指します。

- ・法人の運営理念、スローガンを定着するために実行継続していきます。
- ・具体的行動計画に基づいて、職員全員で取り組んでいきます。

R4年度 年間実績

デイサービス													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録者数(要介護)	68	68	73	73	74	74	77	78	83	80	77	74	75.0
延べ人数(要介護)	606	596	594	600	624	616	631	618	634	590	587	676	608.7
登録者数(要支援)	10	9	11	11	11	11	8	9	10	13	15	14	10.7
延べ人数(要支援)	51	47	63	53	49	40	40	38	44	49	66	67	49.1
登録者数(障害者)	1	2	3	3	4	5	5	5	5	5	5	4	3.9
延べ人数(障害者)	8	11	27	26	32	35	57	41	33	47	45	53	32.9
稼働率	88.7%	87.2%	91.2%	90.5%	94.0%	92.1%	97.1%	92.9%	94.8%	91.5%	93.1%	106.1%	92.1%
送迎数	1309	1301	1344	1334	1408	1310	1450	1383	1411	1364	1388	1573	1363.8
キャンセル数	13	3	11	17	23	21	22	30	22	27	26	13	19.5
入院者数	3	3	3	4	3	3	2	1	3	2	4	5	2.8
休止者数	6	5	4	1	1	2	2	1	2	5	7	5	3.3
終了者数	7	1	2	5	4	1	4	1	6	4	2	2	3.4
新規利用者数	1	4	7	4	2	4	4	4	11	7	5	3	4.8

① 事業内容

在宅で入浴が困難なご利用者様に安心、安全な入浴サービスの機会を提供する。重度、多様化の中にご利用者様、ご家族様が満足できるサービスの提供を行うとし 2022 年度は行動計画①30 周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します。②ワクワク・ドキドキの活動を提供していきます。③地域の応援団を強化していきます。の 3 点について事業目標としてきました。

- 1.ご利用者様の個性、意思を尊重し心地よい入浴時間を提供。チームで同じ目標、目的に向かって信頼関係を構築し感謝の気持ちを伝え合いました。
- 2.個々のニーズ、興味、関心などスタッフ間で情報共有できた。外を見る事の出来ないご利用者様に景色などの写真を撮り、季節感を感じて楽しい入浴時間を提供しました。
- 3.多様化、広範囲での利用に対応できるよう、適正な人員配置で NO とかわず YES から実行しました。

稼働率 90%以上を目指すとしましたが 6 月の 82.4%が最高で 10 月の 67.9%が最低となり年平均 74%となり昨年と同じでアップすることができませんでした。

② 2022 年度事業計画に対する達成率

- 1.法人の運営理念、スローガンを定着するために 90%

職員間で情報共有し一人ひとりがご利用者様の個性、意思を尊重したサービスを提供できる努力をしました。運営理念、スローガンの読み合わせも行えました。

- 2.30 周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します。 90%

ご利用者様、ご家族様に寄り添える入浴サービスを継続してきました。

- 3.ワクワク・ドキドキの活動を提供していきます。 100%

ご利用者様の興味、関心などをミーティングで話し合い季節の移ろいの話題や景色の写真を見て頂いたり、スマホで音楽をかけリラックスして頂いています。

- 4.地域の応援団を強化していきます。 90%

適正な人員配置や時間配分の見直しをし、スタッフ間で最善を考えています。

③ 達成できた事項

ご利用者様の体調や思いを聞きながら最良の入浴サービスを提供する為に湯温、入浴時間、移動方法を個別に工夫しています。ご家族も交えたコミュニケーションを心掛けています。看護、介護計画を作成し目標を全体に周知しより良いサービスに繋がるよう努力しています。日々の検温を日誌に記入、サージカルマスク着用、手洗い、消毒に関しては訪問宅に入室前手指、身体へ噴霧、使用後の物品の消毒の見直しを行いチーム全体で取り組んでいます。医療的処置のある方のベッドサイドでの手指アルコール消毒を行っています。スタッフ、家族の体調管理をして自らが感染源にならないよう努力しています。

④ 未達成の事項

居宅介護支援事業所との細やかな連携
 外部研修会への参加
 職員面接などヒアリング

⑤ 改善すべき事項

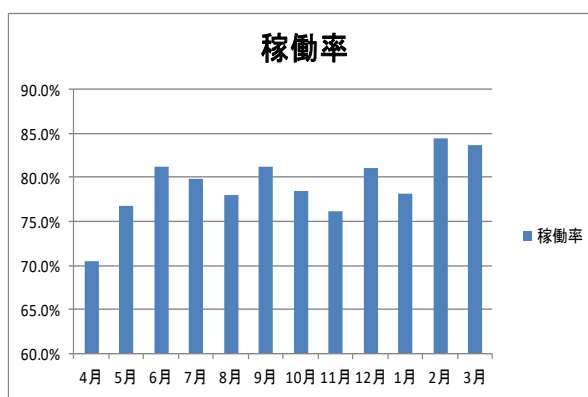
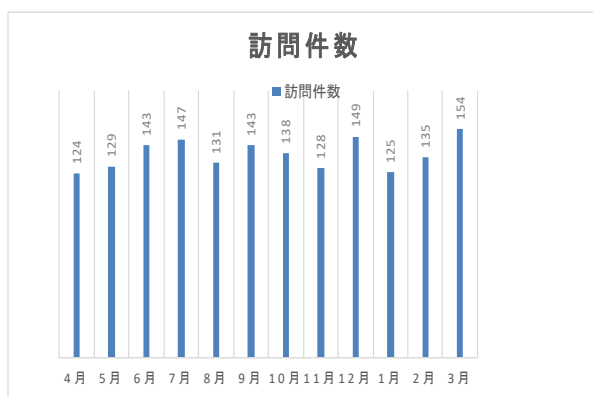
職員個々に合った研修を選択し参加していきます。
 職員面接、ヒアリングを通して問題点の把握に努め、働きやすい職場作りに努めていきます。
 担当者会議、zoom も含めた参加ができるよう努力していきます。

⑥ 目標とする事項（2023 年度事業計画）

ご利用者の個性、意思を尊重し寄り添える入浴サービスを行います。
 ご利用者様、ご家族様とのコミュニケーションを大切にし、心地よい入浴サービスを行います。
 職員間で6つの実践を大切にし、やりがいのある職場を目指します。
 研修に参加し職員の知識、技術の向上を目指します。
 感染対策をしっかり行います。
 介護支援事業所に以前の様に実績を手渡ししながら、情報交換できるよう試みます。

訪問入浴年間実績報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
稼働日数	22	21	22	23	21	22	22	21	23	20	20	23
訪問件数	124	129	143	147	131	143	138	128	149	125	135	154
稼働率	70.5%	76.8%	81.3%	79.9%	78.0%	81.3%	78.4%	76.2%	81.0%	78.1%	84.4%	83.7%
キャンセル	9	2	3	3	4	2	6	3	1	3	2	2



① 事業内容

2022 年度の事業目標として、「ご利用者様が運動や社会交流により、フレイルを予防し身体機能の維持・向上や在宅で生活している際の生活課題が解消できるように専門職の評価や運動プログラムを実施します。」という目標を設定しました。

目標を達成するために、2022 年度 3 つの柱の「30 周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します」「ワクワク、ドキドキの活動を提供していきます」「地域の応援団を強化していきます」を中心に考え事業を行ってきました。その中でも下記の 3 点を重点的に取り組みました。

- ・在宅生活を継続できるよう日頃の運動プログラムの実施。
- ・専門職による身体機能の評価やヘルスリテラシーの向上に繋がる取り組みを行いました。
- ・感染対策を徹底し、新しい地域でもサービスが定着するように努めました。
介護予防事業として、社会交流の場や心身機能の維持向上に努めています。

② 2022 年度事業計画に対する達成率

1. 法人の運営理念、スローガンを定着するために
 - ・行動規範「6 つの実践」を実践していきます。 90%
2. 30 周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します。
 - ・在宅生活を継続できるよう日頃の運動プログラムの実施。 80%
3. ワクワク・ドキドキの活動を提供していきます。
 - ・専門職による身体機能の評価やヘルスリテラシーの向上を行う。 70%
4. 地域の応援団を強化していきます。
 - ・新しい地域でのサービスが定着し、地域の皆様、関係機関との連携に努めます。
 - ・感染対策を徹底します。 60%

③ 達成できた事項

事業所が移転しましたが、特別大きな問題もなくスムーズにできました。移転した環境にも慣れ活動も活発になってきています。

在宅生活が維持できるような運動プログラムは実施できたと感じています。各単位月 1 回にはなりますが、必ず理学療法士を配属しサービスを実施する事ができました。専門職が配置されることによって、個別に合った運動プログラムの提案ができるようになっていきます。また社会交流の場としても多くのご利用者様が総合事業に来所された事で、今までのコミュニティに加え、新しいコミュニティが構築されていると感じます。

④ 未達成の事項

サービスの質の向上を行った事で年間平均登録者数に関しては目標値を達成しましたが、年間平均稼働率に関しては、R 3 年年平均 49.0%、R 4 年度年平均稼働率は

42.9%と減少であった。届かなかった要因としては、体調不良で休止されていた方も復活してきていましたが、年間を通して利用控えをされるご利用者様がいた事や、体調不良で休まれるご利用者様がいた事が要因だったと感じています。

⑤ 改善すべき事項

総合事業は介護予防事業であり、地域住民の皆様が介護保険サービスを利用し始める最初の間口だと感じております。そういった中でアザレアンさなだを選んでいただけるように、他事業所との差別化が課題となっています。また元気な高齢者の皆様にご利用いただいているため、口コミから新規ご利用者様がサービスに繋がってくるケースが多いと感じています。日々ご利用者様に満足いただけるようにサービスの質を向上していきたいと思っております。口コミだけではなく、アピールできるもの脳トレ頭の体操等の展開も考えていく必要があると考えます。

⑥ 目標とする事項(2023年度事業計画)

ご利用者様の方々が運動や社会交流により、サルコペニアやフレイルを予防し身体機能の維持・向上や在宅で生活している際の生活課題が解消できるように専門職の評価や運動プログラムを実施します。

- ・職員が学び、新しい取り組みを実践していきます。
- ・報・連・相を細目に行い、情報共有をしていきます。
- ・ご利用者様や地域包括支援センターとうの関係機関とのネットワークを大切に行っていきます。

R4年度 年間実績													
総合事業													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録者数(要介護)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
延べ人数(要介護)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
登録者数(要支援)	29	30	28	28	28	27	25	22	24	23	23	22	26.4
延べ人数(要支援)	101	90	120	86	86	96	75	80	85	74	85	78	89.3
登録者数(障害者)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
延べ人数(障害者)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
稼働率	48.6%	43.3%	57.7%	41.3%	41.3%	46.2%	36.1%	38.5%	40.9%	35.6%	40.9%	37.5%	42.9%
送迎数	174	154	202	152	142	168	133	144	144	136	153	71	165.3
キャンセル数	5	9	4	16	20	13	11	17	12	12	4	8	11.2
入院者数	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0.3
休止者数	3	1	2	2	3	3	2	5	5	5	5	3	2.3
終了者数	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0.5
新規利用者数	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0.2

① 事業内容

基本的な事業として認知症高齢者が可能な限り、その居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事が出来るよう、必要な日常生活上の援助、機能訓練を行う事により、利用者の社会的孤立感の解消や、心身の機能の維持、利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ってきました。小集団の中においても、1人ひとりに合わせたケアを行う事により、慣れ親しんだ地域で日常生活の充実を目指しながら精神的に安定した居心地のよい生活の場を提供することに努めてきました。

2022 年度 年間 2,255 件（月平均 188 件）1 日平均 6 名以上を目標に掲げ運営してきました。

実績として 年間 2,441 件（月平均 203.4 件）1 日平均 7.6 名となり達成できました。

1 年間の新規登録者数は 7 名、休止者 11 名、死亡者 3 名の計 21 名でした。

② 2022 年度 事業計画に対する達成率

- 1、運営理念、スローガンを定着するために……………100%
 - ・運営理念を毎朝職員で復唱し、業務に取り組んでいます。
- 2、30 周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します……………80%
 - ・下半期の取り組みとしても職員同士のコミュニケーションを密に行いお互いを支え合えるように取り組んできました。
 - ・「報・連・相・打・根」の徹底
- 3、ワクワク・ドキドキの活動を提供していきます……………95%
 - ・月次報告書の作成配布や、ご家族様、介護支援専門員との連携
 - ・毎月季節行事を開催し職員一人ひとりの意識改革にも努めてきました。
- 4、地域の応援団を強化していきます……………80%
 - ・地域住民の方々を交えた防災訓練の開催には至りませんでした。事業所での実施
 - ・事業所内での小学児童の作品や写真の展示、ご利用者様作成の作品や雑巾のお届けによる交流の実施

③ 達成できた事項

- 1、働きやすい職場環境にしていくために、職員同士でも感謝を伝えます。
職員同士で声を掛け合い、感謝の気持ちを持ちながら、仕事に取り組むことが出来たと感じます。事業所会議、職員研修に参加し、スキルアップに努めています。
- 3、日々ご利用者様の「やりたいこと・出来ること」の実践と、毎月季節行事を開催し、生きがいや楽しみを職員も共に共感できたと思います。
- 4、必要なサービスが安定的に継続できるよう日々の感染対策を行い、出来る範囲内で地域や小学校・保育園との交流を継続してきました。

④ 未達成の事項

- 2、組織の一体化に向けての「報・連・相・打・根」の徹底が不十分であり、職員間や他職種との連携、円滑な業務への支障があったと感じています。
- 4、コロナ渦の為、運営推進会議の開催が行われず、地域住民参加型防災訓練についての提案や検討が行われず実施には至りませんでした。

⑤ 改善すべき事項

- ・地域住民の方々を交えた防災訓練の開催について

2022年度はコロナ化の為、運営推進会議の開催が行われず、住民参加型防災訓の実施には至りませんでした。今後は感染対策を行いながら、開催できる方法を考えていきます。

- ・居宅介護支援事業所へ空き情報の提供やチラシを配布等の情報提供を行い、信頼関係の構築を行い、新規ご利用者様の獲得に努めていきたいと思えます。
- ・今季、コロナウイルス感染により事業所を閉鎖したこともあり、今後もより一層の感染対策を行い、ご利用者様に安定したサービスを提供できるように努めていきます。

⑥ 目標とする事項（2023年度事業計画）

ご利用者様の思いに寄り添い、在宅生活を支えるため健康状態の観察や身体機能の維持、向上を目指します。

- 1、職員同士の相互理解を深め、働きやすい職場にするために、感謝の言葉を伝えていきます。職員一人ひとりの気づきを大切に、発信、共有を行うことで観察力の向上を図ります。
- 2、ご利用者様が住み慣れた地域で生活していくため、多職種と連携し支援を行います。
- 3、日々ご利用者様の「やりたいこと・出来ること」の実践を目指し、生きがいや楽しみを職員も共に共感していきます。
- 4、季節を体感できる行事の計画を行い実践し、ご利用者様が笑顔で過ごしていただけるようにします。
- 5、ご利用者様に必要なサービスが安定的に提供できるよう日々の感染対策を行います。
- 6、月次報告書の作成、配布の継続とご家族様、介護支援専門員との連携を継続していきます。
- 7、感染症や災害に備え、地域住民の方々を交えた防災訓練を開催します。

認知症対応型通所介護

【 萩の家 】

R4年度営業月数	12
R3年度営業月数	12

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
R4年 総利用者数	200	207	212	216	227	206	204	221	146	210	186	206	2441	203.4
R3年 総利用者数	177	184	167	191	195	176	180	195	204	202	176	199	2246	187.2
R4年度 キャンセル数	3	3	1	0	0	1	0	2	1	1	4	2	18	1.5
R3年度 キャンセル数	0	1	4	0	4	1	3	1	0	0	4	1	19	1.6
R4年度一日平均利用者数	7.4	6.6	8.1	7.7	8.1	7.3	7.8	8.1	7.3	8.1	7.4	7.6	91.5	7.6
R3年度一日平均利用者数	5.9	5.9	5.5	6.1	6.2	5.8	5.8	6.5	6.5	6.5	6.2	6.4	73.3	6.1
R4年度 登録者数	18	18	17	17	18	18	19	18	16	17	17	17	210	17.5
R3年度 登録者数	16	16	15	16	18	17	19	17	19	20	19	20	212	17.7
R4年度 介護予防	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	4	0.3
R3年度 介護予防	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1
R4年度 新規利用者	0	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0	7	0.6
R3年度 新規利用者	0	1	1	1	2	2	2	0	2	1	0	2	14	1.2
R4年度 入院者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4	0.3
R3年度 入院者	1	2	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	7	0.6
R4年度 休止(終了)者	2	0	2	0	2	1	1	0	1	1	0	1	11	0.9
R3年度 休止(終了)者	1	1	0	1	2	0	2	1	0	1	1	1	4	0.3
R4年度 宿泊者	4	5	2	2	1	1	2	2	3	2	1	4	29	2.4
R3年度 宿泊者	0	1	1	0	0	0	2	3	4	5	3	3	22	1.8
R4年度 宿泊数	5	7	3	1	2	2	4	5	5	4	2	4	44	3.7
R3年度 宿泊数	0	1	1	0	0	0	2	6	10	7	4	4	35	2.9
R4年度 稼働日数	27	31	26	28	28	28	26	27	20	26	25	27	319	

2022年度 家の家 時間帯利用実績合計

	4月					5月					6月					7月					8月				
	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8
要支援 1																									
要支援 2																									
要介護 1	5		51	5	57	5		57	3	57	5		54	4	54	5		54	4	54	5		48	5	50
要介護 2	5		66	4	70	5		62	5	67	5		56	5	61	5		54	4	58	5		53	1	54
要介護 3	5		39	9	48	5		12	8	20	5		58	11	69	5		62	10	72	5		62	10	72
要介護 4	1		9	1	10	1		9	1	10	1		8	2	10	1		11	1	12	1		11	1	12
要介護 5	1		1	1	2	1		1	1	2	1		1	1	2	1		1	1	2	1		1	1	2
合計	18		174	13	200	18		133	20	207	18		212	12	224	18		212	12	224	18		190	11	201
180円相当平均																									
前年実績	10		13	1	150	10		13	1	151	10		15	1	167	10		15	1	167	10		15	1	167
前年比																									
平均介護度																									

	9月					10月					11月					12月					1月				
	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8
要支援 1																									
要支援 2																									
要介護 1	5		60	1	61	5		60	5	65	5		53	2	55	5		51	4	55	5		49	5	54
要介護 2	4		44	10	54	4		49	6	55	4		62	4	66	4		51	3	54	4		22	8	30
要介護 3	2		4	8	12	2		12	3	15	2		15	4	19	2		51	3	54	2		22	8	30
要介護 4	1		12	1	13	1		12	1	13	1		4	1	5	1		59	4	63	1		9	1	10
要介護 5	1		1	1	2	1		1	1	2	1		1	1	2	1		1	1	2	1		1	1	2
合計	19		176	11	197	19		180	19	204	19		180	24	204	19		221	16	237	19		146	17	163
180円相当平均																									
前年実績	17		15	137	21	17		15	147	25	17		3	154	29	17		3	154	29	17		3	154	29
前年比																									
平均介護度																									

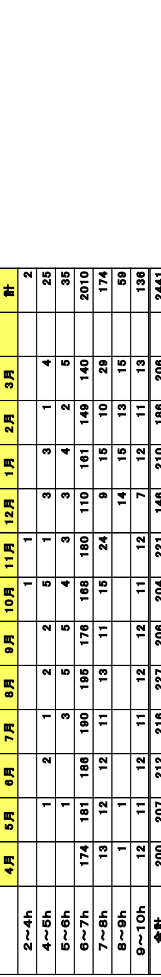
	2月					3月				
	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8	2~4	4~5	5~6	6~7	7~8
要支援 1										
要支援 2										
要介護 1	5		44	1	45	5		44	4	49
要介護 2	3		25	8	33	3		33	3	34
要介護 3	4		22	1	23	4		24	5	29
要介護 4	1		11	1	12	1		11	1	12
要介護 5	1		1	1	2	1		1	1	2
合計	17		148	10	157	17		148	17	167
180円相当平均										
前年実績	19		1	148	16	19		1	178	20
前年比										
平均介護度										

【家の家】 22単位
 サービス提供体制強化加算(Ⅰ) 40単位
 介護職員処遇改善加算(Ⅰ) ×0.104
 介護職員特定処遇改善加算(Ⅰ) ×0.031

	2022年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
平成30年度実績	205	226	219	215	215	225	213	251	194	195	194	171	175	2483
2019年度実績	155	140	143	166	169	161	149	163	168	176	168	180	190	1948
2020年度実績	172	170	187	191	214	180	176	169	181	176	170	184	172	2172
2021年度実績	177	184	187	191	195	176	180	195	204	202	176	189	199	2240
2022年度実績	200	207	212	216	227	206	204	221	148	210	188	208	2441	

	2023年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2~4h													
4~6h	1	2	1	2	2	2	5	1	3	3	1	4	25
6~8h	1	3	5	5	4	3	3	4	2	5	2	5	36
8~10h	174	181	188	190	195	176	188	180	110	161	149	140	2010
計	177	184	187	191	195	176	180	195	204	202	176	189	2240

【利用時間別件数】



2021年度 家の家 時間帯 利用者数

① 事業内容

訪問介護事業課として訪問介護、訪問型独自サービス、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、居宅介護・重度訪問介護、有償日常生活支援サービス、サービス付き高齢者向け住宅アザレアンの運営。

② 2022 年度事業計画に対する達成率

訪問介護・・・83%

定期巡回・随時対応型訪問介護看護・・・99%

居宅介護・重度訪問介護・・・100%

サービス付き高齢者向け住宅アザレアン・・・97.3%

③ 達成できた事項

2022 年度訪問介護事業課全体ではサ高住を除き、収入面では実績、予算比共に上回る
ことができ、運営面では安定していました。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護と居宅介護では目標を達成できました。

具体的な行動計画の 3 項目についても職員全員で取り組みました。

④ 未達成の事項

訪問介護では目標件数を達成することができませんでした。

サ高住では前半期は 100%の稼働率でしたが、後半期に空室があり目標達成には至りませんでした。

地域との交流もできず運営推進会議は書面での報告になってしまいました。

サ高住内での面会についても今年度は禁止とさせていただきます。

⑤ 改善すべき事項

訪問介護では通常の訪問介護と定期巡回・随時対応型訪問介護看護を兼務しているため、二つの事業のバランスを考えながら件数にとらわれず収入の安定を図っていきます。

サ高住では引き続き空室の情報提供を行なっていきます。

⑥ 目標とする事項（2023 年度事業計画）

訪問介護事業課では 2023 年度の事業計画に挙げた目標と具体的行動計画の 3 項目について全職員が高い意識を持ち、目標達成のために行動を起こしていきます。

利用者様やそのご家族様にも満足していただける質の高いサービス提供に努めます。

地域との繋がりについては定期巡回・随時対応型訪問介護看護とサ高住で運営推進会議の開催を予定し実行していきます。

① 事業内容

新規利用者確保を目標に掲げ事業運営を行いました。

訪問介護では 1 日平均 25 件の目標に対し、1 日平均 21 件と目標に届きませんでした。

1 日平均 25 件の目標に対する達成率は 83% でした。

障がい福祉サービスでは、前年度より新規利用者が 3 名増え 9 名となりました。新規利用者も増え、利用者 1 人に対する訪問回数も増えたことにより、安定した年でした。

② 2022 年度事業計画に対する達成率

- ・ 訪問介護 目標 1 日平均 25 件に対する達成率・・・83%
- ・ 障がい福祉サービス 目標月平均 25 件に対する達成率・・・100%
 - 1.スローガンを定着するために・・・90%
 - 2.30 周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します・・・70%
 - 3.ワクワク・ドキドキの活動を提供していきます・・・70%
 - 4.地域の応援団を強化していきます・・・70%

③ 達成できた事項

- ・ ご利用者様の尊厳を大切にをモットーに、ご利用者様やご家族様とのコミュニケーションを通じてお気持ちに寄り添うケアを提供できました。
職員間で意見交換を行い働きやすい職場作りを心掛けました。
研修にも参加し、スキルアップを継続できています。

④ 未達成の事項

訪問介護では目標訪問件数 1 日平均 25 件が達成できませんでした。

⑤ 改善すべき事項

訪問介護では、なかなか目標訪問件数 1 日平均 25 件の達成に届かない状態です。

訪問介護、障がい福祉サービスともに、他事業所との関係を大切にし、新規ご利用者様の獲得に努め、目標達成を目指します。

⑥ 目標とする事項（2023 年度事業計画）

訪問介護 目標 1 日平均 25 件 障がい福祉サービス 月平均訪問件数 60 件

1. 一人ひとりが経験に見合った判断力をつけ、向上心を持って仕事に取り組みます。
2. 互いをリスペクトし、相手の立場に立って発言し、助け合うことで働きやすい職場作りに取り組みます。

2022年度 訪問介護月別統計表 (要介護度別・サービス別回数) ※目標 1日平均 25件

	4月 (1日平均 23 件) 達成率 92 %					5月 (1日平均 21 件) 達成率 84 %					6月 (1日平均 21 件) 達成率 84 %					7月 (1日平均 21 件) 達成率 84 %									
	実人数	身体	身・生	生活	総合事業	実人数	身体	身・生	生活	総合事業	実人数	身体	身・生	生活	総合事業	実人数	身体	身・生	生活	総合事業					
事業対象者	0	—	—	—	0	0	—	—	—	0	0	—	—	—	0	0	—	—	—	0	0	—	—	—	0
要支援 1	2	—	—	—	7	2	—	—	—	9	2	—	—	—	32	2	—	—	—	21	2	—	—	—	31
要支援 2	1	—	—	—	9	2	—	—	—	42	2	—	—	—	21	2	—	—	—	21	1	—	—	—	4
要介護 1	13	78	73	24	—	11	45	46	20	—	11	61	34	20	—	14	79	34	20	—	14	79	34	20	—
要介護 2	12	222	28	17	—	14	218	39	22	—	12	191	47	24	—	8	111	39	14	—	8	111	39	14	—
要介護 3	4	64	0	17	—	5	63	0	28	—	7	63	6	32	—	9	149	13	38	—	9	149	13	38	—
要介護 4	5	130	0	5	—	4	96	0	0	—	3	45	0	0	—	4	45	0	0	—	4	45	0	0	—
要介護 5	1	4	0	0	—	1	4	0	0	—	2	49	0	0	—	3	56	0	0	—	3	56	0	0	—
合計	38	498	111	63	16	688	39	426	85	70	51	632	39	409	87	76	53	625	41	440	86	72	35	633	
前年同月	40	380	88	43	40	551	41	368	91	48	36	543	45	404	89	51	37	581	47	404	117	55	31	607	

	8月 (1日平均 22 件) 達成率 88 %					9月 (1日平均 21 件) 達成率 84 %					10月 (1日平均 20 件) 達成率 80 %					11月 (1日平均 20 件) 達成率 80 %									
	実人数	身体	身・生	生活	総合事業	実人数	身体	身・生	生活	総合事業	実人数	身体	身・生	生活	総合事業	実人数	身体	身・生	生活	総合事業					
事業対象者	0	—	—	—	0	0	—	—	—	0	0	—	—	—	0	0	—	—	—	0	0	—	—	—	0
要支援 1	3	—	—	—	31	2	—	—	—	13	2	—	—	—	10	2	—	—	—	10	2	—	—	—	6
要支援 2	1	—	—	—	28	2	—	—	—	9	1	—	—	—	3	1	—	—	—	3	1	—	—	—	4
要介護 1	12	98	31	19	—	12	89	32	20	—	13	108	38	27	—	14	74	42	25	—	14	74	42	25	—
要介護 2	9	110	38	25	—	12	138	42	29	—	11	139	35	30	—	11	139	39	26	—	11	139	39	26	—
要介護 3	8	162	4	26	—	7	161	6	23	—	6	76	4	17	—	6	71	2	16	—	6	71	2	16	—
要介護 4	3	39	0	0	—	0	0	0	0	—	3	36	0	0	—	1	2	0	0	—	1	2	0	0	—
要介護 5	4	64	0	0	—	3	63	0	0	—	4	99	5	0	—	4	142	8	0	—	4	142	8	0	—
合計	40	473	73	70	59	675	38	451	80	72	22	625	40	458	82	74	13	627	39	428	91	67	10	596	
前年同月	43	377	141	45	30	593	40	352	123	48	26	549	46	376	162	48	31	617	49	409	169	46	36	660	

	12月 (1日平均 21 件) 達成率 84 %					1月 (1日平均 20 件) 達成率 80 %					2月 (1日平均 20 件) 達成率 80 %					3月 (1日平均 20 件) 達成率 80 %									
	実人数	身体	身・生	生活	総合事業	実人数	身体	身・生	生活	総合事業	実人数	身体	身・生	生活	総合事業	実人数	身体	身・生	生活	総合事業					
事業対象者	0	—	—	—	0	0	—	—	—	0	0	—	—	—	0	0	—	—	—	0	0	—	—	—	0
要支援 1	2	—	—	—	8	2	—	—	—	12	2	—	—	—	11	2	—	—	—	16	2	—	—	—	16
要支援 2	2	—	—	—	41	2	—	—	—	8	2	—	—	—	4	2	—	—	—	0	2	—	—	—	0
要介護 1	15	113	48	28	—	13	100	41	22	—	13	72	29	22	—	11	40	25	26	—	11	40	25	26	—
要介護 2	10	110	38	27	—	11	146	39	26	—	12	131	35	25	—	11	155	39	29	—	11	155	39	29	—
要介護 3	5	58	0	18	—	5	56	2	15	—	4	48	0	14	—	6	83	0	19	—	6	83	0	19	—
要介護 4	2	3	0	0	—	2	2	7	0	—	1	5	11	0	—	2	51	0	0	—	2	51	0	0	—
要介護 5	3	148	8	0	—	3	142	8	0	—	3	125	8	0	—	4	133	9	0	—	4	133	9	0	—
合計	39	432	94	73	49	648	38	446	97	63	20	626	37	381	83	61	15	540	38	462	73	74	16	625	
前年同月	44	454	179	58	32	723	44	418	161	72	24	675	44	477	138	68	21	704	43	532	123	70	16	741	

2022年度 訪問介護事業報告(県指定)

【介護保険】

2023. 3. 31現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録者数	78	78	80	80	81	81	79	79	77	79	78	79
(総合事業)	6	7	7	7	7	7	5	4	6	7	7	7
(介護給付)	72	71	73	73	74	74	74	75	71	72	71	72
実利用者数	38	39	39	41	40	38	40	39	39	38	37	38
(総合事業)	3	4	4	3	4	4	3	3	4	4	4	4
(介護給付)	35	35	35	38	36	34	37	36	35	34	33	34
要介護重度者数	10	10	12	16	15	10	13	11	10	10	8	12
要介護重度者率(%)	26.3%	25.6%	30.8%	39.0%	37.5%	26.3%	32.5%	28.2%	25.6%	26.3%	21.6%	31.6%
総利用回数	688	632	625	633	675	625	627	596	648	626	540	625
要介護重度者利用回数	220	191	195	301	295	253	237	241	235	232	211	286
要介護重度者利用率(%)	32.0%	30.2%	31.2%	47.5%	43.7%	40.5%	37.8%	40.4%	36.3%	37.1%	39.1%	45.8%
サービス提供時間	423	411	402	384	395	353	358	342	400	367	323	366
サービス提供責任者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
(介護福祉士)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
(ヘルパー2級)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問介護員数	20	20	22	22	22	22	22	22	22	21	21	21
(介護福祉士)	11	11	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
(ヘルパー1級)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(ヘルパー2級)	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	8
会議・研修参加回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

2022年度 ヘルパー稼働明細表

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
登録者数	78		78		80		80		81		81		79		79		77		79		78		79					
(総合事業)	6		7		7		7		7		7		5		4		6		7		7		7		7			
(介護給付)	72		71		73		73		74		74		74		75		71		72		71		72		72			
実利用者数	38		39		39		41		40		38		40		39		39		38		37		38					
(総合事業)	3		4		4		3		4		4		3		3		4		4		4		4		4			
(介護給付)	35		35		35		38		36		34		37		36		35		34		33		34					
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
訪問サービスⅠ	7	1%	9	1%	9	1%	8	1%	31	5%	13	2%	13	2%	10	2%	49	8%	12	2%	11	2%	16	3%	188	2.5%		
訪問サービスⅡ	9	1%	42	7%	44	7%	27	4%	28	4%	9	1%	0	0%	0	0%	0	0%	8	1%	4	1%	0	0%	171	2.3%		
訪問サービスⅢ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0.0%
身体介護01	259	38%	231	37%	250	40%	272	43%	293	43%	293	47%	293	47%	308	52%	281	43%	290	46%	234	43%	264	42%	3268	43.3%		
身体介護01.夜朝	10	1%	2	0%	12	2%	23	4%	34	5%	31	5%	15	2%	26	4%	28	4%	32	5%	29	5%	23	4%	265	3.5%		
身体介護01.深夜	0	0%	0	0%	5	1%	26	4%	29	4%	30	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	5	1%	95	1.3%		
身体介護01.2人夜朝	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0.0%
身体介護1	153	22%	116	18%	95	15%	79	12%	78	12%	67	11%	110	18%	63	11%	90	14%	95	15%	91	17%	117	19%	1154	15.3%		
身体介護1.夜朝	37	5%	34	5%	6	1%	2	0%	2	0%	1	0%	14	2%	4	1%	4	1%	2	0%	2	0%	17	3%	125	1.7%		
身体介護1.深夜	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	2	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	4	1%	7	0.1%		
身体介護1.2人	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0.0%
身体介護1.2人夜朝	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0.0%
身体介護2	39	6%	43	7%	40	6%	37	6%	35	5%	29	5%	26	4%	26	4%	28	4%	27	4%	25	5%	31	5%	386	5.1%		
身体介護2.夜朝	0	0%	0	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	2	0.0%		
身体介護2.2人	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0.0%
身体介護5	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0.0%		
身体介護3	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0.0%		
身体1生活1	93	14%	63	10%	68	11%	71	11%	58	9%	56	9%	60	10%	67	11%	68	10%	71	11%	64	12%	50	8%	789	10.5%		
身体1生活1.夜朝	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0.0%
身体1生活1.2人	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	5	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	5	0.1%		
身体1生活2	7	1%	7	1%	5	1%	4	1%	4	1%	8	1%	11	2%	11	2%	15	2%	11	2%	6	1%	8	1%	97	1.3%		
身体1生活2.夜朝	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0.0%
身体1生活2.2人	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0.0%
身体1生活3	5	1%	6	1%	5	1%	4	1%	5	1%	4	1%	4	1%	7	1%	4	1%	6	1%	4	1%	6	1%	60	0.8%		
身体1生活3.夜朝	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0.0%
身体1生活3.2人	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0.0%
身体2生活1	5	1%	9	1%	9	1%	7	1%	6	1%	7	1%	7	1%	5	1%	6	1%	9	1%	9	2%	9	1%	88	1.2%		
身体2生活1.夜朝	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0.0%
身体2生活2	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	0.0%		
身体2生活2.2人	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0.0%
身体2生活3	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0.0%		
身体3生活1	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0.0%
身体3生活2	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0.0%
生活援助2	16	2%	15	2%	19	3%	18	3%	17	3%	14	2%	17	3%	15	3%	15	2%	11	2%	8	1%	9	1%	174	2.3%		
生活援助2.夜朝	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0.0%
生活援助2.2人	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0.0%
生活援助3	47	7%	55	9%	57	9%	53	8%	53	8%	58	9%	57	9%	52	9%	58	9%	52	8%	53	10%	65	10%	660	8.8%		
生活援助3.2人	0	0%	0	0%	0	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	0.0%		
訪問総件数	688	100%	632	100%	625	100%	633	100%	675	100%	625	100%	627	100%	596	100%	648	100%	626	100%	540	100%	625	100%	7540	100%		
緊急時訪問加算	16		12		11		15		16		11		20		11		21		19		19		14		185			
初回加算・総合事業	0		1		0		0		1		0		0		0		2		1		0		0		5			
初回加算・介護	1		1		3		4		3		2		3		2		2		2		1		0		1		23	
同一建物減算	7		6		6		6		5		6		5		5		6		4		6		6		68			
機能向上連携加算	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	

① 事業内容

新規利用者確保目標を定め事業運営を行いました。

その結果、月平均 8 名の利用者の目標に対する達成率は 99%とほぼ達成できています。

(月平均 8 名)

行動規範の実践により働きやすい職場作りに努め、情報共有を密にし、細やかなケアを行う事でご利用者様、ご家族様とも信頼関係を築いてきました。

② 2022 年度事業計画に対する達成率

目標月 8 名に対する達成率…99%。

1.スローガンを定着するために…90%

2.30 周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します…50%

3.ワクワク・ドキドキの活動を提供していきます…75%

4.地域の応援団を強化していきます…25%

③ 達成できた事項

- ・ご利用者様の尊厳を重視し、状態に合わせた個別ケアを行えています。コロナ感染症対策もしっかり行いケアの提供を続ける事ができました。
- ・職員間の相互理解に努め、協力し合い情報共有し適切なケアに繋がっています。
- ・月の利用者目標を達成できています。

④ 未達成の事項

- ・事故 0
- ・コロナ感染の状況により直接会話をするなどご利用者様と職員にとってワクワク・ドキドキするような訪問時間を持つ事ができませんでした。
- ・コロナ感染の状況により直接地域の皆様とお会いしてのサービス説明機会を持てませんでした。

⑤ 改善すべき事項

- ・今後も当事者不明の車両事故を無くすことも含め事故 0 をめざし新たな事業所のカタチづくりをすすめたいです。
- ・地域への情報発信方法を検討しサービスの理解を広めていきます。
- ・引き続き感染対策を行い職員ご利用者様への感染を抑えられるよう努めていきます。

⑥ 目標とする事項 (2023 年度事業計画)

- ・目標登録者数 9 名を目指します。
- 1.一人一人職場の雰囲気づくりを心がけ、着実に報・連・相を行う事でお互いに認め合い高め合っていきます。自らを見つめなおし飽くなき探求心を持って仕事に取り組んでいきます。
- 2.常にご利用者様の立場に立って考えることを忘れず、笑顔で支援していきます。
- 3.定期巡回サービスがある事で住み慣れた地域で生活を続けていかれると知っていただけるよう情報発信を続ける事で「安心して暮らせる街づくり」の一環になれるよう努めていきます。

2022年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(連携型) 事業報告

24時間型ホームヘルパーステーションアザレアン

1. 【登録者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録数	6	7	7	7	8	8	8	8	9	10	9	8
(内訪問看護利用者)	(1)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(3)
実利用者	6	7	7	7	7	8	8	8	9	9	8	7
新規利用者	0	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0
解約者数(長期入院者)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1(1)	(1)
前年同月登録数	6	6	5	6	6	6	6	7	7	6	6	6

2. 【介護度】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
要介護 2	3	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3
要介護 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2
要介護 4	2	2	2	2	3	3	4	4	4	4	4	3
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均介護度	2.8	2.7	2.7	2.7	2.9	2.9	3.1	3.1	2.6	2.9	2.9	3

3. 【派遣実績】(24時間対応)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定期巡回	利用者数	6	7	7	7	8	8	8	8	9	9	8	7	92
	実施回数	516	632	598	634	805	749	861	857	912	822	769	723	8878
随時対応	利用者数	3	2	1	1	2	2	1	0	2	2	1	0	17
	実施回数	4	4	2	4	19	16	1	0	5	2	7	0	64

4. 【時間別定期巡回訪問回数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
早朝(6:00～8:00)	90	122	120	115	148	130	122	120	136	129	138	153	1523
午前(8:00～12:00)	129	130	134	122	187	187	222	218	228	211	193	183	2144
午後(12:00～18:00)	183	181	188	247	294	258	274	288	289	270	257	267	2996
夜間(18:00～22:00)	114	199	146	119	145	144	179	177	197	160	125	89	1794
深夜(22:00～6:00)	0	0	10	31	31	30	62	60	62	52	56	31	425
合計	516	632	598	634	805	749	861	857	912	822	769	723	8878

5. 【時間別随時対応件数】

()内身体介護訪問回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
早朝(6:00～8:00)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3
身体介護訪問件数	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(2)	(0)	(3)
午前(8:00～12:00)	0	0	2	1	1	1	1	0	1	2	2	1	12
身体介護訪問件数	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(1)	(1)	(1)	(0)	(6)
午後(12:00～18:00)	1	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	1	7
身体介護訪問件数	(1)	(1)	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(4)
夜間(18:00～22:00)	3	3	1	3	8	2	1	4	2	4	3	0	34
身体介護訪問件数	(0)	(0)	(0)	(0)	(4)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(6)
深夜(22:00～6:00)	0	0	1	0	16	17	0	0	3	0	3	0	40
身体介護訪問件数	(0)	(0)	(1)	(0)	(13)	(15)	(0)	(0)	(3)	(0)	(3)	(0)	(35)
コール対応合計	4	4	4	4	26	20	3	4	8	7	10	2	96
身体介護訪問合計	(1)	(1)	(2)	(0)	(19)	(16)	(1)	(0)	(5)	(2)	(7)	(0)	(54)

2022年度 有償日常生活支援サービス

ホームヘルパーステーションアザレアン

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	3	6	6	5	6	5	4	5	4	7	4	5	60
実施回数	10	17	17	14	15	14	20	25	18	22	10	7	189
総利用時間	4.00	12.75	11.00	7.75	10.50	8.50	17.50	19.75	11.25	17.50	9.50	7.00	137

2022年度 障害福祉サービス

ホームヘルパーステーションアザレアン

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	5	5	6	6	5	6	6	6	6	6	6	6	69
実施回数	48	54	59	53	49	53	67	65	64	60	56	84	712
総利用時間	33.25	38.00	49.50	39.25	34.50	54.00	54.25	57.75	51.00	49.50	46.25	62.25	569.5

① 事業内容

2022 年度、サ高住アザレアンでは稼働率 100%を目標に掲げ事業運営してきました。実績は 97.3%で空室期間が 183 日間ありました。2022 年度 入居者:3 名（自宅から 3 名）退居者 3 名（GH へ 1 名、入院退居 1 名、自宅へ 1 名）2022 年度 3 月末時点：平均年齢 87.4 歳 平均介護度 1.5 平均在所期間 42 ヶ月

法人の運営理念、スローガンを定着するためにご利用者様のプライバシーを保ち、自己決定の尊重、尊厳に配慮したサービスを提供してきました。感染対策として基本的な感染予防に努め、1 日 2 回の検温と体調確認を行ない、ご利用者様の健康状態の把握を行なっています。

② 2022 年度事業計画に対する達成率

利用率 100%の目標に対して達成率 97.3%

- 1.スローガンを定着するために・・・90%
- 2.30 周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します・・・80%
- 3.ワクワク・ドキドキの活動を提供していきます・・・60%
- 4.地域の応援団を強化していきます・・・70%

③ 達成できた事項

- ・ご利用者様のプライバシーに配慮した支援を行ないました。
- ・行動規範を実践し働きやすい職場環境作りに取り組みました。
- ・ご利用者様同士でご近所付き合いができるよう交流の場を提供しました。
- ・つくし自治会の回覧板を閲覧できるようにし、地域の情報を提供しました。
- ・感染予防に努めご利用者様と職員の体調管理を行ないました。

④ 未達成の事項

- ・感染症対策でご家族様との面会や外出、地域の行事参加を提供できませんでした。
- ・長期間の空室があり稼働率 100%は達成できませんでした。

⑤ 改善すべき事項

- ・入居者様の行動を制限せず楽しんでいただくためコロナ感染症の動向を把握します。
- ・100%の稼働率を達成するために空室期間の短縮と情報提供に努めます。

⑥ 目標とする事項（2023 年度事業計画）

- 1.法人の運営理念・スローガンを意識しながら業務を遂行します。
- 2.職員間でも気持ちの良い挨拶と感謝の気持ちを言葉で伝え職場環境を整えます。
- 3.ご利用者様お一人お一人に愛情をもって接し、質の高いサービスを提供します。
- 4.地域との繋がりを大切にします。

2022年度 サービス付き高齢者向け住宅 アザレアン

R4年度	入居者	入院	入退去	訪問診療		往診		有償			行事	イベント	担当者会議 (回)	認定調査 (人)	申し込み 見学者 (人)	入退去
				内科	歯科	洗濯	買い物代行 ・送迎他	合計	受診同行							
									1時間	2時間						
4月	15	0	入1	1(5名)	0	0	0	40	9	49		1				1(入居)
5月	15	0	0	1(5名)	0	0	0	40	8	48	エレベーター点検 定期清掃			1		
6月	15	0	0	1(5名)	0	0	0	39	11	50	七夕飾りつけ				1	
7月	15	2	0	1(5名)	0	0	0	36	5	41	七夕				0	
8月	15	1	0	1(5名)	0	0	0	37	6	43	4回目ワクチン 接種		2	2		
9月	15	1	退1	1(4名)	0	0	0	35	5	40	消防点検			1	1	1(退居)
10月	14	1	退1	1(4名)	0	0	0	46	3	49			1	1	1	1(退居)
11月	13	1	0	1(4名)	0	0	0	26	8	34	エレベーター 定期清掃				2	
12月	14	1	入1	1(4名)	0	0	0	52	10	62		クリスマス			3	1(入居)
1月	15	2	入1	1(5名)	0	0	0	48	3	51		お正月			0	1(入居)
2月	15	1	退1	1(5名)	0	0	0	56	9	65	消防点検 エレベーター点検			1	1	1(退居)
3月	14	0	0	1(5名)	0	0	0	56	4	60	避難訓練			1	1	

3月31日付 男4女10 介護度 自立3 要支援①0 要支援②1 介①4 ②3 ③2 ④1 ⑤0 (平均 要介護1.4)

平均87.4歳

サービス付き高齢者向け住宅アザレアン

2022年度

	ケアマネ		ヘルパー		訪問 看護	小規模 多機能	通 所		デイケア		訪問リハ	訪問マッ サージ	利用無し
4月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人					
	内部	11	定巡	3			外部	3ヶ所3人	外部		2	1	
			ヘルパー	6			内部	1ヶ所4人	内部	1			
自立	自立 包活	3					外部	1ヶ所1人					2
5月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人					
	内部	11	定巡	4			外部	3ヶ所3人	外部		2	1	
			ヘルパー	6			内部	1ヶ所5人	内部	1			
自立	自立 包活	3					外部	1ヶ所1人					2
6月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人					
	内部	11	定巡	4			外部	3ヶ所3人	外部		2	1	
			ヘルパー	6			内部	1ヶ所5人	内部	1			
自立	自立 包活	3					外部	1ヶ所1人					2
7月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人					
	内部	11	定巡	4			外部	3ヶ所3人	外部		2	1	
			ヘルパー	7			内部	1ヶ所5人	内部	1			
自立	自立 包活	3					外部	1ヶ所1人					2
8月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人					
	内部	11	定巡	5			外部	3ヶ所3人	外部		2	1	
			ヘルパー	6			内部	1ヶ所5人	内部	1			
自立	自立 包活	3					外部	1ヶ所1人					2
9月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人					
	内部	11	定巡	5			外部	3ヶ所3人	外部		2	1	
			ヘルパー	6			内部	1ヶ所6人	内部	1			
自立	自立 包活	3					外部	1ヶ所1人					2
10月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人					
	内部	10	定巡	4			外部	3ヶ所3人	外部		2	1	
			ヘルパー	6			内部	1ヶ所5人	内部	1			
自立	自立 包活	3					外部	1ヶ所1人					2
11月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人					
	内部	9	定巡	4			外部	3ヶ所3人	外部		2		
			ヘルパー	5			内部	1ヶ所5人	内部				
自立	自立 包活	3					外部	1ヶ所1人					3
12月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人					
	内部	9	定巡	5			外部	3ヶ所3人	外部		2		
			ヘルパー	5			内部	1ヶ所5人	内部				
自立	自立 包活	3 1					外部	1ヶ所1人 1ヶ所1人					3
1月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人					
	内部	10	定巡	6			外部	3ヶ所3人	外部		2		
			ヘルパー	5			内部	1ヶ所8人	内部				
自立	自立 包活	3 1					外部	1ヶ所1人 1ヶ所1人					3
2月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人					
	内部	10	定巡	6			外部	3ヶ所3人	外部		2		
			ヘルパー	5			内部	1ヶ所6人	内部				
自立	自立 包活	3 1					外部	1ヶ所1人					3
3月	外部	1	ヘルパー	1	1		外部	1ヶ所1人					
	内部	9	定巡	5			外部	3ヶ所2人	外部		2		3
			ヘルパー	5			内部	1ヶ所6人	内部				
自立	自立 包活	3 1					外部	1ヶ所1人					

① 事業内容

小規模多機能型課は、ご利用者のご家族が住み慣れた地域や自宅で可能な限り暮らし続けるために、「通い」「泊まり」「訪問」のサービスを柔軟に組み合わせて提供し在宅生活を支援しています。

真田地域に大畑の家、上田地域に新田の家 2 か所で事業運営を行っています。

② 2022 年度事業計画に対する達成率

大畑の家・・・83%

新田の家・・・79%

- ・30周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します・・・50%
- ・ワクワクドキドキの活動を提供していきます・・・70%
- ・地域の応援団を強化します・・・55%

③ 達成できた事項

ご利用者様の暮らしに合わせたサービス提供に努め、多職種との連携を図り在宅生活を支える事が出来ました。

季節に沿った行事、アクティビティ活動を実施し、ご利用者様に楽しんで頂けました。

全職員が運営理念、スローガンを唱和し理解を深めました。

④ 未達成の事項

目標登録数を達成することが出来ず、収入減少となってしまいました。

地域住民の方々参加の防災訓練、運営推進会議を実施できませんでした。

⑤ 改善すべき事項

登録者獲得の為の、関係各所への空き情報の発信、営業活動を強化します。

職員の働きやすい環境作りの為、個々の面接を実施します。

⑥ 目標とする事項（2023 年度事業計画）

2023 年度の事業計画をもとに、職員全員が自分の役割を意識し、資質向上に努め、チームワークを充実していきます。

安定した経営運営の為、新規獲得を常におこない、目標登録者数達成を目指します。

前年対比(左)R4(右)R3	新田の客												R4年度寄月数			平均													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																
総利用者数	214	167	219	183	221	188	198	210	198	205	203	182	177	177	173	123	195	202	195	159	153	106	191	170	2290	2117	191	176	
訪問者	517	357	537	456	480	433	453	440	329	424	382	318	382	298	340	288	368	346	368	249	309	224	309	330	4385	4431	365	369	
一日平均利用者数	24.5	17.6	24.5	21.3	23.4	20.7	21.5	21.4	17.3	21.3	17.3	17.3	18.9	15.4	17.3	13.7	18.9	17.7	18.9	13.3	15.5	11.0	16.2	16.7	220.5	220	18	18	
登録者数	20	16	21	19	20	19	19	19	18	18	17	17	17	16	17	15	17	16	17	16	14	14	16	15	210	201	18	17	
介護予防	5	1	5	3	5	4	6	4	5	3	5	3	5	4	3	4	3	3	3	3	4	4	3	4	52	39	4	3.3	
新規利用者・利用再開者	5	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	1	7	8	1	1	
入院者	0	0	0	1	1	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	7	3	1	0
休止(終了)者	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	3	6	0	1	
宿泊者	3	2	2	1	2	0	2	2	3	1	3	1	3	1	4	1	0	3	2	3	2	3	0	3	1	30	17	3	1
宿泊数	5	5	2	1	2	0	3	5	3	12	3	2	3	2	2	3	0	5	2	5	3	5	0	3	1	35	42	3	4
平均要介護度	1.9	1.6	1.9	1.9	1.9	1.8	1.7	1.7	1.7	1.8	1.5	1.7	1.8	1.6	1.7	1.6	1.8	1.6	1.8	1.6	1.9	1.8	1.7	1.9	154.7	214.4	12.9	11.8	

前年対比(左)R4(右)R3	大瀬の客												R4年度寄月数			平均													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																
総利用者数	222	246	226	262	195	247	193	253	200	213	200	221	220	217	169	221	146	225	128	192	192	129	213	2142	2702	179	225		
訪問者	553	753	550	774	468	695	452	690	482	644	490	697	522	700	487	704	462	697	426	466	369	457	468	680	5729	7957	477	663	
一日平均利用者数	26.1	34.1	25.2	35.5	22.3	32.0	21.0	32.2	22.2	27.9	23.1	29.8	24.1	29.8	22.0	31.0	19.6	30.0	18.0	21.7	17.2	22.7	19.4	29.4	260.3	356	22	30	
登録者数	19	20	19	20	18	20	18	20	17	18	18	20	19	18	17	19	15	18	15	16	16	13	16	13	18	201	223	17	19
介護予防	5	3	6	3	6	4	5	4	5	4	5	3	5	4	4	4	3	4	3	4	3	4	3	5	53	46	4	3.8	
新規利用者・利用再開者	2	2	0	0	1	1	1	0	0	0	1	2	1	0	0	2	0	1	0	1	0	1	1	2	6	12	1	1	
入院者	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	2	1	2	0	1	2	0	0	1	0	8	5	1	1	
休止(終了)者	0	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	0	1	1	6	5	1	0	
宿泊者	3	4	2	3	3	3	3	3	3	2	1	2	2	2	3	2	1	2	3	2	1	3	2	3	27	31	2	3	
宿泊数	7	24	5	30	7	18	6	22	6	8	2	6	5	6	5	6	1	7	4	15	1	10	3	19	52	171	4	14	
平均要介護度	2.6	2.5	2.6	2.2	2.6	2.5	2.6	2.6	2.6	2.5	2.6	2.6	2.6	2.6	2.5	2.7	2.4	2.8	2.4	2.8	2.6	2.7	2.5	2.6	30.6	31.1	2.6	3.5	

① 事業内容

- ・ご利用者様やご家族様の生活や希望を大切に、通い、訪問、泊まりを柔軟に組み合わせたサービス提供を行いました。
- ・今年度の登録者平均は16名となり、目標人数の20名を下回ってしまいました。原因として、従来のご利用者様がコロナ感染や入院などによって利用中止となったことや新規利用の依頼が少なかったことなどが考えられます。
- ・ご利用者様に起こった様々な課題については、医療や地域といった社会資源との連携に努め、在宅生活が継続できるように取り組みました。
- ・通いサービスでは、感染対策を実施しながら、ご利用者様が楽しめる環境作りを行いました。

② 2022 年度事業計画に対する達成率

30周年記念事業を通じて新たなカタチを創造します

- ・地域とつながりを持ち、よろず相談なども受け付けます。…50%
- ワクワク・ドキドキの活動を提供していきます
- ・可能な範囲で季節行事を企画・実践していきます。…100%
- ・「働きやすい職場」を目指し、利用者様の体調や職員の意見を確認して、業務内容や環境を整えます。…50%
- 地域の応援団を強化していきます
- ・「災害時の避難所」として、非常時には事業所をオープンにしていきます。…50%
- ・地域とつながりを持ち、よろず相談なども受け付けます。…50%

③ 達成できた事項

- ・ご利用者様の体調を観察しながら、ご家族様、主治医、薬局などに相談し、助言・協力を得ながら在宅生活継続のための支援を行いました。
- ・地域の社会資源との関係構築と連携体制強化のため、地域包括支援センターや民生委員、地域の病院、薬局などと積極的にかわりを持つように努めました。
- ・アクティビティや誕生日・季節ごとの行事を計画・実施し、ご利用者様に喜んで頂くことができました。

④ 未達成の事項

- ・全職員との定期面接・住民参加型の防災訓練・運営推進会議の開催・空き情報の開示

⑤ 改善すべき事項

- ・職員資質向上の為に研修参加・育成マニュアル、業務マニュアルの作成及び見直し
- ・感染者発生想定の実施・運営推進会議の実施
- ・新規利用者獲得のための空き情報の開示

⑥ 目標とする事項（2023 年度事業計画）

- ・地域とのつながり（よろず相談、防災訓練、運営推進会議の開催など）を作ります。
- ・ご利用者様が楽しめるアクティビティや季節ごとの行事を計画・実施します。
- ・働きやすい職場づくりの為に人材育成を丁寧に行います。
- ・職員一人一人が持っている強みを活かせる職場作りをします。
- ・感染症対策を継続し、できる限り感染を防ぐように努めます。
- ・利用者様の体調観察を行い、変化が見られた時には早期に適切な対応を行い、入院を防ぎ、在宅生活が続けられるように支援します。

① 事業内容

ご利用者様の暮らしやこだわりを大切に、通い、訪問、宿泊を柔軟に組み合わせたサービス提供を行いました。

今年度の登録平均は17名となり目標の22名には達しませんでした。ご利用者様5名が他の事業所への変更、入院等、1名が永眠となりました。昨年に引き続き新規依頼が減少している事が一番の要因です。サービス変更がスムーズとなるようケアマネが情報提供を行いました。又、介護度の適性の為、区分変更、サービス内容を充実を図りました。

11月には新型コロナウイルス感染発生により、通い、宿泊サービス提供を8日間停止し訪問にて対応しました。

② 2022 年度事業計画に対する達成率

30周年記念事業を通じた新たなカタチを創造します。

- ・感染対策を徹底し、職員同志理解を深めやりがいのある職場を目指します。 60%
- ・地域の方々へ、事業所・法人の情報を発信して興味を持っていただきます。 30%
- ワクワク・ドキドキの活動を提供していきます。
- ・季節ごとにイベントや変わり湯を行い、楽しんでいただきます。 80%
- ・仕事に対する意欲向上、相手を思う円滑なコミュニケーションを図ります。 60%
- 地域の応援団を強化します。
- ・新田の風の方と定期的に情報交換を行い地域の情報にアンテナを張ります。 60%
- ・地域の方々気軽に立ち寄り相談できる居場所を提供します。 60%
- ・多職種の方々と連携しながら、住み慣れた在宅での生活を支援します。 70%

③ 達成できた事項

- ・ご利用者様の習慣や、生活歴に合わせたサービスを心掛けた支援をしました。
- ・ご利用様が暮らしやすい自宅環境作りの為、ご家族、多職種と連携しました。
- ・地域の皆様（新田の風）と協力し、畑作りを行いました。
- ・季節に合わせたイベントの開催。

④ 未達成の事項

- ・職員との定期面接
- ・住民参加型の防災訓練。
- ・運営推進会議の開催。
- ・地域包括主催の勉強会への参加。

⑤ 改善すべき事項

- ・職員資質向上の為の研修参加。
- ・新人職員の育成マニュアルの作成

⑥ 目標とする事項（2023 年度事業計画）

- ・小規模多機能サービスの理解を深めるための、勉強会を開催をします。
- ・ご利用者様の楽しめるアクティビティ活動を計画し、魅力ある事業所作りをします。
- ・ご利用者様の体調観察を継続して行い、入院減少に努めます。
- ・働きやすい職場づくりの為の、人材育成を丁寧に行います。
- ・マニュアルに沿った感染防止対策を引き続き行い、安心して利用出来る事業所を目指します。

① 事業内容

相談支援事業課として居宅介護支援センターアザレアン、各事業所所属の介護支援専門員の運営。

② 2022 年度事業計画に対する達成率

居宅介護支援センターアザレアン・・・100%

各事業所所属の介護支援専門員・・・50%

③ 達成できた事項

要介護状態や要支援状態にある方に対し、一人ひとりの自立に向けたケアプランを作成し、介護支援専門員としての公正中立な立場を示しながら適切な介護サービス等の利用が出来るよう支援しています。医療職、地域包括、関係機関、との連携を図り、信頼されるよう安定した仕事ことができました。

介護支援専門員は専門職としての自己研鑽は必須であるため、居宅介護支援センターアザレアン事業所に於いては、年間研修計画を立て年間研修を111件、月平均9,3件参加することができました。各事業所所属の介護支援専門員からも4月,9月,12月,2月と参加が出来ました。

④ 未達成の事項

合同勉強会、相談支援、情報の提案、共有が気軽にできる環境作りを検討していきます。

⑤ 改善すべき事項

主任介護支援専門員が4名となり、地域で必要とされている社会資源の方々や関係機関との連携や関係性の構築に努め、地域資源を探すお手伝いをしていきます。

⑥ 目標とする事項（2023 年度事業計画）

相談支援事業課として、各事業計画の目標と具体的行動計画の3項目に挙げたことを各自が意識を持って行動し達成できるよう努力していきます。

① 事業内容 (2022 年度業務実績を参照)

・2022 年度は管理者の交代とケアマネの人数の増減がありました。担当の変更や事務所の配置換えがありましたが、事業所の皆様や業務部の方からご協力をいただき無事に 1 年を終えることができました。ありがとうございました。

・事業所としての登録人数は月平均で 250 名、請求件数は 221 件といずれも昨年並みでした。ケアマネ 1 人当たり (常勤換算月平均 7.4 人) の登録件数は月平均で 34 名、請求件数は 30 件となります。中重度者 (要介護 3.4.5) の割合は 33.4% で昨年同等でした。

・包括支援センターから委託される介護予防マネジメント (要支援 1.2 と事業対象者) は現在 6 つの地域包括から年間 236 件の委託を受けていて、年々増加しています。

・「認定調査」は上田広域連合から委託され、各担当ケアマネが代行申請と更新の認定調査を実施しますが、月平均 5.7 件で昨年度より減少しています。要介護認定期間が最長 48 か月に延長された影響があると思われます。

・「管理訪問」は制度上月 1 回規定されており、ご利用者様の自宅へ訪問してモニタリングを行います。次月分のサービス利用票・別表を確認し同意を得て署名を頂くことが必須となっています。月平均 212 回でした。ご利用者様の都合により月 1 回の訪問ができない時は「モニタリングができない特段の事情」を上田市に提出します。

・「その他の訪問 (管理訪問以外)」はアセスメントのための訪問や、緊急時の対応での他サービス事業所や入院先の病院への面会・情報収集など月 145 回の訪問です。

・「サービス担当者会議」は制度遵守、ケアマネジメントにおいても情報交換や情報の共有、連携を図るうえでも重要な会議として位置づけられています。ご利用者様や介護者・サービス提供者・医療関係者・行政も参加して必要に応じて開催しました。

月平均 34 回で、コロナ禍によるオンラインでの会議も増えています。

・「苦情」は 3 件あり、真摯に受けとめ迅速に対応しました。

・「代行申請」には、介護保険更新申請や住宅改修・福祉用具購入などの申請、配食サービス、居宅事業所届出、上田市介護保険負担限度額や介護保険利用料助成金などの各種申請があります。今年度は 260 件で、月平均 22 件でした。

・「新規登録者」は 86 件で「終了者」は 85 件でした。

新規ご利用者様は真田包括をはじめ、市内の病院からご依頼いただくことが多いです。ご本人やご家族が居宅アザレアンを選んでくださることも多いです。

・終了となったご利用者様については、亡くなられた方が 38 名、特養や療養病床に移られた方が 29 名、その他が 18 名でした。

・2022 年度も実習協力事業所として「長野県介護支援専門員実務研修実習受入」の登録を更新し、2 名の実習生を受け入れました。

・事業所として「研修計画」に基づいた研修の実施が必須となっています。法人内の研修をはじめ県や市主催の研修に積極的に参加しています。他法人との合同研修も継続しています。各自が目標を持って自己研鑽の場に参加し、ケアマネの質の向上に努めています。

② 2022 年度事業計画に対する達成率 (2022 年度事業計画参照)

・「特定事業所加算 II」の要件は 100% 満たすことができました。

・利用率 (実績) は目標値 2520 件のところ 2653 件となり 105.3% でした。

③ 達成できた事項 (2022 年度事業計画参照)

- ・週1回の定例会議を開催し事業所内で新規の方の情報や入退院、処遇困難ケースについての情報共有を図りました。毎回法人の運営理念とスローガンを唱和しています。
- ・緊急連絡網を作成し、通報訓練を実施しました。
- ・新しい職員を迎えることができました。

④ 未達成の事項 (2022年度事業計画参照)

- ・BCP(業務継続計画)作成については研修に参加しましたが、事業所独自のBCP作成には至りませんでした。
- ・ICT化は実現には至っていませんが、オンラインの会議への参加は全員が対応できるようになりました。今後は居宅支援事業所が主体となりオンライン会議を開催すると思われるため、対策を講じます。

⑤ 改善すべき事項 (2022年度事業計画参照)

- ・コロナ禍で担当者会議の開催を控えてきましたが、今後は適宜開催します。医療連携やサービス事業所との連携を一層強化していく必要があります。
- ・災害時利用者様一覧表を更新し、誰が見てもわかるものを作成します。

⑥ 目標とする事項 (2023年度事業計画)

- ・特定事業所加算Ⅱを継続するために、加算要件を満たすことを認識します。
- ・他法人との勉強会(事例検討会等)を開催します。
- ・ケアマネジメントについてご利用者に根拠を持って説明します。
- ・ICT化やオンラインでの会議や研修が簡単にできる環境を整えます。

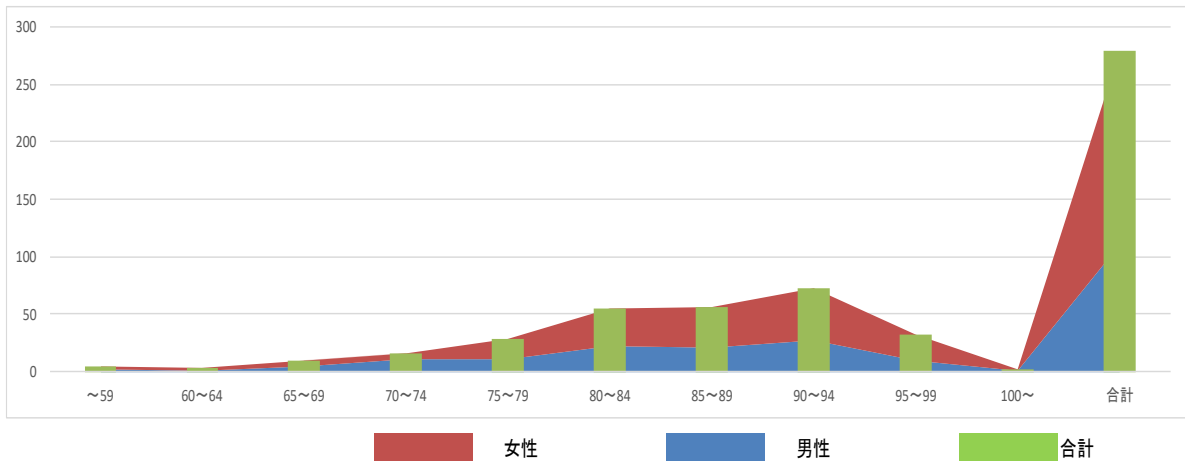
居宅介護支援センターアザレアン 2022年度業務実績(単位:件) ケアマネ人員8名(2023年3月現在)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総計	月平均
月別登録者	251	246	252	255	256	253	251	250	245	248	249	251	3,007	250.6
実績(請求)	213	220	225	226	219	219	224	227	219	218	216	227	2,653	221.1
介護予防委託数	20	22	23	20	20	19	15	20	20	18	19	20	236	19.7
認定調査	2	7	8	8	8	6	5	6	5	3	6	4	68	5.7
課題分析調査	2	4	10	7	8	6	1	4	5	11	8	7	73	6.1
管理訪問	201	212	220	215	208	218	203	223	202	216	216	211	2,545	212.1
その他の訪問	118	122	178	184	179	163	139	135	146	113	117	148	1,742	145.2
通院同行	9	15	12	21	12	22	17	14	38	17	12	15	204	17.0
サービス担当者会議	27	35	50	30	26	36	45	26	40	34	29	34	412	34.3
その他の会議	0	1	4	0	9	1	0	0	0	3	0	2	20	1.7
苦情処理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
研修	14	9	13	14	3	18	9	10	1	4	6	10	111	9.3
情報収集	132	177	199	179	214	204	146	230	219	219	172	167	2,258	188.2
相談業務	116	108	104	93	99	43	75	68	51	55	55	83	950	79.2
代行申請	12	25	28	25	27	22	19	30	16	15	16	25	260	21.7
新規登録	2	6	10	5	8	8	6	12	3	10	8	8	86	7.2
終了(内訳以下参照)	9	12	4	2	7	11	8	9	6	7	4	6	85	7.1
①死亡	4	6	1	1	5	1	5	2	5	5	2	1	38	3.2
②施設入所(特養・療養・有料ホーム・他)	2	2	1	1	2	3	3	6	1	2	2	4	29	2.4
③その他(GH・小規模・転出・居宅変更)	3	4	2	0	0	7	0	1	0	0	0	1	18	1.5

2022年度 性別・年齢別

2022.3.31現在

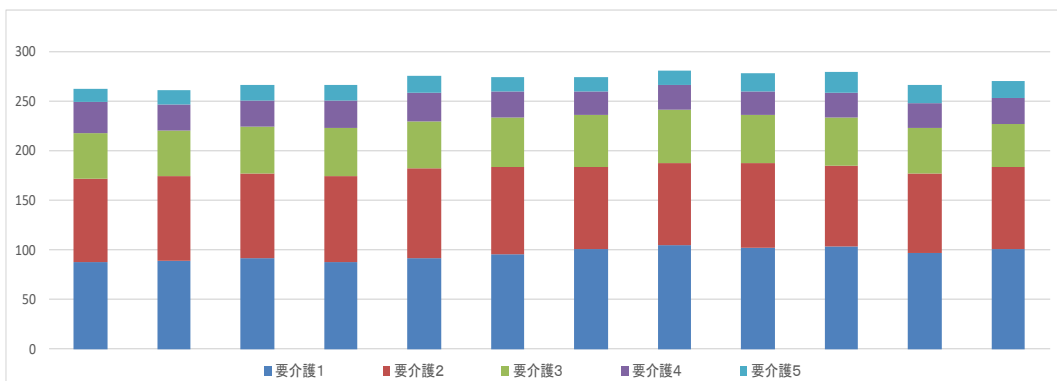
年齢	~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	合計
男	2	1	5	11	11	22	21	27	9	1	110
女	2	2	5	5	17	33	35	46	23	1	169
合計	4	3	10	16	28	55	56	73	32	2	279



2022年度 要介護状況

2022.3.31現在

月	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要介護1	88	89	91	88	92	96	101	105	102	103	97	101	1153
要介護2	84	86	86	87	90	88	83	83	85	82	80	82	1016
要介護3	46	45	47	48	48	50	52	54	49	48	46	44	577
要介護4	31	27	27	28	29	26	24	25	24	25	25	26	317
要介護5	14	14	15	16	17	15	14	14	18	21	18	17	193
合計	263	261	266	267	276	275	274	281	278	279	266	270	3256



要介護3以上(中重度者)の割合は33.38%

① 事業内容

- ・各事業所所属の介護支援専門員
施設事業課 小規模多機能型事業課 認知症対応型事業課 相談支援事業課

2022 年度より新たに各事業所所属の介護支援専門員としての課が出来ました。

利用者様ができる限り住み慣れた地域で最後まで尊厳をもって自分らしい自立した日常生活を送るために、医療、介護、予防、住まい、生活の支援といった多様なサービスを提供することで医療職をはじめとする多職種との連携や協働しながら支援できるためには、適切にケアマネジメントを行うことを目標としてきました。

② 2022 年度事業計画に対する達成率

- ・各事業所所属の介護支援専門員が抱えている課題の把握・・・60%
- ・継続的なご利用者様の支援を行う為の自己研鑽の実施・・・40%

③ 達成できた事項

- ・利用者様が在宅から施設入所やグループホーム等へ住まいを移られる際や小規模多機能、包括、居宅へ移る際に、ケアマネが変更になるため、ご利用者様が不利益にならないよう、担当者会議等を開催し、情報の共有を行い連携調整することが出来ました。

④ 未達成の事項

- ・各事業所の介護支援専門員が集まったの会議、勉強会等の実施が出来ませんでした。

⑤ 改善すべき事項

- ・定期的に会議を実施していく事で顔が見える関係性を築き、意見交換や情報共有が出来るようにしていきます。

⑥ 目標とする事項（2023 年度事業計画）

- ・今年度は、年間計画を立て定期的に会議を開くことで、お互いの事業所を尊重し事業所毎の意見交換を行い法人の介護支援専門員として資質向上に向けた底上げをしていきます。
- ・在宅から施設へ移られる際には、ご利用者様が住み慣れた地域で自分らしく生活が継続できるように、ご本人の意向を踏まえた情報の共有を丁寧に行いケアマネジメント力を高めていきます。
- ・介護支援専門員には専門職として自己研鑽による取り組むことが求められているため法定研修以外の法定外研修等へ参加しやすくしていくためにもオンライン研修へ参加の提案をしていきます。

1.地域包括ケアシステム構築の推進

医療連携部は、専門職の知識をいかし、アザレアンにとどまることなく、地域全体を視野にいれ、地域に飛び出し、住み慣れた地域で暮らすことができる地域づくりを目指してきました。地域の関係機関との連携を図り、多職種とのネットワークの構築の為努力してきました。また、利用者が、安心して24時間対応など受けられるよう体制整備の推進を行いました。

自立支援、重度化防止に向けた取り組み、医療、看護、介護との連携、協働に努めました。

2.療養者の重度化、多様化、複雑化に対する強化

在宅、グループホームなどに出向き、ポジショニングや移乗動作のアドバイス、食事へのアドバイスなど専門職の知識をいかし関わることで重度化の予防や自立への支援に努めました。お互いに認め合い尊重すること、各職種が支え合い協力し合えるチームづくりを行いました。

3.感染防止対策や災害対策への強化

新型コロナウイルス感染症防止対策や災害対策に向けて、常に職員が危機的意識を持ち、感染防止対策の徹底、職員の健康管理や環境整備に努めました。

4.地域への貢献

「アザレアンさなだ」の専門職として地域の多様化するニーズに応えられるよう、地域に発信し、安心して暮らせる町づくりに貢献できるよう努力しました。

① 事業内容

2022 年度は、4 月に職員 1 名（緩和ケア認定看護師）の入職があり、事業所の目標である終末期ケアの充実に向けて大きな強みとなり事業展開を行ってきました。今まで以上に終末期ケアに力を注ぎ、利用者様やそのご家族に対し在宅での看取りのサポートをすることができました。緩和ケア認定看護師より、看取りにおけるリハビリへの強化の必要性を感じ作業療法士と連携し訪問看護業務の拡大や看取りの強化を行いました。

1 月下旬には、常勤職員 1 名が退職したことにより、人材不足となりさらに業務の煩雑化が進んでしまい人材確保に努力いたしました。

訪問看護の多様化が進む中、コロナ禍もあり、今年度は延べ件数 2842 件と目標件数には達することができませんでした。しかし、在宅での看取り件数は 17 件、新型コロナウイルス感染症によるコロナ禍の影響もあり、入院ではなく在宅での看取りを希望する利用者が多かったことが要因とも考えられます。家族との大切な時間を過ごしたいという思いに寄り添い業務展開を行いました。さらに、地域の医療機関との連携の強化を図り、看取りの推進に努力いたしました。

地域にむけて、もっと訪問看護の認知度を高めるため、広報活動にも力を入れ、地域に根ざした訪問看護を目指してきました。

職員ひとりひとりが、住み慣れた地域で暮らし続けたいという利用者様の想いを大切に寄り添う看護サービスの提供に努めました。

② 2022 年度事業計画に対する達成率

- ・ 契約者数 578 件 新規登録者数 63 件、終了者数 57 件 （前年度比 124.6%）
- ・ 実利用者数 474 件 （前年度比 120.0%）
- ・ 訪問延べ件数 2842 件 （前年度比 99.6%）
- ・ 加算状況：緊急時訪問看護加算 96.0%、特別管理加算 43.5%、
- ・ ターミナルケア加算 100.0%
- ・ 看取りケアの推進 在宅での看取り 17 件（終了者の 30.4%）
- ・ ICT 化への推進 90%
- ・ 働きやすい環境づくり 80%
- ・ 業務の改善 50%
- ・ 地域への貢献 70%
- ・ 人材育成 50%
- ・ グループホームとの連携 95%

③ 達成できた事項

- ・ グループホームでの看取りの推進、カンファレンスへの参加、担当制の実施
- ・ 人材確保
- ・ 業務の見直しと分担（一部のみ）

- ・ 365日24時間体制をいかした安心、安全な訪問看護の提供
- ・ 感染防止対策の徹底と訪問看護業務の継続
- ・ 働きやすい環境づくり
- ・ 看護学生の実習受け入れ
- ・ 退院時カンファレンス、担当者会議への参加
- ・ 地域の医療機関との連携

④ 未達成の事項

- ・ ICT化における問題点と評価
- ・ OT、看護師との連携会議
- ・ 医療保険請求に対する業務依頼
- ・ 事業所内での勉強会

⑤ 改善すべき事項

- ・ 効率化に向けた業務分担の見直し
- ・ 関係職種との連携強化

⑥ 目標とする事項（2023年度事業計画）

- ・ できる限り可能な加算をとり、利用者の確保と経営の安定を図る
- ・ 地域の看取りの推進及び緩和ケア認定看護師の強みを生かし看取りの強化
- ・ グリーフケアの強化
- ・ 関係機関、関係職種や地域とのつながりの強化
- ・ 専門性をいかした訪問看護業務の推進
- ・ 業務継続に向けた取り組み強化の推進
- ・ 人材育成、勉強会の開催

2022年度は、経営的には伸び悩みがありました。登録者数や実利用者数は増えても延べ件数が増えない。収入アップにつながらない実情の中で、利用者は医療依存度が高く、終末期の利用者が増加、利用期間も短縮しています。訪問看護師には、今以上の知識や技術が必要とされており、どんな状況であっても、安心して在宅生活を継続できるよう、必要な訪問看護サービスが継続的に提供できる体制を構築する必要があります。地域の様々なニーズに応えられるよう体制を整えや専門性を重視していかなければなりません。訪問看護としての役割は大きいと考えます。

終末期にある人ほど時間に限りがあります。利用者にとって、ご家族にとって在宅での時間がしあわせの時間になるように、しっかりと向き合う、寄り添う看護ができるよう、訪問看護師として自分を高めていきたいと思えます。

地域に必要なステーションの役割を考え、期待される事業所、選ばれる事業所をめざし、事業展開していきたいと思えます。

2023年度訪問看護ステーション真田【訪問看護】事業報告

(R4年4月～R5年3月)

【訪問看護】

(1) 月別利用状況及び内訳

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
I.契約者数	40	47	52	52	52	49	48	53	51	41	45	48	578	48.2	
II.実利用者数	32	37	40	46	43	41	40	43	42	34	35	41	474	39.5	
III.新規利用者数	1	10	10	4	5	3	6	7	3	0	8	6	63	5.3	
IV.終了者数	4	3	2	7	6	6	3	7	9	6	4	0	57	4.8	
終了及び休止理由内訳	入院・ショートステイによる休止	4	7	6	0	1	3	5	4	2	1	6	7	46	
	死亡による契約解除	3	3	1	4	4	2	2	5	5	2	2	0	33	在宅での看取り:17人 病院での死亡:16人
	長期入所による契約解除	0	0	0	2	0	0	0	1	1	1	0	0	5	
	その他(キャンセルなど)	1	0	1	1	1	1	1	0	1	2	2	0	11	

(2) 訪問延べ件数

(単位:件)

区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成割合	月平均
介護保険	106	135	178	145	163	163	161	143	112	103	107	151	1667	58.66%	138.9
医療保険	34	36	95	215	58	71	102	89	104	70	81	130	1085	38.18%	90.4
定期巡回訪問介護看護	2	7	8	7	7	9	5	8	7	3	3	3	69	2.43%	5.8
在宅中重度者受入加算	0	0	0	4	7	2	0	0	1	4	1	2	21	0.7%	1.8
合計	142	178	281	371	235	245	268	240	224	180	192	286	2842	100%	236.8

(3) 緊急時訪問状況

(単位:件)

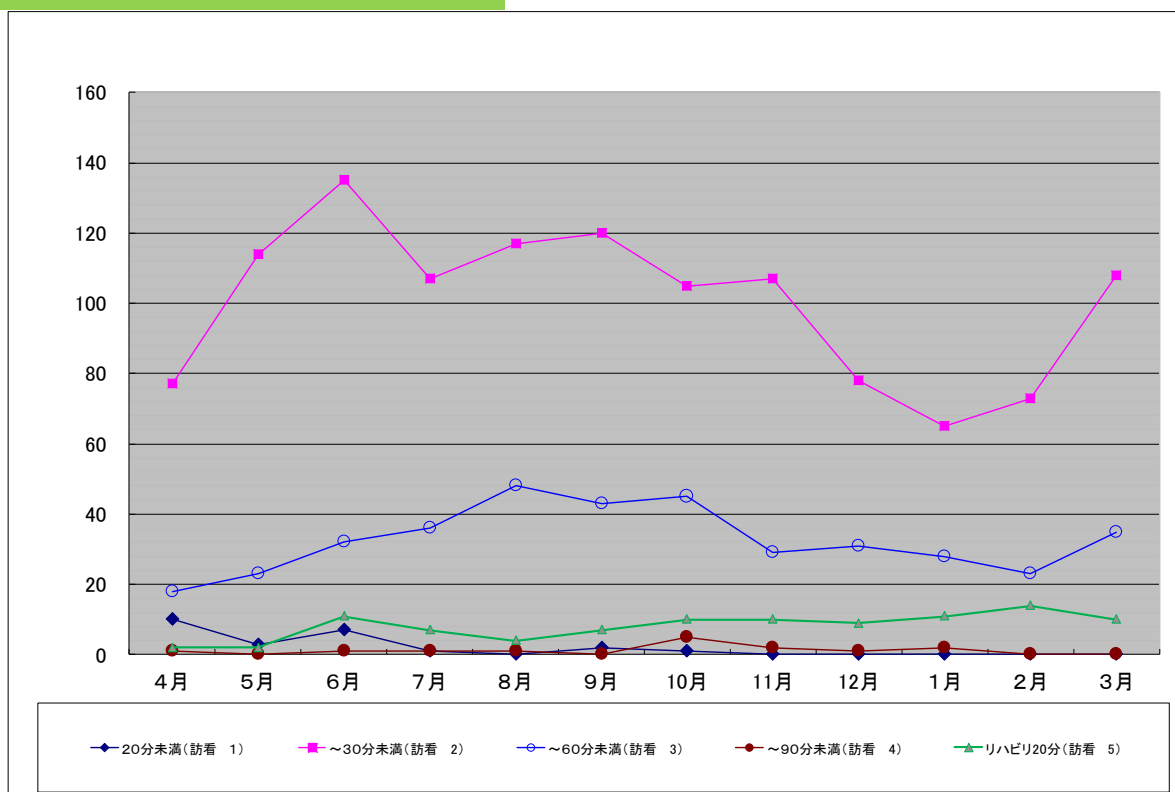
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
緊急時TEL件数	18	25	26	31	25	44	39	24	26	27	25	43	353	29.4
緊急時訪問件数	15	8	21	30	15	24	29	20	18	16	17	31	244	20.3
定期巡回訪問介護看護 緊急時TEL件数	2	7	8	7	7	9	5	8	7	3	3	3	69	5.8
定期巡回訪問介護看護 緊急時訪問件数	0	2	2	4	1	5	0	0	0	0	0	0	14	1.2
グループホーム医療連携 緊急時TEL件数	8	17	3	7	11	18	16	4	4	12	9	8	117	9.8
グループホーム医療連携 緊急訪問	8	15	3	6	10	18	14	3	4	9	5	3	98	8.2

(4) 加算利用状況

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	構成割合
緊急時訪問看護加算	32	37	39	44	41	39	38	41	40	32	33	39	455	37.9	96.0%
特別管理加算	16	15	20	23	19	20	17	19	17	13	14	13	206	17.2	43.5%
ターミナルケア加算	1	1	1	1	1	1	1	3	4	1	2	0	17	1.4	
在宅中重度者受入加算	0	0	0	4	7	2	0	0	1	4	1	2	21	1.8	

(5) 訪問時間別状況 <介護保険のみ>



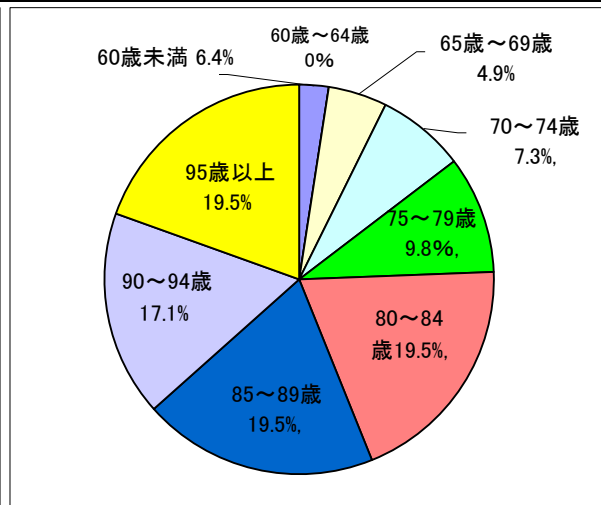
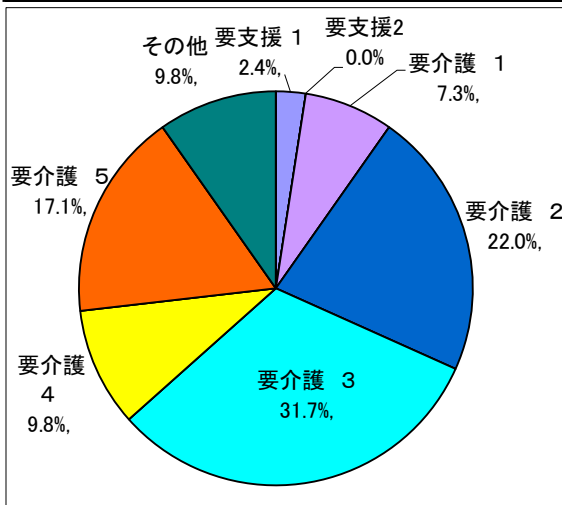
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
20分未満(訪看 1)	10	3	7	1	0	2	1	0	0	0	0	0	24	2.0
訪看 1の比率	9%	2%	4%	1%	0%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%		1.5%
~30分未満(訪看 2)	77	114	135	107	117	120	105	107	78	65	73	108	1206	100.5
訪看 2の比率	78.6%	82.0%	75.4%	70.9%	68.8%	70.6%	63.6%	72.3%	65.5%	61.3%	66.4%	70.6%		70.5%
~60分未満(訪看 3)	18	23	32	36	48	43	45	29	31	28	23	35	391	32.6
訪看 3の比率	18.4%	16.5%	17.9%	23.8%	28.2%	25.3%	27.3%	19.6%	26.1%	26.4%	20.9%	22.9%		22.8%
~90分未満(訪看 4)	1	0	1	1	1	0	5	2	1	2	0	0	14	1.2
訪看 4の比率	1.0%	0.0%	0.6%	0.7%	0.6%	0.0%	3.0%	1.4%	0.8%	1.9%	0.0%	0.0%		0.8%
リハビリ20分(訪看 5)	2	2	11	7	4	7	10	10	9	11	14	10	97	8.1
訪看 5の比率	1.9%	1.4%	5.9%	4.6%	2.4%	4.1%	6.0%	6.8%	7.6%	10.4%	12.7%	6.5%		5.8%

(6) 年齢・要介護度別人数表

(単位:人)

R5年3月31日現在

	要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		その他(医療)		合計	構成割合
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
60歳未満															1		1	2.4%
60歳～64歳																	0	0.0%
65歳～69歳									1		1						2	4.9%
70歳～74歳									1		1				1		3	7.3%
75歳～79歳						1	1	1			1						4	9.8%
80歳～84歳	1					1			1				2	2	1		8	19.5%
85歳～89歳								3	2	2				1			8	19.5%
90歳～94歳							1	1		2		1		1	1		7	17.1%
95歳以上					1			2	1	3				1			8	19.5%
合計	1	0	0	0	1	2	2	7	6	7	3	1	2	5	4	0	41	
	1	0	0	0	3	9	9	13	4	7	4	7	4	4	4	0		
構成割合	2.4%		0.0%		7.3%		22.0%		31.7%		9.8%		17.1%		9.8%		100%	



(7) 地域別契約者数

(単位:人)

令和5年3月31日現在

地域区分		男	女	小計	構成割合
真田町	長	5	7	12	29.3%
	本原	5	5	10	24.4%
	傍陽	4	9	13	31.7%
	普平高原	2	0	2	4.9%
旧上田市		2	2	4	9.8%
合計		18	23	41	100.0%

① 事業内容

- ・ 専門職をいかした勉強会の開催
3ヶ月に一度の開催予定だったが、2回しか実施できなかったが、新しい勉強の習得できました。
- ・ 地域への専門職としての発信
各専門職が地域へ出向き支援することができました。
- ・ 職員の育成・教育、事例発表
医療、看護、介護との連携ができ重症化防止を防ぐことが出来ました。

② 2022 年度年度事業計画に対する達成率

③ 達成できた事項

- ・ 地域への専門職としての発信は出来ました。
- ・ 専門職をいかした勉強会の開催も達成できました。

④ 未達成の事項

- ・ 職員の育成、教育 事例発表

⑤ 改善すべき事項

- ・ 未達成の事項に対して改善していきます。

⑥ 目標とする事項（2023 年度事業計画）

- ・ 2022 年と年と同様の事業内容に対して専門職をいかした勉強会の開催や、育成・教育が行えるように自分自身を成長させていく年度にしていきたいと思います。

① 事業内容

- ・企業内保育所の運営

② 2022 年度事業計画に対する達成度

- ・利用実績 8名 定員 16名 50%

③ 達成できた事項

- ・月 1 回の定例会と保育士による職員会を開催し、保育士の連携とよりよい保育をするための話し合いができました。
- ・数多くの園外保育や行事・イベントが実施でき、子どもたちが楽しめました。
- ・毎月の製作で、絵の具やのりなど様々な素材を使う経験ができました。
- ・中庭に遊具の設置をしました。(丸太・タイヤ・泥んこあそび場)
- ・中庭で野菜を作り、おやつに提供し食育に繋がられました。(トマト・サツマイモ・かぶ・人参など)
- ・Facebook を通じ、ナーサリーの様子を配信できました。
- ・運営については、2名の卒園児を送り出すことができました。(計6名卒園)
- ・『ナーサリーおたより』を毎月保護者に発行し、日々の様子を伝えることができました。
- ・手作りおやつのレポーターを増やし、充実させました。

④ 未達成の事項

- ・定員に達していない。
- ・敬老の日に、アザレアンとかりがねのご利用者様に手づくりプレゼントをお渡しすることはできましたが、実際の交流はコロナ感染予防のため出来ませんでした。

⑤ 改善すべき事項

- ・面談などの必要に応じた保護者との丁寧な話し合いの場を設定します。
- ・一時預かりの規定を設け、保護者の希望に沿った受け入れをします。

⑥ 目標とする事項(2023 年度事業計画)

- ・Facebook や定例会などで、子どもの人数が定員に達するよう関連機関に働きかけます。
- ・毎日の保育を大切に、丁寧にすることで、保護者に安心して働いていただけるような保育室にします。
- ・定例会や職員会を向上させ、質の高い保育を目指します。

① 事業内容

10年後のアザレアンさなだを考える会では、「魅力のあるアザレアンさなだ」にしていくために、『学ぶ、話し合う、つながる、うごく』をテーマに活動をしてきました。

会が初年度から取り組んでいる活動として「6つの実践」があります。この「6つの実践」は働きやすい職場になることを目指して作られたものです。今年度も全体会議や職員研修会を通じて職員の皆さんに周知し、自分たちも率先して取り組んできました。これからも日々意識して取り組み、働きやすい職場になるよう努めていきます。

2022年度の活動として、①勉強会の継続 ②6つの実践の周知・実践 ③職員育成 ④社内報の作成の4つを計画しました。①、②は実践することが出来ましたが、③、④の計画は滞ってしまいました。次年度では達成できるように取り組んでいきます。

② 2022年度 事業計画に対する達成率

・勉強会の継続 事業所に関する勉強会、泉田先生の勉強会	30%
・職員育成 新人基礎研修、フォローアップ研修、エルダーミーティング	0%
・6つの実践の周知・実践	50%
・社内報の作成	0%

③ 達成できた事項

法人の運営理念、スローガンを定着するために

- ・会議のはじめに法人の理念及びスローガンの読み合わせを行い、定着を図ってきました。
- ・line グループを活用し委員間で「6つの実践」を意識し率先して行う事を徹底してきました。また「今月と来月の6つの実践」として、2か月ごとに掲示物をめくり、全体研修の動画で発信し実践していただくよう啓発活動を行ってきました。

④ 未達成の事項

- ・コロナ禍の為、会議の開催が困難で活動（6つの実践の周知・勉強会・人材育成・社内報）が滞ってしまいました。しかし、2022年度は新たなメンバーを迎え入れることが出来ました。2023年度は会議を積極的に開催し、活動を行っていきます。

⑤ 改善すべき事項

- ・会議及び活動の再開

⑥ 目標とする事項（2023年度事業計画）

「勉強会の継続」

マネジメントに関する勉強会や、泉田先生の勉強会などに参加し、自分自身の知識や技術を深めて、現場で活かしていきます。

「働きやすい職場にむけて」

会議でみんなと話し合うことを続けていきます。

コロナ禍ではありますが、委員同士で交流を深められる機会を設けていきたいと考えます。6つの実践「笑顔・挨拶・清潔・身だしなみ・感謝・理解」の法人全体への周知と実践をしていきます。

記念事業の活動として、記念式典、記念品の作成・配布、3 チームの活動、クラウドファンディング等様々な活動をしてきました。

委員会として『目的』『目標』を掲げ、法人職員と共に法人に関係するすべての方々に感謝の気持ちが届くよう活動をしてきました。

3つのチームを①職員同士の相互理解を深めよう②地域の一員として、安心して暮らせる街（まち）づくりに貢献しよう③多様性を認め合い、共に笑顔で繋がろうと編成し、それぞれの活動を行ってきました。

①相互理解チームは全事業所紹介の冊子を作り各事業所に配布しました。当初の予定では自事業所以外の事業所を理解するために研修を行おうと計画していましたが、コロナ禍で断念し、まずは事業所を知ってもらうことを第一歩として紹介冊子を作成、配布しました。

②地域チームは支え合いカード作成、配布をすることができました。限られた地域になりましたが、地区の民生児童委員のご協力があり実施することができました。

③多様性チームは 2023 年のカレンダーを作成しました。このカレンダーには法人を利用してくださっているご利用者様の笑顔の写真を使いカレンダー完成となり皆様のお手元へお配りしました。

記念式典は令和 4 年 12 月 18 日に真田中央公民館で行うことができました。記念事業の紹介、功労者表彰、防災協定の委任式、永年勤続者表彰、資格取得者表彰を行いました。まだコロナ禍ではありましたが、関係者の皆様のご臨席を賜り無事に記念式典を行うことができました。

クラウドファンディングは八十二銀行の C F 信州と上田信用金庫の R E A D Y F O R の 2 種類のクラウドファンディングを実施、目標額に達成し、配食サービス配達車、訪問用の公用車、福祉用具、ストレッチャーを購入することができました。

法人設立 30 周年記念事業を通してご利用者様、ご家族様、地域の皆様、関係者の皆様に支えられ今日の法人があることを実感しました。この事業を機に皆様に安心して暮らし続けられる地域の法人であることを使命と確信しました。

2022 年度、えぼし会では畑作業、カラオケを楽しむ会、夏祭りの焼き鳥の販売などを行う事を計画していました。

畑作業では、ジャガイモ、長ネギ、大根を育て、ご利用者様や職員の皆様に召し上がっていただけるように、各事業所に配布させていただきました。ジャガイモは種芋が不作だったこともあり手に入らない状況でしたが、職員の家族より寄付していただいた種芋を使い無事に収穫する事ができました。

また、計画には立てていませんでしたが、アザレアンさなだの花壇の整備を行いました。今後も花壇の整備を進めていきたいと思います。

カラオケを楽しむ会や夏祭りの焼き鳥の販売は新型コロナウイルス感染症による感染対策のため、残念ながら実施する事ができませんでした。

2023 年度では、新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行する事から、法人の感染対策も踏まえてカラオケを楽しむ会の実施や夏祭りの焼き鳥の販売を行えればと考えています。また継続して畑作業やアザレアンの花壇の整備をしていきたいと思います。

より多くの皆様に活動を知っていただき会員が増えていくように活動していきたいと思えます。

名 称	委員長	活動内容
衛生委員会	志賀 小池	毎月1回開催しました。職場環境改善チェックシートを活用し、各事業所の設備の不具合や危険個所について問題点を抽出して対応策を検討しています。職員の健康保持増進、労災事故についても審議し防止に努めています。
倫理・人権委員会	太田 兼宗	法人の研修会は2回の開催は出来ましたが、定期的な委員会の開催はできなかったため、今後は定期的な開催を行っていきます。まず個人情報・プライバシーの保護について皆さんから意見をいただいていますので、それに基づいて検討し皆さんに公表できるようにいたします。
安全委員会	鎌田 唐澤 加藤	年2回の開催になってしまいました。開催できない時は書面にて意見交換をし、事故防止に向けての啓発活動を行いました。引き続き1件でも事故が減少するよう努めていきます。
	田中 西藤	年間3回会議を開催し、防災訓練の実地状況確認、課題の共有、防犯について意見交換など行い、防災・防犯の意識の向上を図ってきました。消火器の入れ替え、火災報知機や誘導灯の更新を行うと共に、防災用品の購入も行い有事に備えてきました。
広報委員会	霧見 尾澤	「真田生き生きふるさと通信」を年4回発行しました。それに合わせ委員会を開催しアザレアさんなどを地域の皆様により深く知っていただけるよう各事業所の様子や活動を分かりやすく掲載し、ワクワク・ドキドキをお届けしています。
感染症委員会	佐藤 片山	新型コロナウイルス感染の拡大状況に応じ年5回の委員会を開催しました。状況を踏まえて法人としてのルールの再確認・職員周知の徹底を行いました。また、食中毒防止に向けての情報の共有を行い意識を高めています。
地域支え合い委員会	小林 笹山	年度の初めにイベント開催日程に合わせ参加できる委員の予定を組んだが、新型コロナウイルス感染症の影響やイベントが週末であったため事業所の状況により参加者が限られてしまった。
リスクマネジメント委員会	山口	法人の研修会は2回の開催で終わってしまいましたので、今後は定期的な開催を行っていきます。各事業所の事故分析をし共有を行ってきました。それを基に来年度はインシデントの指標作りをし、各事業所で統一した事故報告ができるようにしていきたいです。
身体拘束適正化委員会	栗林 縵沢	委員会内では実際にやむを得ず行った身体拘束についての話や、情勢を踏まえた上で「何が虐待なのか」の認識についてなどを検討しました。職員研修会では虐待について考える機会を提供出来ました。
褥瘡予防栄養委員会	池上 五十嵐 縵沢	指針、マニュアルの見直しや各事業所の褥瘡の事例をそれぞれの専門分野から検討しました。来年度は年4回の開催予定です